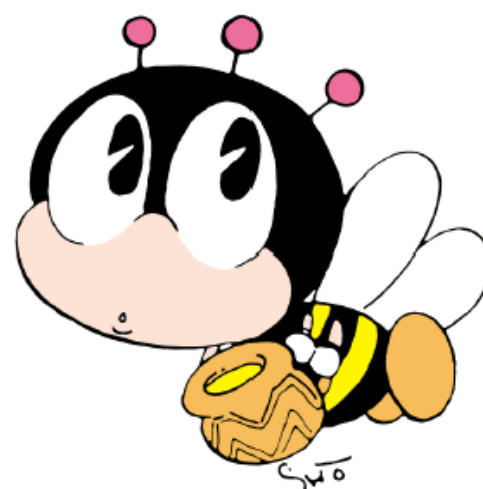


生涯学習推進計画 実施計画 実施状況調査

～平成27年度実施状況と平成28年度実施計画～



平成28年11月

生涯学習推進本部

事務局：生涯学習部生涯学習課

我孫子市生涯学習推進計画のあゆみ

我孫子市生涯学習市民意識調査（平成13年12月）

我孫子市生涯学習推進計画提言書（平成14年3月）

我孫子市生涯学習推進計画（平成15年3月）
平成14年度～20年度

生涯学習推進計画 実施状況調査（前期）平成14～16年度

生涯学習推進計画 実施状況調査（後期）平成17～20年度

我孫子市第二次生涯学習推進計画（平成21年5月）
平成21年度～27年度

生涯学習推進計画（前期）
平成21～24年度

平成20年度実施状況と平成21年度実施計画

平成21年度実施状況と平成22年度実施計画

平成22年度実施状況と平成23年度実施計画

平成23年度実施状況と平成24年度実施計画

生涯学習推進計画（後期）
平成25～27年度

平成24年度実施状況と平成25年度実施計画

平成25年度実施状況と平成26年度実施計画

我孫子市生涯学習市民意識調査（平成25年9月）

平成26年度実施状況と平成27年度実施計画

我孫子市第三次生涯学習推進計画（平成28年3月）
平成28年度～37年度

生涯学習推進計画（前期）
平成28～32年度

平成27年度実施状況と平成28年度実施計画

平成28年度実施状況と平成29年度実施計画

平成29年度実施状況と平成30年度実施計画

平成30年度実施状況と平成31年度実施計画

平成31年度実施状況と平成32年度実施計画

生涯学習推進計画（後期）
平成33～37年度

平成32年度実施状況と平成33年度実施計画

平成33年度実施状況と平成34年度実施計画

平成34年度実施状況と平成35年度実施計画

平成35年度実施状況と平成36年度実施計画

平成36年度実施状況と平成37年度実施計画

我孫子市第四次生涯学習推進計画

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁	
1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	1 暮らしの便利帳・ガイドマップの発行	秘書広報課	1	
		2 広報「あびこ」の編集・発行	秘書広報課	1	
		3 男女共同参画情報紙の発行	秘書広報課	1	
		4 財政情報の提供	財政課	1	
		5 食に関する情報の提供及び啓発の充実	健康づくり支援課	2	
		6 パリアフリーの情報提供事業	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	2	
		7 子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	子ども支援課	3	
		8 子育て支援情報の発信	保育課	4	
		9 手賀沼情報の提供	手賀沼課	4	
		10 都市計画に関する情報の管理・提供	都市計画課	5	
		11 都市計画図等の作成・管理事務	都市計画課	5	
		12 景観形成情報発信・啓発事業	都市計画課	5	
		13 あびバス景観マップの作成	都市計画課	6	
		14 住宅情報の総合的提供	建築住宅課	6	
		15 水道広報活動推進事業	水道局経営課	6	
		16 生涯学習情報の発信	生涯学習課	7	
		17 生涯学習情報提供システムの整備	生涯学習課	7	
		18 電腦考古博物館の運営	文化・スポーツ課	8	
		19 図書館における郷土・行政資料サービス	図書館	8	
		20 図書館の情報化推進	図書館	8	
		21 鳥の博物館ホームページの運営	鳥の博物館	8	
		②学びにつなげるための相談体制の充実	22 生涯学習学習相談体制の整備	生涯学習課	9
	23 生涯学習人材バンクの整備		生涯学習課	9	
	24 生涯学習ボランティア		生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	9	
	25 視聴覚ライブラリーの管理・運営		生涯学習課	10	
	26 図書館カウンターサービス		図書館	10	
	27 図書館利用に障害のある方へのサービス		図書館	10	
	③学びへの関心を高めるための啓発の充実		28 交通安全思想の普及	市民安全課	11
			29 集団健康教育	健康づくり支援課	11
			30 健康フェア	健康づくり支援課	12
			31 廃棄物に関する教育啓発事業	クリーンセンター	12
		32 石けん利用の推進	商業観光課	13	
		33 小学校『歯磨き・食育指導』事業	学校教育課	14	
		34 生涯学習推進計画事業実施状況調査	生涯学習課	14	
		35 生涯学習推進本部の運営	生涯学習課	15	
		36 健康スポーツ普及事業	文化・スポーツ課	16	
		37 読書普及活動	図書館	16	
		38 図書館PR	図書館	16	
		39 鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動	鳥の博物館	17	
2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり		①地域への関心を高める学びの機会の推進	40 まちづくり探検隊	子ども支援課	18
	41 子どもの居場所づくり事業【あびっ子クラブ】		子ども支援課	19	
	42 谷津ミュージアムづくり推進事業		手賀沼課	19	
	43 手賀沼船上学習の実施		手賀沼課	20	
	44 手賀沼流域フォーラムの開催		手賀沼課	20	
	45 ジャパンバードフェスティバル		手賀沼課・商業観光課・鳥の博物館	21	
	46 地区計画制度の活用支援		都市計画課	22	
	47 我孫子産農産物の学校給食導入事業		学校教育課	22	
	48 市民カレッジ 我孫子を知るコース		生涯学習課	22	
	49 市史調査研究		文化・スポーツ課	22	
	50 郷土芸能への支援		文化・スポーツ課	23	
	51 文化財の指定調査と保存支援		文化・スポーツ課	23	
	52 埋蔵文化財発掘調査		文化・スポーツ課	23	
	53 考古遺物整理		文化・スポーツ課	23	
	54 あびこ自然観察隊		鳥の博物館	24	
	55 てがたん(手賀沼の自然観察会)		鳥の博物館	24	

2	生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	56 子どもNPOボランティア体験	市民活動支援課	24	
			57 後期離乳食教室	健康づくり支援課	25	
			58 しあわせママパパ学級	健康づくり支援課	25	
			59 離乳食教室	健康づくり支援課	25	
			60 手賀の丘ふれあい宿泊通学	子ども支援課	26	
			61 あびこ子どもまつり	子ども支援課	26	
			62 げんきフェスタ	子ども支援課	26	
			63 enjoyパパ応援プロジェクト	保育課	27	
			64 子育て支援施設における講習	保育課	27	
			65 こども議会	指導課	28	
			66 長寿大学	生涯学習課	28	
			67 成人式	生涯学習課	28	
			68 熟年備学	生涯学習課	29	
			69 家庭教育学級	生涯学習課	29	
			70 のびのび親子学級	生涯学習課	29	
			71 アビコでなんでも学び隊	生涯学習課	30	
			72 子どものための舞台鑑賞事業	文化・スポーツ課	30	
			73 成人・青少年への図書館サービス	図書館	30	
			74 児童への図書館サービス	図書館	31	
			75 子どもの読書活動推進計画の策定	図書館	31	
			③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実	76 男女共同参画講演会の実施	秘書広報課	32
				77 平和事業	企画課	33
				78 健康づくりに関する専門家によるセミナー	健康づくり支援課	33
				79 こころの健康講座	障害福祉支援課	34
				80 失語症家族教室	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	34
				81 手話講習会・読話講習会	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	34
				82 家族介護教室	高齢者支援課	35
	83 認知症の方の家族のつどい「あびこ・こほく」	高齢者支援課		35		
	84 健康生活月間講演会	高齢者支援課		36		
	85 高齢者虐待防止講演会	高齢者支援課		36		
	86 遊具うんどう教室	高齢者支援課		36		
	87 環境学習の推進	手賀沼課		36		
	88 消費生活講座	商業観光課		37		
	89 緑の講習会	公園緑地課		37		
	90 栄養教諭を中核とした食育推進事業	学校教育課		38		
	91 生涯学習出前講座の運営	生涯学習課		38		
	92 生涯学習普及啓発事業	生涯学習課		39		
	93 人権教育	生涯学習課		40		
	94 スポーツ教室事業	文化・スポーツ課		41		
	95 スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	文化・スポーツ課		41		
	96 鳥の博物館企画展	鳥の博物館	41			
	3 多様な学びのある場のまちづくり	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実	97 市民農園維持管理事業	農政課	42	
			98 親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)	手賀沼課	42	
			99 ふれあい工房の運営管理事業	クリーンセンター	43	
			100 新たな文化交流拠点施設整備の検討	企画課、生涯学習課	43	
			101 地域交流教室の提供	生涯学習課	43	
			102 公民館施設管理運営	生涯学習課	43	
			103 湖北地区公民館空調設備更新工事	生涯学習課	44	
			104 フリースポット(Wi-Fi)の提供	生涯学習課	44	
			105 施設予約システムの運用	生涯学習課、文化・スポーツ課、市民活動支援課	44	
106 市民体育館管理運営			文化・スポーツ課	44		
107 体育施設管理運営事業、維持補修			文化・スポーツ課	44		
108 武道施設の建設整備の検討			文化・スポーツ課	45		
109 市民体育館維持補修、改修事業			文化・スポーツ課	45		
110 学校体育施設開放事業			文化・スポーツ課	45		
111 ふれあいキャンプ場管理運営			文化・スポーツ課	45		
112 文化財等の保存と活用			文化・スポーツ課	46		
113 杉村楚人冠記念館の保存と活用			文化・スポーツ課	46		
114 旧井上家住宅の保存と活用			文化・スポーツ課	47		
115 白樺文学館の運営			文化・スポーツ課	47		
116 手賀沼文化拠点整備計画の推進			文化・スポーツ課	47		
117 移動図書館業務	図書館	48				
118 湖北地区図書館の整備	図書館	48				
119 図書館会議室及び展示スペースの提供	図書館	48				
120 鳥の博物館管理運営	鳥の博物館	48				
121 鳥の博物館空調設備更新工事	鳥の博物館	48				
122 鳥の博物館展示リニューアル	鳥の博物館	49				
②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用	123 手賀沼ふれあいウォーク	健康づくり支援課	49			
	124 近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の	文化・スポーツ課	49			
	125 手賀沼エコマラソン支援事業	文化・スポーツ課	49			
	126 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	図書館	50			

4	①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充	127 (再掲) 生涯学習出前講座の運営	生涯学習課	50	
		128 生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録	生涯学習課	50	
		129 (再掲) 生涯学習人材バンクの整備	生涯学習課	50	
		130 アビスタ利用者保育スタッフ事業	生涯学習課	50	
		131 (再掲) 生涯学習ボランティア	生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	50	
	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	132 文化事業市民スタッフ	文化・スポーツ課	51	
		133 防災士及び災害救援ボランティア育成事業	市民安全課	51	
		134 失語症会話パートナー養成講座	障害福祉支援課(障害者福祉センター)	51	
		135 介護予防サポーター養成講座	高齢者支援課	51	
		136 子育てサポーター養成講座	保育課	52	
		137 環境レンジャー活動への支援	手賀沼課	52	
		138 緑のボランティアの森づくり	公園緑地課	53	
		139 生涯学習出前講座市民講師の共同研修の実施	生涯学習課	53	
		140 生涯学習審議会委員の研修	生涯学習課	53	
		141 スポーツ指導者の研修制度の確立	文化・スポーツ課	53	
	③学んだ成果を評価するしくみの構築	142 市民コンサート	文化・スポーツ課	54	
		143 市民参加型コンサート	文化・スポーツ課	54	
		144 文化祭	文化・スポーツ課	54	
		145 寄贈絵画展	文化・スポーツ課	54	
		146 めるへん文庫	文化・スポーツ課	55	
		147 (再掲) 郷土芸能への支援	文化・スポーツ課	55	
		148 (再掲) 手賀沼エコマラソン支援事業	文化・スポーツ課	55	
	5	①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実	149 チャレンジDAY	市民活動支援課	55
			150 (再掲) あびこ子どもまつり	子ども支援課	55
			151 (再掲) げんきフェスタ	子ども支援課	55
			152 学校支援事業の充実	指導課	56
			153 (再掲) 生涯学習学習相談体制の整備	生涯学習課	56
154 (再掲) 長寿大学			生涯学習課	56	
155 (再掲) 家庭教育学級			生涯学習課	56	
156 (再掲) のびのび親子学級			生涯学習課	56	
157 (再掲) 市民カレッジ 我孫子を知るコース			生涯学習課	56	
②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成			158 在住外国人支援事業	企画課	57
			159 公募補助金制度の運用	市民活動支援課	58
			160 市民公益活動補償制度の運用	市民活動支援課	58
			161 資源循環型社会に関する市民講座への派遣	クリーンセンター	58
		162 我孫子市創業支援事業	企業立地推進課	59	
		163 市民の学習活動への支援	生涯学習課	60	
		164 (再掲) 視聴覚ライブラリーの管理・運営	生涯学習課	60	
		165 社会教育団体活動支援	生涯学習課	60	
		166 文化芸術団体活動支援	文化・スポーツ課	60	
		167 (再掲) スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	文化・スポーツ課	60	
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築		168 施設・団体へ図書等の貸出サービス	図書館	60	
		169 鳥に関する学習への支援	鳥の博物館	61	
		170 鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	鳥の博物館	61	
		171 我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携	企画課	62	
		172 消費生活展の実施	商業観光課	62	
		173 エンジョイ手賀沼	手賀沼課	62	
		174 (再掲) 健康フェア	健康づくり支援課	62	
		175 (再掲) ジャパンバードフェスティバルの開催	手賀沼課・商業観光課・鳥の博物館	63	
		176 青少年相談員事業	子ども支援課	63	
		177 (再掲) 子どもの居場所づくり事業(あびっ子クラブ)	子ども支援課	63	
		178 子育てフェスタ	保育課	63	
	179 学校評議員設置事業	学校教育課	63		
	180 大学との協定による学校支援学生ボランティア事業	指導課	64		
	181 キャリア教育の推進(小中学生の職場体験学習事業)	指導課	64		
	182 生涯学習審議会の運営	生涯学習課	64		
	183 (再掲) 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	図書館	64		
	184 図書館実習生受入・施設見学	図書館	65		
185 山階鳥類研究所との連携・交流	鳥の博物館	65			

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり							基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり						
①学びへの情報提供体制の充実							①学びへの情報提供体制の充実						
1	暮らしの便利帳・ガイドマップの発行	市民や転入者に行政サービスや公共施設の利用案内などの市政情報を提供する。	※ガイドマップは現在作成していない(平成28年度に商業観光課へ事業移管)。ここでは平成25年度から発行しているガイドブック「ABI ROAD」について記載する。 ●ガイドブック「ABI ROAD」 ・日本語版を増刷(5000部) ・英語および中国語版を発行(各1000部) 市内公共施設、アピシルベほか千葉県観光情報館や都内ホテル等に配置。 ●暮らしの便利帳 暮らしの便利帳は平成28年度に発行するため協定を締結した。	【ガイドブック発行部数】 日本語5000部 英・中国語各1000部	日本語版5000部 702,000円 英・中国語版 1,242,000円	英・中国語版の翻訳確認を我孫子市国際交流協会(AIRA)に依頼した。	ガイドブック「ABI ROAD」は、好評のため、日本語版の増刷と英語及び中国語版を作成し発行した。 市内公共施設・アピシルベ、市内宿泊施設のほか、市外の施設(東京シティアイ、三井アウトレットパーク木更津、千葉県観光情報館、ホテルオークラ千葉)に配置し、市の魅力を発信した。 なし	A. 現状どおり推進 引き続きガイドブックを用いて市の魅力を市内外にPRしていく。	●ガイドブック「ABI ROAD」 28年度は改訂等の予定なし ●暮らしの便利帳 平成28年8月末完成、9月中に全戸配布を行い、以後、転入者を対象に配布する。	なし(暮らしの便利帳は官民協同事業として、広告収入のみで発行するため)	なし	秘書広報課	
2	広報「あびこ」の編集・発行	市民が必要としている行政情報などを、わかりやすく、正確に、確実にお知らせする。	●広報あびこ 【発行回数】 月2回(1日・16日) 【配布方法】 新聞折り込みと新聞未読世帯には申し出により宅配による配布。市役所本庁舎ロビー、各行政サービスセンター・近隣センター・公民館・図書館・市民プラザなどの公共施設でも配布。 【発行部数】 53,000部 ※聖教新聞への折り込み停止により、2月1日号より51,000部	【広報あびこ発行部数】 1,264,000部	広報作成委託料 26,813,000円 折り込み手数料 9,990,000円 宅配手数料 1,134,000円	市内業者に広報作成業務(編集・発行・発送および配送)を委託している。	A. 成果・効果があつた なし	A. 現状どおり推進 写真やイラストなどを活用し、見やすく読みやすい紙面づくりに努める。	前年度と同様、写真やイラストなどを活用し、見やすく読みやすい紙面づくりに努める。	広報作成委託料 27,501,000円 折り込み手数料 9,990,000円 宅配手数料 1,146,960円	市内業者に広報作成業務(編集・発行・発送および配送)を委託している。	なし	秘書広報課
3	男女共同参画情報紙の発行	男女共同参画社会の重要性や必要性に対する市民の理解を深めるため、男女共同参画情報紙を発行する。	●男女共同参画情報紙「かがやく」 【発行回数】 年2回(9月、3月) 【発行形式】 A4・4ページ(全ページカラー) 【発行部数】 45,000部。自治会を通じ全戸に配布するほか、市公共施設等にも配置。 【29号】特集「とこ変われば、見方も変わる?外国人に聞いた男女共同参画」 【30号】特集「かがやく女性を応援します!働きやすい職場レポート」	【情報紙発行部数】 90,000部 (2回発行、各45,000部)	情報紙作成委託料 1,232,000円 (2回発行、各616,000円)	提案型公共サービス民営化制度により、市内印刷会社と市民ライター、市民イラストレーターとの共同作業で紙面づくりを行った。取材先も市内に限定しており、市民や市内事業所の取材協力を得た。	A. 成果・効果があつた 身近な話題を取り上げ、男女共同参画について考える機会を提供できた。市民の視点による取材記事で、イラストやマンガもふんだんに取り入れ、普段男女共同参画になじみのない人にも手に取ってもらえる紙面づくりが行えた。 スケジュールを工夫し、企画や校正の段階でより一層の話し込みを行う時間、男女共同参画に関する知識のレベルアップを図る時間、および余裕のある配布期間を組んでいく必要がある。	A. 現状どおり推進 各段階で余裕のあるスケジュールを組む。また読み手を意識した読みやすい記事、幅広い市民層に満足してもらえるような内容の充実を図っていく。	年2回発行。発行形式・部数等は前年と同様。当年度からプロポーザルによる業務委託。	情報紙作成委託料 1,383,000円 (2回発行、各691,500円)	市内業者に男女共同参画情報紙作成業務(企画・編集・発行・発送)を委託する。	なし	秘書広報課
4	財政情報の提供	広報やホームページなどを通して、市の当初予算の状況、執行状況、決算の状況及び財務諸表などの財政情報をわかりやすく市民に提供する。	●広報あびこ 【掲載内容】 《4月》 平成27年度当初予算の概要 《7月》 平成26年度下半期予算の執行状況 《11月》 平成28年度予算の編成方針 《11月》 平成26年度普通会計財務書類4表 《12月》 市の財政状況「平成26年度普通会計決算と平成27年度上半期の執行状況」 《3月》 平成28年度予算の編成状況 ●ホームページ ホームページへ財政分析資料等の掲載 ●我孫子市の財政状況説明 中央学院大学の地域連携講座 【日程】5月14日 【場所】中央学院大学 【対象・参加者】約70人(学生)	【ホームページ閲覧数】 5,507件	なし	なし	A. 成果・効果があつた 市の財政について、広報・ホームページを活用して情報を提供した。出前講座や大学からの依頼により財政課職員が講師として出向き、我孫子市の財政状況を理解していただいた。 より多くの市民に財政について興味を持ってもらうため、難解な専門用語や仕組みをさらに分かりやすく伝える必要がある。	A. 現状どおり推進 より多くの市民に財政について興味を持ってもらうため、難解な専門用語や仕組みをさらに分かりやすく伝える場を検討していく。	●広報あびこ 《4月》 平成28年度当初予算の概要 《7月》 平成27年度下半期予算の執行状況 《11月》 平成29年度予算の編成方針 《11月》 平成27年度普通会計財務書類4表 《12月》 市の財政状況「平成27年度普通会計決算と平成28年度上半期の執行状況」 《3月》 平成29年度予算の編成状況 ●ホームページ ホームページへ財政分析資料等の掲載 ●出前講座 あびこの家計簿	なし	なし	財政課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
5	食に関する情報の提供及び啓発の充実	食に関する正しい知識を得て、おいしく楽しく食事する人を増やすために、食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。食を購入したり外食や調理済み食品を利用する際の情報源である食品表示(栄養成分表示など)についても、引き続き出前講座や我孫子市食育だよりなどで啓発を行う。	食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行った。食に関わる事業(離乳食教室等)や各地域でのイベントでの啓発活動を行うとともに、食育だよりや保健センターだより、市のホームページを用いて啓発を行った。食品表示(栄養成分表示など)についても、出前講座などで啓発を行った。 ●食育だより 平成27年6月より発行開始。3か月ごとに発行。(平成27年は3回発行) 【配布枚数】 14,000枚/号 ●ホームページ ホームページに食育だよりを掲載。 ●出前講座 【日程】 5月12日 【参加人数】 15人	【食育便り発行枚数】 42,000枚	消耗品費 5,000円	なし	A・成果・効果があつた	食育だよりは、公立保育園の保護者、小中学生の保護者に全数配布を行い、広く啓発を行うことができた。 食育だよりの配布だけでは情報提供としては不十分であった。また、出前講座の利用も1回にとどまり、情報提供としては不十分であった。	B. 改善・見直しを行う	食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。食に関わる事業(離乳食教室等)や各地域でのイベントでの啓発活動を行うとともに、食育だよりや保健センターだより、市のホームページを用いて啓発を行っている。食品表示(栄養成分表示など)についても、出前講座などで啓発を行う。	印刷製本費 90,000円	なし	健康づくり支援課
6	バリアフリーの情報提供事業	市民と協働で市内のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーおでかけマップ」としてまとめ、障害のある方や高齢の方をはじめ、妊娠中の方や小さなお子様連れの方など、誰もが安心して外出を楽しめるように、情報提供を行う。	市民活動団体・社会福祉協議会と協力して市内施設のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーおでかけマップ」にまとめ、掲載内容の更新を行った。 ●バリアフリーおでかけマップ 【年間アクセス数】 15,031件	【ホームページへのアクセス数】 15,031件	ホームページ「バリアフリーおでかけマップ」更新業務委託料 30,500円 サーバー使用料 5,000円	市民活動団体あびこシニアクラブ・我孫子市社会福祉協議会と協力して、市内施設のバリアフリー状況調査を行った。	A・成果・効果があつた	スマートフォンやタブレット端末にも対応できるホームページとしたため、昨年度の4,413件に比べて大幅にホームページへのアクセス数が増え、多くの情報提供ができた。	A. 現状どおり推進	市民活動団体・社会福祉協議会と協力して市内施設のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーおでかけマップ」にまとめ、掲載内容の更新を行う。	ホームページ「バリアフリーおでかけマップ」更新業務委託料 80,000円 サーバー使用料 5,000円	市民活動団体あびこシニアクラブ・我孫子市社会福祉協議会と協力して、市内施設のバリアフリー状況調査を行う。	(障害福祉センター)

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容				担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果	今後の進め方	具体的内容	予算		市民・事業者との協働
								課題	改善・見直し内容および廃止理由、代替事業の有無				
7	子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	子どもたちが地域における様々な体験活動への参加を通して、心身ともに健やかに成長することを願い、体験活動をはじめとする様々な活動に関する情報を広く収集、提供する。	<p>●子ども向け情報紙「あびっ子ネット」 【部数】年間5回、各回約16,200部(4月発行の新緑号のみ世帯数ではなく児童数で配布の為、17,700部)を発行【配布場所】市内幼稚園、保育園、小中学校、小児医院、公共施設 市内幼稚園、保育園、小中学校を通して直接配布すると共に、小児医院や公共施設に設置し、広く市民に配布を行った。 【発行の方法】 編集の段階から市も関わりながら、市内の子ども関係団体及び市民から組織される「あびこ子どもネットワーク」に業務委託することで、子ども関係団体間の情報交換を図りながら情報を精査し、市民目線で子ども向けの情報を発信を行った。</p> <p>●ホームページ 紙媒体での情報のみでなく、より広く最新の情報を発信するため、インターネットでの配信をし、「あびっ子ネット」ホームページを運営した。 【運営の方法】 ホームページの編集・運営管理を情報紙発行と同じ「あびこ子どもネットワーク」に委託し、情報紙に掲載できなかった情報を随時掲載するなど情報の連携を図る他、提供された情報を精査して掲載しホームページ編集及び最新情報の更新を行った。</p>	【情報紙「あびっ子ネット」配布枚数】16,200枚/各回	委託費(情報紙の発行及びあびっ子ネットホームページの維持管理委託)1,470千円	子ども関係団体間の情報収集、交換を図りながら情報を精査し、編集の段階から市もかかわった。 《情報紙の発行及びあびっ子ネットホームページの維持管理》 あびこ子どもネットワーク	A 成果・効果があった	地域で開催される子どもたちが参加出来る様々なイベントや体験活動等の情報を提供できた。より多くの子どもが自然体験、社会体験、文化活動、スポーツ活動に参加するきっかけとなっている。 子ども達が主体となるおまつりでは、たくさん子ども達が集まり、広く情報の提供を担っている。	A. 現状どおり推進	<p>●子ども向け情報紙「あびっ子ネット」 【部数】年間5回、各回約16,200部(4月発行の新緑号のみ世帯数ではなく児童数で配布の為、17,700部)を発行【配布場所】市内幼稚園、保育園、小中学校、小児医院や公共施設 市内幼稚園、保育園、小中学校を通して直接配布すると共に、小児医院や公共施設に設置し、広く市民に配布する。 【情報紙の発行の方法】編集の段階から市も関わりながら、27年度同様に市内の子ども関係団体及び市民から組織される「あびこ子どもネットワーク」に業務委託することで、子ども関係団体間の情報交換を図りながら情報を精査し、市民目線で子ども向けの情報を発信していく。</p> <p>●ホームページ 28年度についても、紙媒体での情報のみでなく、より広く最新の情報を発信するため、インターネットでの配信として、引き続き「あびっ子ネット」ホームページを運営する。 【運営の方法】ホームページの編集・運営管理を情報紙発行と同じ「あびこ子どもネットワーク」に委託し、情報紙に掲載できなかった情報を随時掲載するなど情報の連携を図る他、提供された情報を精査して掲載しホームページ編集及び最新情報の更新を行なう。</p>	委託費(情報紙の発行及びあびっ子ネットホームページの維持管理委託)1,470千円	子ども関係団体間の情報収集、交換を図りながら情報を精査し、編集の段階から市もかかる。 《情報紙の発行及びあびっ子ネットホームページの維持管理》 あびこ子どもネットワーク	子ども支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容				担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算		市民・事業者との協働
8	子育て支援情報の発信	乳幼児を子育て中の親の育児不安や孤立化を防止、子育てに喜びや楽しみを感じられるよう、情報提供を行うとともに、必要に応じ援助・斡旋を行う。	<p>●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「出前保育」「広場でパパを楽しもう」「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」</p> <p>●我孫子市民子育てサークル(親子向け)情報紙の発行 【日程】3月末 【配布場所】4広場・情報コーナー・各会議・子育て応援隊・フェスタや各イベントで配布 【発行枚数】1000枚発行</p> <p>●登録制メール配信サービス(子育て応援情報)随時 【登録者】2917人(3月末) 【配信状況】318件配信</p> <p>●インターネット(随時) 【発信状況】 ・市ホームページ「あびこで子育て」、イベントカレンダー 約90件/月、イベントレポート(ブログ)の作成 54件/年 ・子育て支援センター情報コーナー内のタッチパネルでの情報提供 48件 ・市フェイスブックに子育て情報を投稿 14件/年</p> <p>●窓口・電話による子育て情報提供(保育コンシェルジュ)</p> <p>●「幼稚園を知らう」 来年度我孫子市内幼稚園入園予定者が通園ママに園生活についての身近な質問をし、ママ目線で答える座談会。27年度は市民プラザホールにて開催(前年度まではにこにこ広場で開催)双方合わせ約80組の親子が参加。</p> <p>●子育て支援ガイドブック「わく2すく2」改訂版の発行 【日程】7月発行 【部数】7000部 【対象】我孫子市内幼稚園・保育園在園児、在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など</p>	【相談件数】959件	消耗品費 20,000円	登録されている市民団体の自主的なサークル活動と連携し、活動を把握し、情報の収集を行うとともに、登録団体の活動を市民へ情報提供し、交流や仲間作りのきっかけになるようにした。	A 成果・効果があった	多様な情報を提供提供しているため、利用者が自分のニーズに合った情報を気軽に選んで利用できるようになってきている。保育サービスを必要とする人の専門相談員を保育コンシェルジュと名前を改め配置したことで、窓口での子育て支援サービスへの問い合わせも増えている。利用者が情報を活用し、交流できる場に足を運び、仲間を作ることで、育児不安や孤立化を防ぐことができ、家庭での子育ての悩みを解消できるようになっている。	A. 現状どおり推進	<p>●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「出前保育」「広場でパパを楽しもう」「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」</p> <p>●我孫子市民子育てサークル(親子向け)情報紙の発行 【日程】3月末 【配布場所】4広場・情報コーナー・各会議・子育て応援隊・フェスタや各イベントで配布 【発行枚数】1000枚発行</p> <p>●登録制メール配信サービス(子育て応援情報)随時</p> <p>●インターネット随時 【発信状況】 ・市ホームページ「あびこで子育て」、イベントカレンダー、イベントレポート(ブログ)の作成 ・子育て支援センター情報コーナー内のタッチパネルでの情報提供 ・市フェイスブックに子育て情報を投稿</p> <p>●窓口・電話による子育て情報提供(保育コンシェルジュ)</p> <p>●「幼稚園を知らう」 【内容】来年度我孫子市内幼稚園入園予定者が通園ママに園生活についての身近な質問をし、ママ目線で答える座談会。 【場所】あびこ市民プラザホール</p> <p>●子育て支援ガイドブック「わく2すく2」改訂版の発行 【日程】7月発行 【部数】7500部 【対象】我孫子市内幼稚園・保育園在園児、在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など</p>	消耗品費 20,000円	登録されている市民団体の自主的なサークル活動と連携し、活動を把握し、情報の収集を行うとともに、登録団体の活動を市民へ情報提供し、交流や仲間作りのきっかけになるようにする。	保育課
9	手賀沼情報の提供	手賀沼の水質変化を市内の掲示板で3ヶ月に1回更新するとともに、手賀沼に関するイベント等の情報をホームページや市内の掲示板で提供し、手賀沼に対する関心を深める。	手賀沼中央地点の水質情報の更新(3ヶ月に1回)を各掲示板にて情報提供及び広報あびこに情報掲載した。我孫子市ホームページに千葉県の水質情報ページのリンクを貼った。また、手賀沼公園内の掲示板においては、1ヶ月毎に市独自で水質調査を行っている「手賀沼公園沖」の水質も併せて更新した。	【掲示場所】20箇所	なし	なし	A 成果・効果があった	手賀沼についての情報を遅滞なく提供できた。	A. 現状どおり推進	手賀沼中央地点の水質情報の更新(3ヶ月に1回)を各掲示板にて情報提供及び広報あびこに情報掲載する。我孫子市ホームページに千葉県の水質情報ページのリンクを貼る。また、手賀沼公園内の掲示板においては、1ヶ月毎に市独自で水質調査を行っている「手賀沼公園沖」の水質も併せて更新する。	なし	なし	手賀沼課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容				担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算		市民・事業者との協働	
10	都市計画に関する情報の管理・提供	都市計画とは何か、都市計画法等の法令内容に沿って概要を説明するとともに、我孫子市における都市計画の内容について事例を用いて説明する。	市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行った。 都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」やホームページの更新を行い情報提供を行った。	【ホームページ閲覧数】 2217件	なし	なし	なし	A 成果・効果があつた	常に最新の情報に更新することで市民・事業者に対して正確に情報を提供することができた。 なし	A. 現状どおり推進 常に最新の情報に更新し、市民・事業者に対して正確に情報を提供する。	市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行う。 都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」やホームページの更新を行い情報提供を行う。	なし	なし	都市計画課
11	都市計画図等の作成・管理事務	常に最新の都市計画図等の作成に努め、都市計画情報を市民・事業者に広く提供する。	都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにした。 都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売した。	【販売枚数】 84枚	都市計画図印刷費 453,600円	なし	なし	A 成果・効果があつた	常に最新の情報に更新することで市民・事業者に対して正確に情報を提供することができた。 なし	A. 現状どおり推進 常に最新の情報に更新し、市民・事業者に対して正確に情報を提供する。	都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにする。 都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売する。	都市計画図印刷費 583,200円	なし	都市計画課
12	景観形成情報発信・啓発事業	多くの市民に景観への関心を持ってもらうため、市民団体の活動支援や、イベント、ホームページ等の広報活動を通して、景観に関する情報発信及び啓発を行う。	市民の応募をもとに我孫子の魅力ある景観として選ばれた「我孫子のいろいろ八景」を散策するイベント「我孫子のいろいろ八景歩き」を実施した。景観づくり市民団体「我孫子の景観を育てる会」と協働して、4つのコースを定め、実施した。 ●「我孫子のいろいろ八景歩き」 《布佐・新木三大緑地公園コース》 【日程】11月22日(日) 午前9時から午後12時まで 【参加者】27名 《湖北台のまちなみと田園コース》 【日程】12月6日(日) 午前9時40分から午後12時まで 【参加者】25名 《高野山台地の古墳と八景を巡るコース》 【日程】12月13日(日) 午前9時30分から午後12時まで 【参加者】24名 《白樺派の散歩道と水辺のまちなみコース》 【日程】12月20日(日) 午前9時から午後12時まで 【参加者】25名 ●出前講座 【日程】11月17日(火) 【時間】午前10時から午前11時30分まで 【場所】湖北地区公民館 【参加人数】30人	【我孫子のいろいろ八景歩き参加者】 101人	●我孫子のいろいろ八景歩き 「我孫子の景観を育てる会」への業務委託料 563,480円	●我孫子のいろいろ八景歩き 「我孫子の景観を育てる会」と協働して、散策コースの選定、コースマップの編集作業、広報活動、散策実施時の案内等を行った。	●我孫子のいろいろ八景歩き 各コースとも定員を超える申込が有り、参加者からも好評を得た。 各コースの景観ポイントをガイドしながら散策する事を通して、我孫子の魅力ある景観を広めるきっかけ作りが出来た。	A 成果・効果があつた	A. 現状どおり推進 なし	●我孫子のいろいろ八景歩き 27年度に設定した4コースの散策を再度実施すると共に、新規で4コースを設定し、散策を実施する。	●我孫子のいろいろ八景歩き 「我孫子の景観を育てる会」への業務委託料 534,000円	【我孫子のいろいろ八景歩き】 「我孫子の景観を育てる会」と協働して行う。	都市計画課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
13	あびバス景観マップの作成	多くの市民に景観への関心を持ってもらうとともに、あびバス利用の促進や観光資源としての活用を図るため、市民団体と協働して、あびバス景観散策マップを作成する。	作成済みである船戸・台田ルート、栄・泉・並木ルートのマップをアビスタ、アビシルベ、各近隣センター等の施設やあびバス車内にて配布した。 新たに新木ルートのマップが完成し、2,500部印刷。同じくアビシルベ等の施設やあびバス車内にて配布した。	【あびバス景観マップ配付数】 約3,000部	あびバス景観マップ印刷製本費(船戸・台田ルート及び栄・泉・並木ルートの増刷、新木ルートの新規印刷) 156,945円	景観づくり市民団体「我孫子の景観を育てる会」と協働して、散策コースの選定、マップの編集作業を行った。	A 成果・効果があつた	各ルートのマップは、作成する度に好評を得ており、多くの人に手に取って頂いている。マップの配布を通じて、我孫子の魅力ある景観を周知することができた。	A. 現状どおり推進	新たに「根戸・布佐ルート」のマップ作成を進める(完成・配布は29年度を予定)。 ・作成済みルートのマップを引き続きアビシルベ等の施設やあびバス車内にて配布していく。	なし	景観づくり市民団体「我孫子の景観を育てる会」と協働して、作業を行う。	都市計画課
14	住宅情報の総合的提供	市のホームページに「住まい」に関する情報提供ページを設け、市が行っている住宅施策や市営住宅、マンション管理等の情報を提供する。	市ホームページや広報を活用し、市の住宅施策の周知に努めた。 また、住宅施策のひとつに空家対策事業があり、対応策として不動産相談の活用を挙げている。 この不動産相談を幅広く周知するため、課税課と協議し、固定資産税納付通知書の送付時に不動産相談の案内を同封し周知を行った。	【住宅・不動産相談申込件数】 44件(うち、空家・空地に関する相談10件)	住宅相談 相談員昼食代 1,840円	住宅相談の相談員を我孫子住宅センター協議会に、不動産相談の相談員を宅建協会我孫子支部に依頼した。	A 成果・効果があつた	市民への住宅施策の周知方法の工夫で平成26年度不動産相談件数が23件だったのに対し平成27年度不動産相談件数が44件(うち、空家・空地に関する相談10件)と増加し、多くの方に情報提供が行えた。	A. 現状どおり推進	引き続き、市ホームページや広報を活用の他、関連課等と連携しながら広報手段を検討し、必要とされる情報を幅広く発信する。	住宅相談に伴う昼食代 6,400円(2人×4回×800円)	住宅相談の相談員を我孫子住宅センター協議会に、不動産相談の相談員を宅建協会我孫子支部に依頼。	建築住宅課
15	水道広報活動推進事業	水資源の重要性や、水道事業運営状況等の積極的な情報提供を図る。	●広報「あびこの水道」発行 【発行回数】年2回(5/16号・11/16号)発行 ・新聞折り込みにより市内全戸配布 ・取手市小堀地区・取手地区に個別郵送 ・市関連施設の窓口にて配布 ・「あびこの水道」発行部数 各53,000部 ●水道施設見学会 【場所】北千葉広域水道企業団・妻子原浄水場 【実施日】平成27年8月19日(水) 【対象者】小学生3～6年生とその保護者 【参加人数】18人 ●我孫水ラベルデザイン募集 我孫子市制45周年記念の一環として我孫水ラベルデザインを募集した 【対象者】小学生3～6年生 【応募数】473点 ●我孫水(水道水)のPR ・各種イベント等で我孫水を配布し、水道水のおいしさをPR	【「あびこの水道」発行部数】 106,000部 (年2回53,000部)	「あびこの水道」発行委託費 5/16号 …412,560円 11/16号 …737,640円	なし	A 成果・効果があつた	水道事業の情報提供を行い、広報誌の全戸配布等により、その成果はあつたと思われる。 我孫水ラベルデザインの審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作11点が選ばれ、最優秀賞のラベルデザインは平成28年度に製造する我孫水から使用する。	A. 現状どおり推進	●広報「あびこの水道」発行 【発行回数】年2回(5/16号・11/16号)発行 ・新聞折り込みにより市内全戸配布 ・取手市小堀地区・取手地区に個別郵送 ・市関連施設の窓口にて配布 ●水道施設見学会 【場所】北千葉広域水道企業団・妻子原浄水場 【実施日】平成28年8月18日(木) 【対象者】小学生3～6年生とその保護者 ●我孫水(水道水)のPR ・各種イベント等で我孫水を配布し、水道水のおいしさをPR	●「あびこの水道」発行委託費 5/16号 …412,560円 11/16号 …737,640円	なし	水道局経営課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
16	生涯学習情報の発信	各課で実施する生涯学習関連事業について、「あびこ楽校ニュース」や「生涯学習のホームページ」などにより広く情報の発信を行い、生涯学習関連事業の活用を拡大を図る。	<p>●ホームページ 7月の我孫子市ホームページのリニューアルに伴い、生涯学習のホームページのリニューアルを行った。</p> <p>●あびこ楽校ニュース 生涯学習の情報紙として、年3回発行。本年度から自治会配付を実施した。 【印刷部数】各7,000部 【配付先と設置場所】教育委員会、市役所本庁ロビー、アピスタ、湖北地区公民館、図書館湖北台分館、図書館布佐分館、鳥の博物館、白樺文学館、杉村楚人冠記念館、市民体育館、市内近隣センター、行政サービスセンター、高齢者なんでも相談室、市民プラザ、アピシルベ、農産物直売所、保健センター、消費生活センター、商工会</p> <p>・26号 【発行日】6月16日 【内容】ハケの道さんぽ～我孫子・天王台地区～、早寝！早起き！朝ごはん！、我孫子の食育、我孫子の地名シリーズ「我孫子の由来」、生涯学習出前講座を紹介</p> <p>・27号 【発行日】9月16日 【内容】ハケの道さんぽ～天王台・湖北台地区～、秋の文化祭・スポーツフェスタ、我孫子の地名シリーズ「“都部”読めますか？」、生涯学習出前講座を紹介</p> <p>・28号 【発行日】12月14日 【内容】ハケの道さんぽ～湖北台・新木地区～、鳥の博物館へ行ってみよう！、生涯学習推進事業「人は、なぜ走るか？」、生涯学習出前講座を紹介</p> <p>●【楽】マーク 各課で実施する生涯学習関連事業について、広報掲載時にあびこ楽校事業として【楽】マークを付けて、生涯学習事業の周知・普及を図った。 【年間掲載数】281件</p>	【生涯学習トップページのアクセス数】5839件	●あびこ楽校ニュース あびこ楽校ニュース印刷費156,492円(52,164円×3回)	●あびこ楽校ニュース 公募の市民や、市民団体、市内大学・研究機関の方々と組織するあびこ楽校協議会において、あびこ楽校ニュースの記事内容を協議しながら編集作業を行った。 ＜あびこ楽校ニュース編集委員会＞ 公募委員、布佐南小学校長、中央学院大学教授、電力中央研究所員、我孫子市体育協会職員、我孫子市国際交流協会、我孫子野鳥を守る会会員	B あまり成果・効果がなかった	あびこ楽校ニュースにより、市の生涯学習情報を積極的に発信した。また27年度より、市内自治会への回覧・配付を行い、より多くの方へ周知をすることができた。	B. 改善・見直しを行う	ホームページや情報紙などにより生涯学習に関する情報提供を行う。 ●ホームページ 情報の更新を積極的に行い、新しい情報を発信できるようにし、閲覧回数の増加をめざす。 ●あびこ楽校ニュース 生涯学習の情報紙として、年4回発行する。自治会配付を行い、市で行っている生涯学習情報を積極的に発信する。 【発行日】4月16日、7月16日、10月16日、平成29年1月16日	●あびこ楽校ニュース あびこ楽校ニュース印刷費208,644円(52,164円×4回)	なし	生涯学習課
17	生涯学習情報提供システムの整備	学習や活動を行う市民や団体が自ら情報を提供することができるホームページの作成する。また、市が提供する人材情報・団体情報・イベント情報等の学習情報をメール配信やホームページ閲覧等を用いて、いつでも情報の発信や収集ができる環境を提供する。	生涯学習情報提供システム導入に向け、システム開発事業者の説明を聞くとともに、システムの概要について検討し、システム導入・管理に要する経費について、28年度予算(政策費)の要望を行ったが、「事業の必要性は高いが、市民活動支援課と連携して、29年度以降に実施すること」とされた。	なし	なし	なし	B あまり成果・効果がなかった	なし	B. 改善・見直しを行う	平成29年度導入をめざし、市民活動支援課と連携しながら生涯学習情報提供システムの導入準備を行う。	なし	なし	生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算
18	電腦考古博物館の運営	我孫子の文化財とその保護の取組みについて、市民に広く知ってもらうため、市の文化財のホームページである「あびこ電腦考古博物館」から文化財の情報を発信する。	掲載内容を精査して28年3月に市ホームページに移管を完了した。	【ホームページ閲覧数】 3,150件	リニューアル業務委託料 1,825千円	なし	A 成果・効果があった 市のホームページに移管することにより、情報管理を適切に行い、情報更新を速やかに行うことができるようになった。 なし	A. 現状どおり推進 最新発掘調査情報を充実させる。	最新情報として、発掘調査情報、イベント情報、指定文化財などの情報更新を速やかに実施する。	なし	なし	文化・スポーツ課
19	図書館における郷土・行政資料サービス	多くの市民に我孫子市や千葉県に関する郷土や行政に関する資料について、特にアビスタ本館が中心となる。我孫子市や行政に関心を持ってもらうため、郷土・行政資料の収集・保存・提供に努め、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。我孫子市の資料については、アビスタ本館が中心となり、収集・保存する。	我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供した。我孫子資料については、特にアビスタ本館が中心となって収集・保存した。 なお、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営、講演会の開催にあたっては、白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図った。 我孫子資料・千葉県資料 【年間貸出冊数】4,311冊 ＜杉村楚人冠記念館・我孫子市民図書館合同イベント＞ 【内容】朗読で知る昭和はじめの我孫子 【日程】9月26日(土) 【場所】杉村楚人冠記念館 【参加者】26人 【講師】杉村楚人冠記念館スタッフ、図書館市民スタッフ(読書普及) ＜「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営＞ 図書館に、我孫子ゆかりの人と作品を紹介するコーナーを設置	【郷土行政資料(我孫子資料・千葉県資料)の年間貸出冊数】 4,311冊(232冊増(+5.7%))	嘱託職員報酬他 1,354千円 事務用消耗品 54千円	杉村楚人冠記念館との合同イベント「朗読で知る昭和はじめの我孫子」において、市民スタッフ(読書普及担当)が朗読を担当した。	A 成果・効果があった 我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供することにより、市民が郷土への理解を深め、愛着をもって生活し、主体的に行政に係わるための一助となった。 「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営にあたっては、今後も白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携することが欠かせない。	A. 現状どおり推進 なし	我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供する。我孫子資料については、特にアビスタ本館が中心となって収集・保存する。白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図り、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営及び講演会の開催を行う。	嘱託職員報酬他 1,462千円 事務用消耗品 54千円	杉村楚人冠記念館と連携をはかり市民スタッフの協力を得て講演会を実施する。	図書館
20	図書館の情報化推進	図書館の電算システム等を運用し、市民の利便性の向上を図るとともに、過去の出来事や事件を手軽に調べることが出来る新聞の有料データベースにより情報提供を行い、知る自由を保障する。	図書館電算システム及び事務機器等を運用し、トラブル等に対処した。 館内検索コンピュータを運用し、利用者サービスに努めた。 新聞記事の有料データベースを活用して、利用者サービスに努めた。	【インターネット及び館愛検索コンピュータからの予約(リクエスト)受付件数(年間)】 101千件(2千件増(+2%))	書誌データ使用料 463千円 消耗品(利用カード) 194千円	なし	A 成果・効果があった インターネット及び館内検索コンピュータからの予約受付件数(年間)が2千件(2%)増加した。 図書館の情報化をより一層推進するとともに、資料のデジタル化も検討していく必要がある。	A. 現状どおり推進 なし	図書館電算システムの更新 図書館電算システム及び事務機器等を運用し、トラブル等に対処する。 館内検索コンピュータを運用し、利用者サービスに努める。 新聞記事の有料データベースを活用して、利用者サービスに努める。	書誌データ使用料 463千円 消耗品(利用カード) 194千円	なし	図書館
21	鳥の博物館ホームページの運営	鳥の博物館専用ホームページを運営し、鳥の博物館のイベント情報、企画展のお知らせ等、博物館事業の情報提供を行う。	ホームページのリニューアル及び市のサーバーで一括管理できるよう業務委託を実施し、企画展、イベント、博物館周辺の自然情報など最新の情報を発信した。(27年7月7月のリニューアル以降、平成28年度3月までの9か月間に153回の更新を行い、最新情報の提供に努めた。	【ホームページ更新回数】 153回(7月～3月)	ホームページリニューアル業務委託料 1,604千円 ブログ管理手数料 25,920円 生態観察OBISシステム管理手数料 49,680千円	なし	A 成果・効果があった 27年7月から28年3月までのホームページ閲覧者数は34,460人で、前年度同時期の32,378人より約6%増加した。 なし	A. 現状どおり推進 なし	昨年度に引き続き、企画展やイベント情報など最新情報を発信していく。	ブログ管理手数料 26千円 生態観察OBISシステム管理手数料 50千円 OBISシステム用機器購入 881千円	なし	鳥の博物館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算
②学びにつなげるための相談体制の充実			②学びにつなげるための相談体制の充実									
22	生涯学習学習相談体制の整備	市民一人ひとりの学習ニーズに対応した学習相談に応じるため、さまざまな学習情報を収集し、提供できるよう学習相談体制を整備する。	生涯学習センター「アビスタ」を拠点に我孫子市内外で行われている様々な学習情報の収集と提供を行った。また収集した情報を活用した学習相談を行った。「生涯学習人材情報」や「生涯学習団体・グループ情報」を整備し、インターネットや閲覧用ファイルで市民に情報を提供する。 《出前講座メニュー表》 【発効日】随時発行 【内容】生涯学習出前講座の利用方法、メニュー、市民講師プロフィール	【学習相談件数】 50件	なし	なし	A・成果・効果があった なし	A. 現状どおり推進 なし	生涯学習センター「アビスタ」を拠点に我孫子市内外で行われている様々な学習情報の収集と提供を行う。また収集した情報を活用した学習相談を行う。各課で実施している生涯学習関連事業や学校等で活躍している地域の方の人材情報や団体情報・イベント情報を収集し、インターネット等で市民に情報を提供する。	なし	なし	生涯学習課
23	生涯学習人材バンクの整備	市民の能力、経験や学習の成果をボランティア活動や市民活動に活かすため、絶えず人材情報や生涯学習団体情報のデータ更新を行い、情報の提供を行う。	「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」について、3年ごとに再確認を行い最新の情報へ更新を行う。また、随時登録募集を行うとともに、市民の問い合わせに対し情報を提供した。 平成27年度は「生涯学習人材情報」と「生涯学習団体・グループ情報」の再確認作業を行い更新した。 【平成27年度末登録状況】 《生涯学習人材情報》 87人 《生涯学習団体・グループ情報》 155団体	【新規登録件数】 10件	印刷製本費 5千円	なし	A・成果・効果があった なし	A. 現状どおり推進 なし	生涯学習人材情報、生涯学習団体・グループ情報について、随時登録募集を行い、情報数を増やす。課内の情報共有を行い、問い合わせに対し迅速に回答できるようにする。	なし	なし	生涯学習課
24	生涯学習ボランティア	出前講座市民講師登録等のボランティア登録を担当課で行い、市民が持つ様々な経験や専門的知識を活かせる場を提供する。	市民がもっている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と学ぶ場の提供のため、生涯学習に関わるボランティアの活用を図る。 《子ども支援課》 宿泊通学スタッフ 12人 あびっ子クラブサポーター 209人 《保育課》 子育て支援施設子育てボランティア 47人 子育てサポーター 73人 保育園における災害時協力員 65人 インターンシップ 14人 キッズスタッフ 3人 《指導課》 学校支援ボランティア 1103人 19団体 《文化・スポーツ課》 文化事業市民スタッフ 34人 《鳥の博物館》 鳥の博物館市民スタッフボランティア 36人 《図書館》 図書館市民スタッフ(読書普及スタッフ) 11人 図書館市民スタッフ(対面朗読スタッフ) 13人 《生涯学習課》 生涯学習出前講座市民講師 62人、6団体 保育市民スタッフ事業(学習中の保育) 10人	【平成27年度末ボランティア登録数】 《個人登録数》 1,692人 《団体登録数》 25団体	なし	多くの市民の方にボランティア登録してもらい、市民ボランティアのサポートを受け、生涯学習事業を実施した。	A・成果・効果があった なし	A. 現状どおり推進 なし	市民がもっている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と生涯学習に関わるボランティアの活用を図る。	なし	多くの市民の方にボランティア登録してもらい、市民ボランティアのサポートを受け、生涯学習事業を実施した。	生涯学習課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館、保育課、子ども支援課、指導課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容				担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算		市民・事業者との協働
25	視聴覚ライブラリーの管理・運営	現在保有する視聴覚教材・機材を維持管理しながら、広く市民や団体に貸し出し、市民の生涯学習活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ●機材・教材保有状況 <ul style="list-style-type: none"> ・16ミリ映写機、液晶プロジェクター、ポータブルアンブレットなど約20種類の機材 ・16ミリフィルム: 325本 ・ビデオソフト: 253本 ・DVD: 193本 ●事業 <ul style="list-style-type: none"> 《視聴覚教材及び機材の貸出(通年)》 【対象者】市内に在住又は在勤し、営利を目的としない者。 《視聴覚教材の保守点検》 【日程】5月19～26日 【16ミリフィルム保守点検数】93本 《DVD教材の新規購入》 【日程】7月 【DVDソフト購入数】8本 	<ul style="list-style-type: none"> 【視聴覚ライブラリー利用件数(機材・16ミリフィルム・ビデオソフト・DVDソフト)】290件 	<ul style="list-style-type: none"> 《視聴覚教材及び機材の貸出》 消耗品 27,407円 《視聴覚教材の保守点検》 保守点検委託料 43,189円 	なし	A・成果・効果があつた	<p>視聴覚ライブラリーの教材や機材を貸し出し、市民に活用してもらうことで市民の生涯学習活動を支援することができた。</p> <p>現在保有している機材の老朽化が課題となっている。</p>	B. 改善・見直しを行う	<ul style="list-style-type: none"> ●視聴覚教材及び機材の貸出(通年)【対象者】市内に在住又は在勤し、営利を目的としない者。 ●視聴覚教材の保守点検 	<ul style="list-style-type: none"> 《視聴覚教材及び機材の貸出》 消耗品 93,500円 《視聴覚教材の保守点検》 保守点検委託料 75,000円 修繕料 80,000円 	なし	生涯学習課
26	図書館カウンターサービス	図書館資料の利用により、市民が知る自由を享受し、より豊かな生活を送ることが出来るよう、自主的な学習活動を支援し、幅広い学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料(図書・雑誌・CD・カセットテープ)の貸出・返却を行った。また、返却された図書館資料を元の書架に戻し、書架整理を行った。 ・図書館サービス向上のため、年末年始(12月29日～1月4日)を除く祝日を閉館した。また、アビスタ本館の閉館日は午後8時まで閉館した。 ・窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行った。 ・利用者の求める図書館資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 【年間貸出利用者数】2,026人減少(-0.6%) 【年間貸出冊数】1,201千冊(17千冊減(-1.4%)) 前年度と比較すると、年間貸出利用者数は2,026人減少(-0.6%)した。年間貸出冊数、年間貸出利用者数ともに平成25年度から減少傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 嘱託職員報酬他 46,835千円 臨時図書整理員賃金他 14,640千円 事務用消耗品 259千円 研修旅費 49千円 燃料費 413千円 複写機サービス料 381千円 事務機器使用料(コピーリース料) 312千円 	なし	A・成果・効果があつた	<p>図書館資料の利用により、市民が知る自由を享受し、より豊かな生活を送ることができた。自主的な学習活動を支援し、幅広い学習機会を提供できた。</p> <p>今後減少傾向の原因を様々な視点で調査し、利用増につながる対策を検討する必要がある。</p>	A. 現状どおり推進	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料(図書・雑誌・CD・カセットテープ)の貸出・返却を行う。また、返却された図書館資料を元の書架に戻し、書架整理を行う。 ・図書館サービス向上のため、年末年始(12月29日～1月4日)を除く祝日を閉館する。また、アビスタ本館の閉館日は午後8時まで閉館する。 ・窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行う。 ・利用者の求める図書館資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 嘱託職員報酬他 48,802千円 臨時図書整理員賃金他 12,116千円 事務用消耗品 246千円 研修旅費 64千円 燃料費 385千円 複写機サービス料 499千円 事務機器使用料(コピーリース料) 312千円 施設備品購入費(グリッピン再生器他) 195千円 	なし	図書館
27	図書館利用に障害のある方へのサービス	録音図書の貸出や、図書の郵送貸出等、ハンディキャップを持つ人の特性に合わせた幅広いサービスを提供することにより、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デージー録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行なった。また、ハンディキャップサービスのPRを行なった。 	<ul style="list-style-type: none"> 【宅配・郵送・対面朗読等年間利用件数】 《対面朗読サービス》102回 《郵送貸出サービス(デージー録音図書含む)》1,075回 《宅配サービス》275回 《窓口でのデージー録音図書貸出》235件 ・利用件数を前年度と比較すると、対面朗読サービスは19回減少(-15.7%)、郵送貸出サービスは52回増加(+5.1%)、宅配サービスは56回増加(+25.6%)となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 嘱託職員報酬他 469千円 市民スタッフ対面朗読担当報償費 100千円 デージー録音図書作成用他消耗費 121千円 講師報償費 3千円 施設備品購入費(PC外付ハードディスクの購入) 65千円 	対面朗読は市民スタッフ、録音図書作成は市内朗読ボランティアと協働して実施した。	A・成果・効果があつた	<p>郵送貸出サービスは、デージー録音図書の貸出開始により年々増加している。宅配サービスは新規登録者への貸出が活発だったため宅配件数が増加した。</p> <p>ハンディキャップを持つ人への様々なサービスの提供により、学びたいときに学べる学習機会を充実させるという目的に対して、一定の効果が上がっている。</p> <p>一部の利用者の利用だけに偏らないよう、今後も新たな利用者の開拓や、PRを積極的に行っていく必要がある。</p>	A. 現状どおり推進	<ul style="list-style-type: none"> ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デージー録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行なう。また、ハンディキャップサービスのPRを行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> 嘱託職員報酬他 769千円 市民スタッフ対面朗読担当報償費 96千円 デージー録音図書作成用他消耗費 46千円 	対面朗読は市民スタッフ、録音図書作成は市内朗読ボランティアと協働して実施する。	図書館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
③学びへの関心を高めるための啓発の充実													
28	交通安全思想の普及	警察署、交通安全協会と連携し、交通安全教室の実施等、実践的な交通安全啓発活動を充実させ、交通安全思想の普及を図る。	保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察、交通安全協会と連携し、交通安全教室を実施した。 模擬信号機、模擬交差点、ダミー人形等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習をするほか、DVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償について学んでもらった。 【日程・対象・参加者数・内容】 4月6日(月) 根戸小 1年 183人 歩行(シティア居住児童)、 4月13日(月) 布佐中 1年 106人 自転車 4月20日(月) 布佐南小 ①1~3年 69人 歩行 ②4~6年 91人 自転車 4月22日(水) 根戸小 1年 165人 歩行、4月24日(金) 湖北中 1~2年 291人 自転車 4月27日(月) 湖北小 1~2年 116人 歩行、4月28日(火) 湖北台西小 5~6年 123人 自転車 4月30日(木) 湖北台西小 3~4年 109人 自転車、4月30日(木) 久寺家中 1年 128人 自転車 5月1日(木) 湖北台西小 1~2年 117人 歩行、5月13日(水) 高野山小 1年 111人 歩行 5月25日(月) ひかり幼稚園 園児 150人 歩行、5月29日(金) 湖北台東小 3~4年 100人 自転車 6月1日(月) 高野山小 2年 100人 巻き込み防止実演、6月4日(木) 第二小 1年 60人 歩行 6月12日(金) 第一小 ①1~2年 192人 歩行 ②3年 93人 自転車 6月17日(水) 並木小 ①1年 63人 歩行 ②3年 85人 自転車 6月18日(木) 新木小 ①1年 91人 歩行 ②3年 83人 自転車 ③6年 113人 自転車 6月19日(木) 新木小 ①2年 88人 歩行 ②4年 85人 自転車 ③5年 107人 自転車 6月24日(水) 緑保育園 園児 120人 歩行 6月26日(水) 第四小 ①1~2年 289人 歩行 ②3~4年 278人 自転車 7月2日(木) 布佐小 ①1~2年 66人 歩行 ②3年 45人 自転車 10月28日(水) ぼけっとランドあびこ 園児 63人 歩行	【交通安全教室延べ開催回数】 47回	自転車交通安全教室を受講した小中学生に自転車安全運転受講証を配付 8,000円(20円×400枚)	警察のほか、我孫子交通安全協会と市の三者で連携・協力して開催。	A 成果・効果があった	子どもたちへの交通ルールやマナーに対する認識を着実に高めることができた。	A. 現状どおり推進	③学びへの関心を高めるための啓発の充実 保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察署、交通安全協会と連携・協力して交通安全教室を開催する。 模擬信号機、模擬交差点、ダミー人形等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習をするほか、必要に応じてDVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償について学ぶ。	自転車交通安全教室を受講した小中学生に自転車安全運転受講証を配付 8,000円 (20円×400枚)	警察のほか、我孫子交通安全協会と市の三者で連携・協力して開催。	市民安全課
29	集団健康教育	保健センターで実施する各種がん検診等の場で、生活習慣病予防のための健康教育を実施する。	集団でのがん検診等の場(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診)で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施した。 【内容】がん、禁煙、ロコモティブシンドローム、歯の健康等 【場所】保健センター 【参加者(延べ人数)】延べ実施人数: 10,999人(集団:子宮頸がん検診 3,098人、乳がん検診 4,058人(マンモグラフィ検査2,947人、超音波検査1,111人)、胃がん検診 3,401人、骨粗しょう症検診 442人)	【参加者(延べ人数)】 10,999人	なし	なし	A 成果・効果があった	糖尿病、高血圧、動脈硬化やがんの知識と食生活・運動習慣・休養・喫煙・アルコール・口腔衛生などに関する健康教育を実施することで、健康寿命の延伸、疾病の一次予防の推進を図ることができた。 ホームページや広報など、様々な機会に生活習慣病予防等の啓発を行っており、集団健康教育のみの効果が評価しにくい。	A. 現状どおり推進 健康教育は様々な場で啓発していく必要があり、引き続き実施していく。	集団でのがん検診等の場(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診)で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施する。(内容:がん、禁煙、歯の健康、ロコモティブシンドローム等)	なし	なし	健康づくり支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容				担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算		市民・事業者との協働
30	健康フェア	健康寿命の延伸に向けて、市民が普段から健康増進に努め、病気の原因となる危険因子を予防・改善する“一次予防”に取り組めるよう、健康に関する啓発を行う。健康づくりに関する情報提供や健康相談、ニュースポーツなど様々な健康づくりの取り組みを紹介し、健康における運動習慣の重要性に関する啓発を行う。	市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催。 【日程】11月8日(日)10時から16時(受付15時まで) 【場所】アビスタ 【内容】テーマ「健康寿命の延伸」健康に関するイベント、健康相談・教育を実施。 (無料)◎市民歯科健診・親子歯科相談 ◎スポーツ吹矢チャレンジ2015 ◎歩行年齢測定会 ◎カイロプラクティック健康講座 ◎ニュースポーツ体験 ◎食と運動 ◎身体測定コーナー ◎医師・薬剤師による健康相談 ◎足裏・肩こりほぐし ◎セントラルウェルネスクラブ親子ヨガ体験 ◎親子で変身!ドクター・ナース服で記念撮影 ◎折り紙で脳トレ&リラクゼーション ◎自分カルテ配布 ◎健康づくり情報大公開(販売)◎うどん、パン等 【参加者】2,465名(延べ)	【来場者アンケート】 ◀「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた割合▶ 94.5% ◀「健康寿命の意味がわかった方」の割合▶ 86.6%	事業費 63万9千円	健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等)主催で実施。	A・成果・効果があった	雨天のため、昨年度より参加者数は減ったが、来場者アンケートでは、「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた方が約95%を占め、事業を通して健康づくりへの意識向上を促せたと考える。 様々な分野から健康づくりについて発信していくため、新規市民活動団体の参加を促していくことが課題である。	A. 現状どおり推進 市民の方の健康意識向上、健康保持増進方法の啓発の核となる事業として今後も推進していく。	市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催予定。 【日程】11月20日 【場所】アビスタ 【主催】健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等) 【内容】テーマ「健康寿命の延ばそう! Smart Life Project!」健康に関するイベント、健康相談・教育、講演等を実施する予定。	事業費 63万9千円	健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等)主催で実施予定。	健康づくり支援課
31	廃棄物に関する教育啓発事業	我孫子市におけるリサイクルの流れや廃棄物処理の実情を紹介し、生活から排出される「ごみと資源」について共に考え、廃棄物行政への理解とごみの減量、リサイクルの推進を図る。	●大人を対象とした施設見学 【日程・参加者数】 第1回 9月16日 12名 第2回 11月27日 25名 第3回 2月 2日 14名 【合計参加者数】51名	【事業開催回数】 3回	なし	なし	A・成果・効果があった	放射能の関係から対象を大人に絞って施設見学を行ったことで、引き続き我孫子市におけるリサイクルの流れや廃棄物処理の実情を紹介をする機会を提供できた。 イベントや小学生を対象にした施設見学は、放射能を含む焼却灰を取り扱っているため休止。 新規焼却施設の建設準備のため、順次解体工事が実施されることから平成28年11月から平成33年3月(予定)まで施設見学は休止になる。	C. 廃止・休止 平成28年11月から平成33年3月(予定)まで施設見学は休止する。	イベントや小学生を対象にした施設見学は、放射能を含む焼却灰を取り扱っているため休止。再開の目処はたっていない。 出前講座のメニューに大人が対象の「施設見学」を行う。(10月まで)	なし	なし	クリーンセンター

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
32	石けん利用の推進	石けんの利用を通して、私たちの生活と環境とのかわりに関心を持ってもらい、手賀沼浄化や地球温暖化など環境改善につなげる。	<p>●保育園での啓発 【内容】粉石けん・パンフ配布とシャボン玉遊びを通しての石けん啓発 ①【日程】7月4日 【場所】東我孫子保育園 【参加者】園児130名、保護者100名 ②【日程】7月11日 【場所】つくし野保育園 【参加者】園児120名、保護者100名 ③【日程】7月28日 【場所】わくわく広場 【参加者】親子6組、園児25名</p> <p>●せっけん学習会 《手賀沼流域フォーラム》 【日程】7月20日 【場所】アピスタ 【参加者】親子41名</p> <p>●イベント参加 《ママへのごほうびフェスタ》 【日程】9月5日 【場所】イトーヨーカドー我孫子南口店 【内容】コネコネ石けん、プリプリ石けん作り 《産業まつり》 【日程】10月18日 【場所】湖北台中央公園 【内容】啓発用粉石けん、パンフ800セット配布、ブラックボックス体験パネル展示・プリン状石けんの見本展示及び説明 《福祉ふれあいプラザ せっけん講座》 【日程】11月29日(日) 【場所】けやきプラザ1F介護実習センター 【内容】コネコネ石けん作り、プリプリ石けんの効果や使用方法の説明による啓発 【参加人数】大人15名 子供18名 《こもれび親子石けん体験教室》 【日程】平成28年3月12日 【場所】こもれび2F 【内容】歯磨き実験・コネコネ石けん作り・プリプリ石けん作り 【参加人数】大人10名 子供8名 《子育てフェスタ 石けん啓発》 【日程】平成28年3月26日 【場所】イトーヨーカ堂 【内容】コネコネ石けん作り、プリプリ石けん作りの体験学習 【参加人数】大人138人 子供140人</p>	【来場者数】1722人	【配布物】 せっけんの街200g(粉石けん) 120,546円(102円×1182人)	すべてのイベント《我孫子市石けん利用推進協議会》	A 成果・効果があつた	<p>保育園の夕涼み会、わくわく広場でシャボン玉を使いながら、子供たちは遊びその親には石けんの大切さをアピール・啓発する形態、学習会として参加申込を募り学び知る形態、大きなイベントにひとつのコーナーを設け石けんの啓発をする形態の3つに分けて事業を行った。その結果幼児から小学生低学年、高学年と幅広く啓発ができ、その親の石けんに対する関心を深めることができた。</p> <p>なし</p>	A. 現状どおり推進	<p>●保育園での啓発 ①【日程】7月2日 【場所】寿保育園 ②【日程】7月9日 【場所】湖北台保育園 ③【日程】7月26日 【場所】わくわく広場</p> <p>●せっけん学習会 《手賀沼流域フォーラム》 【日程】7月23日 【場所】アピスタ 《福祉ふれあいプラザ親子体験教室》 【日程】11月 【場所】けやきプラザ</p> <p>●イベント参加 《子育てフェスタ》 【日程】9月3日 【場所】イトーヨーカドー我孫子南口店 《産業まつり》 【日程】10月16日 【場所】湖北台中央公園 《福祉プラザ石けん学習会》 【日程】11月12日 【場所】けやきプラザ</p>	【配布物】石けんの街200g(粉石けん)@102×2,000袋×1.08=220,320円の予算を取っている。	すべてのイベント《我孫子市石けん利用推進協議会》	商業観光課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
33	小学校『歯磨き・食育指導』事業	乳歯から永久歯への交換期である児童の歯・口の健康づくりを目指すため、小学生に対して歯磨き・食育指導を実施する。	市内各学校の児童に対し、1～2学期を中心に実施。 【実施回数】136回 【場所】市内小学校13校 【対象者】4,009人 学校の希望により、学校給食後(昼食後)の児童の歯磨き指導を、希望する各学校で実施。 【実施回数】各校5回 【場所】市内小学校13校 【対象者】136人 学校の希望により、臨時歯科健康診断時に、希望する各学校で実施。 【実施回数】各校5回 【場所】市内小学校13校 【対象者】415人	【給食後の歯磨きを実施している学校数】 13校	消耗品費 15,340円 【内訳】 ・綿棒90円×20ケース＝1,800円 ・歯垢染出し液(赤)399円×10本＝3,990円 ・歯垢染出し液(ダブルチェッカー青)498円×5本＝2,490円 ・紙コップ(1000個入り)1,490円 ・糸付ようじ188円×25袋＝4,700円 ・手指消毒液870円×1本＝870円	なし	評価 A・成果・効果があつた	歯磨き・食育に関する啓発ができた。 12歳児の永久歯の1人平均むし歯経験歯数が、全国平均値より低い数値であった。 なし	A. 現状どおり推進 なし	・市内各学校の児童に対し、1～2学期を中心に実施予定。(実施回数・参加者は見込み数) 【実施回数】108回 【場所】市内小学校13校 【対象者】3,200人 ・学校の希望により、学校給食後(昼食後)の児童の歯磨き指導を、希望する各学校で実施。 【実施回数】各校3回 【場所】市内小学校13校 【対象者】50人 ・学校の希望により、臨時歯科健康診断時に、希望する各学校で実施。 【実施回数】各校5回 【場所】市内小学校13校 【対象者】300人	消耗品費 12,744円 【内訳】 ・綿棒90円×16ケース＝1,440円 ・歯垢染出し液(赤)399円×8本＝3,192円 ・歯垢染出し液(ダブルチェッカー青)498円×4本＝1,992円 ・紙コップ(1000個入り)1,490円 ・糸付ようじ188円×20袋＝3,760円 ・手指消毒液870円×1本＝870円	なし	学校教育課
34	生涯学習推進計画事業実施状況調査	市民が主役の生涯学習の推進を図るため、我孫子市生涯学習推進計画に基づく生涯学習関連事業の実施状況調査を実施し、その進捗管理や調整を行う。	第二次生涯学習推進計画実施計画に基づく事業の平成26年度実施状況の具体的内容・課題、平成27年度の実施予定内容と廃止・見直し等の理由・代替事業の有無の把握をするため、4～5月に計画に基づく事業の進行管理のための実施状況調査を実施した。 ●平成26年度実施状況 実施計画(後期)に位置付けた139事業を実施計画事業として進捗管理を進めた。 【新規事業】 ・我孫子市創業支援事業(企業立地推進課) ・チャレンジDAY(市民活動支援課) 【休止事業】 ・手話及び要約筆記奉仕員養成講座(障害福祉支援課) ・廃棄物に関する教育啓発事業(クリーンセンター) 【隔年事業】 ・暮らしの便利帳・あひこガイドブックの発行(秘書広報課) ●平成27年度の実施予定内容 平成27年度は、概ね26年度事業を継続して実施する。また、事業を休止した事業・隔年事業・統合事業・廃止事業が6事業あり、平成27年度は、133事業を実施した。 【廃止事業】 ・朝食レシビコンクール(健康づくり支援課) 【休止事業】 ・手話及び要約筆記奉仕員養成講座(障害福祉支援課) ・廃棄物に関する教育啓発事業(クリーンセンター) 【隔年事業】 ・高齢者虐待防止講演会(高齢者支援課) ・こども議会(指導課) 【統合事業】 ・デジター録音図書作成事業(図書館) ※図書館利用に障害のある方へのサービスへ統合			なし	評価 A・成果・効果があつた	廃止した事業が1、休止した事業が2、2年に1回実施する事業が2事業あつたものの、ほぼ順調に執行された。 生涯学習推進計画実施計画実施状況調査表の平成26年度事業の課題を見ると、事業のPRの必要性や、定員に満たない事業の対策、事業サポーター・スタッフの確保などの課題があつた。	B. 改善・見直しを行う 各課の課題のある事業については、生涯学習推進本部幹事会などの場を活用し、課題の解決にあたって必要な情報提供や、庁内間の連携のきっかけづくりなどを行っていく。	第三次生涯学習推進計画前期実施計画に基づく事業の平成27年度実施状況の具体的内容・課題、平成28年度の実施予定内容と廃止・見直し等の理由・代替事業の有無を把握するため、5から6月に計画に基づく事業の進行管理のための実施状況調査を実施する。	消耗品 20,000円	なし	生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容				担当課			
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算		市民・事業者との協働		
35	生涯学習推進本部の運営	生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進計画の策定のほか、生涯学習に関する施策や各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行う。	<p>●推進本部会議 推進本部会議を3回開催し、各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行うとともに、第三次生涯学習推進計画について協議し策定した。 【日程】7月30日、11月26日、2月12日</p> <p>・生涯学習推進計画実施計画実施状況調査 5から6月に第二次生涯学習推進計画に基づく事業進行管理のため実施状況調査をし、平成26年度実施事業内容、平成27年度実施予定事業の把握を行った。</p> <p>●幹事会会議 幹事会会議を4回開催し、主に第三次生涯学習推進計画について協議を行った。 【日程】7月27日、11月12日、1月28日、3月24日</p> <p>●第三次生涯学習推進計画策定部会 第三次生涯学習推進計画策定のため、第三次生涯学習推進計画策定部会を設置し、会議を7回開催した。 【日程】6月5日、7月10日、8月28日、10月6日、11月4日、12月4日、3月24日</p>	【本部会議開催数】 3回	なし	なし	なし	<p>A. 成果・効果があつた</p>	<p>全庁の生涯学習推進計画の推進を図るとともに、課題について協議し、結果を各課に情報として提供することができた。また市民に各課が実施する生涯学習に関わる事業の調査や学習情報を提供できた。第三次生涯学習推進計画を策定し、28年度からこの計画に基づき、生涯学習の推進を図っていく。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>●推進本部会議 推進本部会議を開催し、各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行うとともに、生涯学習の推進を図る。</p> <p>《生涯学習推進計画実施計画実施状況調査》 6月に第二次生涯学習推進計画に基づく事業進行管理のため実施状況調査をし、平成27年度実施事業内容、平成28年度実施予定事業の把握を行う。</p> <p>●幹事会会議 推進本部会議を円滑に運営するため、幹事会会議を開催し、各課で行われている生涯学習関連事業の調整を中心に協議する。</p>	なし	なし	なし	生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
36	健康スポーツ普及事業	市民の健康の保持・増進を図るためスポーツ推進委員などと連携し、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。市民が気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し健康スポーツの普及を図る。多様化するスポーツニーズに対応するため、スポーツ指導者資格研修制度導入を研究する。	<p>《総合型地域スポーツクラブ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内6つのクラブにおいて、ペタンク・ショートテニス・健康体操・太極拳・卓球等の活動を通し、総合型地域スポーツクラブとして活動した。 ・各クラブは毎週土曜・日曜日に活動している。 ・各クラブの活動の他に6クラブ連絡交流会を組織しており、6クラブ合同事業としてウォークラリーや市民メッセにおいて総合型地域スポーツクラブの紹介映像やニュースポーツにデモンストラーションを行った。 <p>《体育協会の委託事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民体育大会(4月から3月各競技連盟で、チャレンジスポーツフェスタ(10月第1土曜日、新春マラソン大会(1月第4日曜日)を開催。 	<p>《総合型地域スポーツクラブ》</p> <p>【会員数】427人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●イベント参加者数 《市民体育大会》【参加者】5,446人 《チャレンジスポーツフェスタ》【参加者】2,358人 《新春マラソン大会》【参加者】2,177人 	健康スポーツ普及事業 13,958千円	<p>《チャレンジスポーツフェスタ》</p> <p>体育協会を主管としてスポーツ推進委員連絡協議会、スポーツ少年団と連携しスポーツ体験、ニュースポーツ体験、新体力測定などを実施した。</p> <p>《総合型地域スポーツクラブ》</p> <p>連絡交流会に出席し意見交換した。</p>	A・成果・効果があつた	<p>市の広報、ホームページで周知を図り多数の参加を得た。</p> <p>《チャレンジスポーツフェスタ》</p> <p>いかにすれば全市的なイベントにできるかを検討。</p> <p>《総合型地域スポーツクラブ》</p> <p>各クラブの自主運営のため参加人数は、掘んでいない。交流連絡会について方向性を示し、より一層のクラブ活動の充実を図る。</p>	B. 改善・見直しを行う	<p>《総合型地域スポーツクラブ》</p> <p>引き続き各クラブでの自主的運営の支援を行う。</p> <p>市民体育大会: 現在実施中</p> <p>《チャレンジスポーツフェスタ》</p> <p>【開催日】10月1日</p> <p>《新春マラソン大会》</p> <p>【開催日】1月22日</p>	健康スポーツ普及事業 11,399千円	<p>《チャレンジスポーツフェスタ》</p> <p>体育協会を主管として、スポーツ推進委員連絡協議会、スポーツ少年団と連携し、スポーツ体験、ニュースポーツ体験、新体力測定などを実施する。</p> <p>《総合型地域スポーツクラブ》</p> <p>連絡交流会に出席し、意見交換を行う。</p>	文化・スポーツ課
37	読書普及活動	依頼された市民団体の元へ出向き、読み聞かせや読書案内を行うことにより、市民の読書への関心を高め、図書館の利用促進を図る。	<p>出前講座として、「子どもと読書」「大人が楽しむおはなし会」「図書館の上手な使い方・楽しみ方」の3つの講座を設け、市民団体からの依頼に対し、職員や市民スタッフが出向き、講義や読み聞かせ等を行なった。また、出前講座以外でも、市民団体、学校などからの依頼に対し職員や市民スタッフを派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●出前講座等読書普及活動 《出前講座》 【回数・人数】3回、42人(「大人が楽しむおはなし会」2回 33人、「図書館の上手な使い方・楽しみ方」1回 9人) 《職員派遣》 【派遣回数】10回 【参加者】204人 【派遣先】小・中学校、保育園等 《離乳食教室での乳幼児と保護者への読み聞かせ》 【実施回数】12回(月1回) 【参加者】561人 《出張おはなし会》 【実施回数】7回 【参加者】367人 	<p>【出前講座及び職員派遣先、出張おはなし会、離乳食教室での読み聞かせの参加者数(年間)】</p> <p>1,174人(170人増(+16.9%))</p>	市民スタッフ読書普及担当 報償費 86千円 消耗品費 8千円	市民スタッフ(読書普及担当)と協働して、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びの実演、本の紹介、図書館案内を実施した。	A・成果・効果があつた	<p>出前講座等参加者数は、市民団体や学校の人数によって変動的ではあるが、毎年1,000人以上の実績があり、安定して読書普及効果がある。</p>	A. 現状どおり推進	<p>出前講座として、「子どもと読書」「大人が楽しむおはなし会」「図書館の上手な使い方・楽しみ方」の3つの講座を設け、市民団体からの依頼に対し、職員や市民スタッフが出向き、講義や読み聞かせ等を行なう。また、出前講座以外でも、市民団体、学校などからの依頼に対し職員や市民スタッフを派遣する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座 「子どもと読書」(随時)「大人が楽しむおはなし会」(随時)「図書館の上手な使い方・楽しみ方」(随時) ・職員派遣(随時) ・離乳食教室での乳幼児と保護者への読み聞かせ(月1回) ・出張おはなし会(随時) 	市民スタッフ読書普及担当 報償費 133千円 消耗品費 8千円	市民スタッフ(読書普及担当)と協働して、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びの実演、本の紹介、図書館案内を実施する。	図書館
38	図書館PR	図書館利用促進のためのPRや情報提供を行い、多くの市民に図書館サービスを周知する。	<p>・図書館のホームページにおいて、利用促進のためのPR及び情報提供を行なった。</p> <p>・「我孫子市の図書館」「たんた新聞」等の刊行物を発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●我孫子市の図書館 【発行日】10月1日 【発行部数】250部 ●たんた新聞 【発行日】年4回(4月1日、7月1日、10月27日、12月1日)発行 【配布場所】図書館窓口、市内各小学校、県立我孫子特別支援学校小学部、県内公共図書館 【発行部数】合計13,000部 ●我孫子市民図書館 秋のたより 【発行日】10月27日 【発行部数】1500部 	<p>【ホームページの年間アクセス数】</p> <p>524千件(51千件減(-8.9%))</p>	嘱託職員報酬他 390千円 事務用消耗品 50千円	なし	A・成果・効果があつた	<p>図書館資料の予約受付件数のうち、約70%がホームページからのオンライン予約であり、インターネットサービスに対する市民のニーズの高さが確認された。</p> <p>貸出冊数等が減少傾向にあることから、PRや情報提供の方法を工夫し、一層の利用促進を図る必要がある。</p>	A. 現状どおり推進	<p>図書館のホームページにおいて、利用促進のためのPR及び情報提供を行なう。</p> <p>「我孫子市の図書館」「たんた新聞」等の刊行物を発行する。</p>	嘱託職員報酬他 225千円 事務用消耗品 46千円 印刷製本費(「図書館だより」) 21千円	なし	図書館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
39	鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動	鳥類や自然科学への理解を深めることを目的に専門家を呼んで講演会を実施する。また、工作を楽しむ機会や、観察や体験の機会を提供するため、身近な材料でできる工作や、観察、体験を中心に実施する。	<p>●講演・講座</p> <p>≪開館25周年記念講座「鳥の博物館のこれから」≫ 【講師】林良博さん 【日程】5月24日(日)13:30~15:00 【参加者】160人(招待者7人含む)</p> <p>≪「鳥の道を越えて」上映会&トーク≫ 【トーク】今井友樹監督、佐藤文男さん 【日程】9月26日(土)13:30~16:00 【参加者】150人</p> <p>≪鳥学講座スペシャル「研究最前線～今どうなっている？鳥と恐竜～」≫ 【講師】真鍋真さん、聞き手：林良博さん 【日程】10月31日(土)13:30~15:30 【参加者】166人</p> <p>≪ゲストトーク「チョウゲンボウと十三崖の魅力」≫ 【講師】本村健さん 【日程】11月1日(日)10:30~11:30 【参加者】52人</p> <p>≪鳥博セミナー「フクロウはどのようにかわいいの？」≫ 【講師】柴田佳秀さん 【日程】2月21日(日)13:30~15:00 【参加者】61人</p> <p>●フロアスタッフイベント</p> <p>≪飛べ！鳥の紙ひこうき≫ 【日程・参加者】5月4日(月・祝)・・・20人</p> <p>≪鳥風教室 5月5日≫ 【日程・参加者】(火・祝)・・・14家族</p> <p>≪ちぎり絵で鳥をつくろう≫ 【日程・参加者】5月10日(日)・・・83人</p> <p>≪夏の遊びと研究大集合！≫ 【日程・参加者】(7月18日から8月23日までの毎週土・日曜)</p> <p>7/18「プープーカモ笛」・・・24人(子ども 以下同様)</p> <p>7/19「ダチョウの骨ってどんな骨？」・・・10人</p> <p>7/25「ふくろうホバークラフト」・・・21人</p> <p>7/26「メダカでアクアリウム」・・・28人</p> <p>8/1「ゴーストミズク」・・・24人</p> <p>8/2「ふくろうホバークラフト」・・・21人</p> <p>8/8「実物大！羽図鑑をつくろう」・・・30人</p> <p>8/9「プープーカモ笛」・・・21人</p> <p>8/15「ダチョウの骨ってどんな骨？」・・・9人</p> <p>8/16「ゴーストミズク」・・・21人</p> <p>8/22「コウノトリグライダー」・・・31人</p> <p>8/23「根っこの観察キットをつくろう」・・・14人</p> <p>≪鳥風教室≫ 【日程・参加者】1月10日(日)・・・10家族</p> <p>≪ちぎり絵で鳥をつくろう≫ 【日程・参加者】1月24日(日)・・・21人</p>	【参加者数(定員に対する割合の平均)】 ≪講演・講座≫ 489人(116%) ≪フロアスタッフイベント≫ 378人、24家族(77%)	講師報酬費 30千円 消耗品 100千円 市民スタッフ報酬費 33千円	フロアスタッフイベントのうち、「鳥風教室」、「ちぎり絵で鳥をつくろう」は鳥博友の会が主体となって実施。 「夏の遊びと研究大集合！」に市民スタッフが参加して子どもたちの指導等を行った。	A 成果・効果があった	講演・講座では鳥類に関するさまざまな研究や話題を取り上げ、参加者の鳥や自然への理解の機会を設けることができた。イベントでは、工作や観察などを通して、楽しんで自然や科学を学ぶ機会を設けることができた。	A. 現状どおり推進	<p>●講演・講座</p> <p>≪鳥学講座≫ 【日程】11月5日(土) ≪ゲストトーク≫ 【日程】11月6日(日) ≪鳥博セミナー≫ 【日程】2月下旬</p> <p>●フロアスタッフイベント</p> <p>【内容・日程】 ≪飛べ！鳥の紙ひこうき≫5月4日(水・祝) ≪鳥風教室≫5月5日(木・祝) ≪和紙で鳥のカードをつくろう≫5月8日(日) ≪夏の遊びと研究大集合！≫8月6日から28日までの毎週土・日曜日と祝日</p> <p>8/6「ゴーストミズク」 8/7「プープーカモ笛」 8/11「メダカでアクアリウム」 8/13「ばしゃばしゃペンギン」 8/14「実物大！羽図鑑をつくろう」 8/20「プープーカモ笛」 8/21「土壌生物クマムシを観察しよう」 8/27「ばしゃばしゃペンギン」 8/28「くるくる鳥ひこうき」 ≪鳥風教室≫1月上旬</p>	講師報酬費 60千円 消耗品 120千円 市民スタッフ報酬費 45千円	フロアスタッフイベントのうちのいくつかで、鳥博友や市民スタッフと協働する。	鳥の博物館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり							基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり						
①地域への関心を高める学びの機会の推進							①地域への関心を高める学びの機会の推進						
40	まちづくり探検隊	子どもたちがまちづくりについて意見を述べる機会と場をつくる。子どもたちの暮らしや環境をもっと良くしていくため、子どもたちががんばってできることや、大人に手助けして欲しいことを考える機会を提供する。	●平成27年度：給食新メニュー・コンテスト(1学期分) 【日 程】 応募期間：6月～9月(※5月20日に各校に応募紙配布予定) 最終選考：12月 定例記者会見：平成28年2月22日 市長賞(最優秀個人賞)の表彰式・試食：平成28年2月25日 教育長賞(最優秀学校賞)へ表彰状と記念品を配布：平成28年2月25日 新メニュー登場：平成27年度3学期 【対 象】 小学4年生～6年生 【使用野菜】 春・夏野菜 【応募数】 474件 【市長賞】 我孫子第一小学校 6年男子 「野菜たっぷり豆腐しゅうまい」 ※賞状及び記念品(米10kg) 【教育長賞(最優秀学校賞)】 布佐南小学校 ※賞状及び記念品(学校給食用野菜としてミニトマト)	【給食新メニュー・コンテストの応募数】 474件	給食新メニューコンテスト記念品 8,164円	計画づくりの段階から市民(子ども)の意見を反映した。	子ども達が提案したアイデアが事業として実現した「給食新メニュー・コンテスト」は多くの応募もあり、我孫子産野菜をはじめ、地域への関心を高める機会になった。	C. 廃止・休止	関係部課との協議、市長協議の結果、まちづくり探検隊は廃止することとなった。	なし	なし	子ども支援課	
						C・わからない・未実施	まちづくり探検隊は、当初、子どもの権利条約の考え方をベースに策定された前子ども総合計画に基づき、子どもの意見表明の場の確保として実施してきたが、現実はその当初の目的からそれてきてしまっている。こうしたことから、平成26年度の事業仕分けを受けて、「本来の事業趣旨、目的に立ち返り、事業の廃止も含め、新規事業の立ち上げや他事業での目的達成など関係各部課と検討する。」とした。よって、平成28年度は代替事業を検討することとなった。	平成28年度はまちづくり探検隊に替わる事業として、関係部課と検討する。					

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
41	子どもの居場所づくり事業 (あびっ子クラブ)	放課後に子どもたちが安心・安全に過ごすことのできる環境を整備し、地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育む。	<p>・平成27年6月に二小あびっ子クラブ、平成27年8月に高野山小あびっ子クラブ、平成27年9月に四小あびっ子クラブをオープンした。</p> <p>・平成29年3月オープン予定の新木小あびっ子クラブの設計業務を完了した。</p> <p>●あびっ子クラブ 【活動内容】フリータイム、チャレンジタイム 【対象者】あびっ子クラブ設置小学校に在籍する1年生から6年生まで全ての子ども 【活動日】 月～金曜日：下校時～午後5時 土曜日、学校の振替休業日：午前10時～午後5時まで 春、夏、冬休み等の長期休業日：午前9時～午後5時 (ただし土曜日は午前10時～午後5時) ※11月～1月の閉室時間は、全日午後4時30分となります。 【活動しない日】日曜日・祝日・年末年始 【活動場所】あびっ子クラブメインルーム、体育館、校庭等</p> <p>●登録状況 <<一小あびっ子クラブ>>447人(登録率:79.5%) 【チャレンジタイム】主な実施内容:お琴、おし花等 実施回数(年間):221回 延べ参加人数:2,956人 <<四小あびっ子クラブ>>623人(登録率:76.1%) 【チャレンジタイム】主な実施内容:カレンダー作り、囲碁等 実施回数(年間):73回 延べ参加人数:858人 <<根戸小あびっ子クラブ>>808人(登録率:64.5%) 【チャレンジタイム】主な実施内容:将棋、おはなし会等 実施回数(年間):322回 延べ参加人数:3,934人 <<並木小あびっ子クラブ>>332人(登録率:79.8%) 【チャレンジタイム】主な実施内容:囲碁、工作等 実施回数(年間):102回 延べ参加人数:1,368人 <<二小あびっ子クラブ>>332人(登録率:74.1%) 【チャレンジタイム】主な実施内容:カレンダー作り、カプラ等 実施回数(年間):56回 延べ参加人数:617人 <<三小あびっ子クラブ>>488人(登録率:66.4%) 【チャレンジタイム】主な実施内容:茶道、囲碁等 実施回数(年間):119回 延べ参加人数:1,353人 <<高野山小あびっ子クラブ>>551人(登録率:82.5%) 【チャレンジタイム】主な実施内容:工作、囲碁等 実施回数(年間):49回 延べ参加人数:973人 <<湖北台西小あびっ子クラブ>>238人(登録率:68.2%) 【チャレンジタイム】主な実施内容:手話ダンス、グランドゴルフ等 実施回数(年間):90回 延べ参加人数:971人 <<湖北台東小あびっ子クラブ>>198人(登録率:63.7%) 【チャレンジタイム】主な実施内容:お習字、お琴等 実施回数(年間):132回 延べ参加人数:1,507人 <<布佐南小あびっ子クラブ>>104人(登録率:63.4%) 【チャレンジタイム】主な実施内容:お話、けん玉等 実施回数(年間):73回 延べ参加人数:692人</p>	【チャレンジタイム 総実施回数】 1237回(全10 クラブ合計)	あびっ子クラブ運営費(新規校の整備費等含む) 37,221千円 新規校(新木小)実施設計 2,085千円 既存施設 維持補修工事 47千円 湖北小整備工事費 2,941千円 湖北小備品購入費 36千円	地域の方々がサポーターとして、チャレンジタイムや子どもの見守りに参加することや、サポーター会議を通して子どもへの対応など意見交換をし、運営に生かしている。	A ・成果・効果があった	<p>新たなあびっ子クラブを設置したことで放課後により多くの子どもたちが安心・安全に過ごすことのできる環境が増え、地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育むことができた。</p> <p>スタッフの年齢層の高齢化が進み、長期休暇等を含めあびっ子クラブを運営するスタッフの確保が難しくなっている。また、疾病等を理由に退職するスタッフが増え、スタッフの資質向上を目指す必要がある。</p>	A. 現状どおり推進	<p>【活動内容】フリータイム、チャレンジタイム 【対象者】あびっ子クラブ設置小学校に在籍する1年生から6年生まで全ての子ども 【活動日】 月～金曜日：下校時～午後5時 土曜日、学校の振替休業日：午前10時～午後5時まで 春、夏、冬休み等の長期休業日：午前9時～午後5時 (ただし土曜日は午前10時～午後5時) ※11月～1月の閉室時間は、全日午後4時30分となります。 【活動しない日】日曜日・祝日・年末年始は実施しません。 【活動場所】あびっ子クラブメインルーム、体育館、校庭等 【オープン予定】 平成28年6月 湖北小あびっ子クラブオープン 平成29年3月 新木小あびっ子クラブオープン</p>	あびっ子クラブ運営費(既存分) 20,529千円 湖北小(H28.6オープン)運営費 2,811千円 新木小(H29.3オープン)運営費等 86,836千円 携帯電話設置 198千円 施設維持補修費 400千円	地域の方々がサポーターとして、チャレンジタイムや子どもの見守りに参加することや、サポーター会議を通して子どもへの対応など意見交換をし、運営に生かしている。	子ども支援課
42	谷津ミュージアムづくり推進事業	手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区の谷津36.7ヘクタールをまるごと保全し、かつての農村環境の復活を目指す。	<p>●谷津の自然観察会 【日程・参加者】 4月25日(土) 10名 7月20日(祝) 23名 2月20日(土) 7名 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)</p> <p>●谷津学校 <<13期生>> 【日程】4月～3月 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) 【参加者】3人</p>	●谷津の自然観察会 3回合計参加者 40人 ●谷津学校 講師者合計 3人	●自然観察会 講師報償費 13,000円 ●谷津学校 講師報償費 39,000円 林業安全講習会委託料 43,000円	なし	A ・成果・効果があった	<p>事業を実施したことにより、貴重な谷津の自然を認識いただいたとともに、谷津に興味を持ち保全していくボランティアについて理解が得られました。</p> <p>現在活動をされているボランティアの高齢化が進んでいるため、会員募集の拡大および活動への参加呼びかけを強化しなければならない。</p>	A. 現状どおり推進	<p>●谷津の自然観察会 【日程】 5月7日(土) 11名 7月18日(祝) 28名 2月18日(土) 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)</p> <p>●谷津学校 <<14期生>> 【日程】4月～3月 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) 【参加者】7人</p>	●自然観察会 講師報償費 13,000円 ●谷津学校 講師報償費 39,000円 林業安全講習会委託料 43,000円	なし	手賀沼課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
43	手賀沼船上学習の実施	遊覧船で手賀沼を一周しながら小学生や市民に手賀沼汚濁の歴史や状況などの話を船上学習を開催し、手賀沼の浄化啓発を図る。	小学校及び市民団体等からの視察を随時受け付けし、船上学習を実施した。 ●小学校の環境学習 【日程・参加者】 《並木小学校》 6月3日、87人 《第四小学校》 6月10日、140人 《湖北台西小学校》 6月24日、56人 ●市民団体等の市民講座や視察等の船上見学 【日程・参加者】 10月16日、1団体20人 1月31日、1団体30人	市内小学校実施数3校(13校中)	258,000円 (遊覧船20,000円×12隻+船外機9,000円×2隻)	なし	A・成果・効果があつた	手賀沼の水質状況の説明はもとより、遊覧船に乗り、手賀沼に水上から触れ合っていたことで、手賀沼や手賀沼に暮らす様々な生き物を目で見て、身近に感じてもらい、浄化啓発を図れた。 小学校の実施数が増えるよう周知する。	B. 改善・見直しを行う 小学校の参加申込みが増えるよう、カリキュラムを組む前の前年度中に案内を行う。	小学校及び市民団体等からの視察を随時受け付け、船上学習を実施する。	458,000円 (遊覧船20,000円×22隻+船外機9,000円×2隻)	なし	手賀沼課
44	手賀沼流域フォーラムの開催	市民団体を中心となって水質浄化活動を展開する手賀沼流域フォーラムの開催を支援する。	●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催した。 【企画数】28企画 [内訳]柏:6企画、我孫子:13企画、流山:0企画(中止となったため)、松戸:2企画、鎌ヶ谷:2企画 白井:2企画 印西:3企画 【総参加者数】1,683人 ●全体会の開催 フォーラムの課題に沿った内容の全体会を開催した。 《講演会》 【内容】 講演「琵琶湖の保全から学んだ経験と滋賀から世界への発信」 報告「美しい手賀沼をめざして」 【日時】10月17日(土)13:30~16:40 【場所】手賀沼親水広場 3階 研修室 【参加者】72人 《見学会》 【内容】「水草展」バス見学会 【日時】2月11日(木・祝)10:00~15:30 【場所】千葉県立中央博物館 【参加者】32人	総参加者数1,683人	なし	美しい手賀沼を愛する市民の連合会を中心として市民団体が主体となって各地域企画を実施している。	A・成果・効果があつた	中止になった企画もあったが、1,683人も企画への参加者があり、広く手賀沼の水質浄化活動及び浄化啓発活動が行えた。 イベントによっては、子どもの参加がほとんどないものがある。	A. 現状どおり推進 なし	●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催する。 ●全体会の開催 フォーラムの課題に沿った内容の全体会を開催する。	なし	美しい手賀沼を愛する市民の連合会を中心として市民団体が主体となって各地域企画を実施している。	手賀沼課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
45	ジャパンバードフェスティバル	自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした芸術的・文化的なイベントを開催し、鳥類知識の普及や手賀沼などの自然環境保全の情報の受発信を推進する。	JBF開催15回記念及び我孫子市制施行45周年記念開催となるJBF2015では、記念事業として海外7カ国からの出展団体の招へいや、JBF実行委員会委員長とゲストによる講演会を行った。JBF開催前のPRも、あびこの魅力発信室をJBF実行委員会事務局に加え、メディアに情報発信を行うとともに、駅前での告知ライブ等も開催した。関係機関とさらに協力し、また様々な出展団体間の情報交換促進を行い、鳥の魅力と自然環境の大切さへの関心を持ってもらう機会づくりを行った。 【開催日】 10月31日(土)、11月1日(日) 【開催場所】 アビスタ、手賀沼親水広場他6会場 【記念事業】 ・鳥学講座スペシャル「研究最前線～今どうなってる？鳥と恐竜」 アビスタ1階ホールにあわせ、2階第1学習室に同時上映モニターを設置し、より多くの来場者に講演会に参加いただいた。 ・海外からの出展者の招へい 参加国計:7カ国 リトアニア共和国・台湾・モンゴル・インド・フィリピン・香港・ブルネイ JBF史上初の7カ国の参加を実現させ、世界にJBFをPRした。 ・出張・ことりカフェwith Birdstory 人気の鳥カフェ・ことりカフェと愛鳥家のコミュニティサイト・Birdstoryが水の館1階に記念出店。発信力も強い両社の協力で、これまでにない支持層の来場や、女性が楽しめる雰囲気でのフェスティバルを盛り上げた。 ・移動飲食販売車出店 アビスタ会場に移動販売車3社が出店し、アビスタ会場を盛り上げた。 【参加者】40,000人(開催2日間延べ人数)	【JBF HPアクセス数】 107,000件(平成27年4月1日～平成27年11月9日) 【参加者】 40,000人(開催2日間延べ人数)	3,205,096円 【内訳】 負担金 3,200,000円 (我孫子市制施行45周年記念開催分400,000円含) 旅費 5,096円	我孫子野鳥を守る会や中央学院大学、山階鳥類研究所等で実行委員会を構成し、協働で事業を進めている。	A・成果・効果があった	日本各地はもとより、海外からも7カ国の出展を招へいし、例年以上の発表となった。また、広い世代に人気の恐竜をテーマに記念講演を行なったことや、都内ラジオやNHKやTBS等テレビ番組に取り上げてもらったこともあり、過去2年の来場者(JBF2014:27,000人 JBF2013:33,000人)から大幅に増やすことができ、多くの方へ手賀沼の魅力と自然環境の大切さを伝えることができた。 多くの来場者があるため、その中には鳥や自然に関心のある方から単にお祭りを楽しみに来る方もいる。実行委員会構成団体も、野鳥の会や鳥類保護連盟など、JBFをより鳥や自然環境の研究発表の場とすべきと考える団体や、青年会議所や商工会など、もっとお祭りとして盛り上げるべきと考える団体もある。JBFをどのような方向で展開していくのか、実行委員会と協議していく必要がある。	B.改善・見直しを行う	改修工事の関係で水の館周辺が使用できないが、関係機関と協力し、様々な出展団体間の情報交換促進を行い、鳥の魅力と自然環境の大切さへの関心を持ってもらう機会づくりを行う。 【開催日】 11月5日(土)、6日(日) 【開催場所】 アビスタ、手賀沼親水広場等7会場	2,821,300円 【内訳】 負担金 2,800,000円 旅費 21,300円	我孫子野鳥を守る会や中央学院大学、山階鳥類研究所等で実行委員会を構成し、協働で事業を進めている。	手賀沼課・商業観光課・鳥の博物館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課			
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働	
46	地区計画制度の活用支援	市民が地区計画制度を活用して、宅地開発などにより整備された良好な住環境を保全することを支援するため、ホームページなどによる制度の周知や出前講座を行う。	地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行った。 ●パンフレット 【配布場所】市役所都市計画課 【配布部数】100部	【ホームページ閲覧数】 594件 【地区計画の区域内における行為の届出件数】 65件	なし	なし	なし	A・成果・効果があった	なし	A. 現状どおり推進	地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行う。	なし	なし	都市計画課
47	我孫子産農産物の学校給食導入事業	我孫子産米や我孫子産野菜を取り入れた学校給食を通じて我孫子市の農業への興味関心を持ってもらうとともに、栄養バランスの優れた「日本型食生活」の定着を図る。	●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産野菜を月1～4回学校給食に使用し、品数・数量ともに増やす。 使用回数は全校平均で月3.8回、品数は4.9品目、使用割合は全野菜量に対して6.5%だった。 【我孫子産米・我孫子産野菜の認知度】 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度90%を目標とする。 6月実施のアンケート結果では我孫子産米の認知度は小学校86.0%、中学校82.0% 我孫子産野菜の認知度は小学校87.4%、中学校89.3%だった。 ●米飯給食 米飯給食回数3.9回/週を目標とする。 米飯給食を週4回実施した。 ●和食の実施 和食の実施回数を50%以上とする。 和食献立の実施率は全校平均61%を達成。	【6月実施のアンケート結果】 ●我孫子産米の認知度 《小学校》 86.0% 《中学校》 82.0% ●我孫子産野菜の認知度 《小学校》 87.4% 《中学校》 89.3%	我孫子産米調達業務委託料 7,292,320円	我孫子産野菜の給食導入事業において、市内農業者や地産地消推進協議会と連携、協力している。	我孫子産米、我孫子産野菜の認知度については、小・中学生とともに増加した。 米飯・和食給食を推進し、児童生徒に米を中心とした和食文化や「日本型食生活」の良さを伝えることができた。 我孫子産米、我孫子産野菜の認知度とともに、児童生徒の食に関する自己管理能力を高める必要がある。 我孫子産野菜の使用割合は、天候不順等のため前年より0.4%減少している。	A・成果・効果があった	なし	A. 現状どおり推進	●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度100%を目標とする。 我孫子産野菜を月1～4回学校給食に使用し、品数・数量ともに微増を目標とする。 ●米飯給食 米飯給食回数3.9回/週を目標とする。 ●和食の実施 和食の実施回数を50%以上とする。	我孫子産米調達業務委託料 7,412,000円	我孫子産野菜の給食導入事業において、市内農業者や地産地消推進協議会と連携、協力する。	学校教育課
48	市民カレッジ我孫子を知るコース	我孫子の歴史や我孫子と関わった文人たちの足跡を講義と史跡めぐり、「史跡めぐり」、「手賀沼船上学習」、「我孫子市の課題」、「市民活動の現状」等を交えて学び、郷土愛と市民意識の向上を図り、家族や地域へ伝承する機会とする。また、仲間づくりや生涯学習のきっかけづくり、我孫子市政や市民活動の現状などをテーマに取り入れ、市民活動の動機付けとする。	【日程】5月から12月の間で全12回コース 【内容】 ・学習内容は、「我孫子の古代・中世」、「白樺派の文人たち」、「史跡めぐり」、「手賀沼船上学習」、「我孫子市の課題」、「市民活動の現状」等 ・講義形式と実習形式で実施 ・募集人員36人 【場所】我孫子地区公民館ほか ※提案型公共サービス民営化制度により採用した事業	【受講者数】 36人 一人でも多くの受講者が、学習成果を日常生活で生かせるきっかけ作りをする。	委託事業費 400,000円	提案型民営化制度により市民団体へ委託した。また、講座の講師として市民活動団体を活用している。 ・NPO法人ふれあい塾あびこ・我孫子の文化を守る会 ・つくし野南サロン ・NPO法人あびこシニアライフネット	全12回の学習を通し、さらに我孫子について知りたいと意欲を持つ受講生や、市民活動に関心をもち、参加検討される受講生も多く、継続学級も発生しており次のステップアップが大きいと期待できる。 講座内容が例年同じ様な内容になる事が多い。	A・成果・効果があった	A. 現状どおり推進	【開催場所】 我孫子地区公民館 【日程】 5月から12月の間で全12回コース 【募集人数】36人 ※応募が15名未満の場合は、講座は実施しない 【内容】 ・学習内容は、「我孫子の古代・中世」、「白樺派の文人たち」、「史跡めぐり」、「手賀沼船上学習」、「我孫子市の課題」、「市民活動の現状」等 ・講義形式と実習形式で実施する。	委託事業費 400,000円	提案型民営化制度により市民団体へ委託する。また、講座の講師として市民活動団体を活用する。	生涯学習課	
49	市史調査研究	我孫子市内に残る古文書の解読や資料類の収集・調査研究を行い、報告書等を作成して市政や教育に活用する。	市内に残る古文書、古記録、石造物、寺社、建造物などの歴史・文化遺産を現地調査し、市民からの聞き取り調査や資料収集を通じて調査研究を進める。 ●資料調査 井上家資料の資料目録作成にむけての資料調査を実施。 ●古文書管理 市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応 ●和紙公図の保存修復 和紙公図を専門業者に委託し、67点の地図を保存修復した。	囑託共済費 416千円 旅費 283千円 需用費 261千円 報償費 8千円 役務費 10千円 備品購入費 9千円 負担金 9千円 和紙公図修復委託 897千円	なし	失われつつある民俗文化財の聞き取り調査は、時間とのたかいかいであり、文字として記録できたことは貴重な機会となった。 なし	A・成果・効果があった	なし	A. 現状どおり推進	●資料調査 井上家資料の資料目録作成にむけての資料調査。専門に従事する3号囑託職員を採用し、読解とデータ作成をおこなう。 ●古文書管理 市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応 ●和紙公図の保存修復 和紙公図を専門業者に委託し、56点の地図を保存修復する予定(修復したもののデータ化を含む)。	囑託共済費 697千円 旅費 510千円 需用費 316千円 報償費 10千円 役務費 34千円 備品購入費 20千円 負担金 9千円 和紙公図修復委託 897千円	なし	文化・スポーツ課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
50	郷土芸能への支援	郷土芸能の発表の場を設けることにより、継承者の意識の高揚と団体内の活性化を図る。	我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民俗芸能を発表する郷土芸能祭を教育委員会の主催で実施した。 【日程】12月20日(日) 【場所】湖北地区公民館 【郷土芸能祭参加者数】102人 【入場者】450人 【出し物】「神楽舞」「祭囃子」「寿獅子舞」など。 【出演者】「古戸はやし連中」「あびこふるさと会」「ひよっこ睦」「布佐中郷土芸能講座」「第四小伝統芸能クラブ」「湖北小伝統芸能クラブ」「布佐小伝統芸能クラブ」他	【入場者数】450人	出演者報償費 100千円 需用費 170千円 委託料 561千円	「古戸はやし連中」「あびこふるさと会」「ひよっこ睦」「布佐中郷土芸能講座」「第四小伝統芸能クラブ」「湖北小伝統芸能クラブ」「布佐小伝統芸能クラブ」の郷土芸能クラブが発表を行った。	A・成果・効果があつた	郷土芸能を保存と継承する市民団体と、小中学校の郷土芸能クラブの発表の場を提供することにより、広く市民に郷土芸の魅力を伝え、保存継承していくことの助となった。	A. 現状どおり推進	我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民俗芸能を発表する郷土芸能祭を教育委員会の主催で実施予定。 【日程】12月4日(日) 【場所】湖北地区公民館 【出し物】「神楽舞」「祭囃子」「寿獅子舞」など。 【出演者】「古戸はやし連中」「あびこふるさと会」「ひよっこ睦」「布佐中郷土芸能講座」「第四小伝統芸能クラブ」「湖北小伝統芸能クラブ」「布佐小伝統芸能クラブ」他	出演者報償費 100千円 需用費 170千円 委託料 692千円	「古戸はやし連中」「あびこふるさと会」「ひよっこ睦」「布佐中郷土芸能講座」「第四小伝統芸能クラブ」「湖北小伝統芸能クラブ」「布佐小伝統芸能クラブ」の郷土芸能クラブが発表を行う。	文化・スポーツ課
51	文化財の指定調査と保存支援	指定文化財制度・登録文化財制度の活用を行うことにより、時代の流れにより減失しやすい有形・無形文化財の保護を行う。	●指定文化財・登録文化財制度の活用 市指定文化財を増やし、保存につなげる。27年度は新たな市指定文化財としてヒカリモを指定した。 ●文化財保存基金 文化財保存基金募金箱を文化財施設に設置したほか、イベントに際して募金箱を持参し、市民に対し基金の主旨の宣伝を行って、協力を積極的にもとめた。文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募り、また、計画的な積立を行った。 ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進める。27年度は中里薬師堂薬師三尊像保存修復を実施した。 ●文化財の維持・管理 県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施した。 県指定天然記念物東源寺榎の木施肥及び除草を行い、現況調査を実施した。	【市指定文化財数】15個	報償費 76千円 委託料 296千円 文化財保護補助金 640千円 文化財保存基金積立金 2,410千円	中里区が所有する仏像の修理費を半額捻出し、市が同額補助を実施した。またヒカリモの発生する谷津ミュージアムの維持管理は市民が担っている。	A・成果・効果があつた	文化財保護補助金を活用し、指定文化財 中里薬師堂薬師三尊像の保存修復を実施した。ヒカリモを指定文化財化した。	A. 現状どおり推進	●指定文化財・登録文化財制度の活用 市指定文化財を増やし、保存につなげる。 ●文化財保存基金 文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募り、また、計画的な積立を行う。 ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進める。 ●文化財の維持・管理 県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施する。 県指定天然記念物東源寺榎の木施肥及び除草を行う。	報償費 80千円 需用費 100千円 委託料 429千円 文化財保護補助金 2,000千円 文化財保存基金積立金 802千円	なし	文化・スポーツ課
52	埋蔵文化財発掘調査	市内に所在する埋蔵文化財包蔵地において、公共事業、民間開発等に伴って現状変更が行われるのに先立ち、遺跡の記録保存を目的とした埋蔵文化財発掘調査を行う。	市内遺跡発掘調査、不特定遺跡発掘調査、公共事業発掘調査、民間開発発掘調査を実施した。 案件が上がった際にできるだけ速やかに対応した。 【市内遺跡発掘調査】10件（昨年度11件） 【不特定遺跡発掘調査】1件（昨年度2件） 【公共事業発掘調査】0件（昨年度0件） 【民間開発発掘調査】5件（昨年度1件）	【必要な発掘調査の実施率】100%	●市内遺跡発掘調査・不特定遺跡発掘調査 需用費 600千円 修繕料 69千円 使用賃借料 1,502千円 ●民間開発発掘調査 需用費 584千円 使用賃借料 2,445千円	なし	例年に比して民間開発発掘調査が多い中、調査を円滑に実施できた。民間開発発掘調査では、湖北地区の郡衙関連集落を調査し、古墳時代から奈良・平安時代の集落変遷が明らかになった。	A. 現状どおり推進	市内遺跡発掘調査、不特定遺跡発掘調査、公共事業発掘調査、民間開発発掘調査を実施する。案件が上がった際にできるだけ速やかに対応する。	●市内遺跡発掘調査・不特定遺跡発掘調査 需用費 670千円 修繕料 190千円 業務委託料 1700千円 使用賃借料 1,907千円 ●公共事業発掘調査 需用費 10千円 使用賃借料 48千円 ●民間開発発掘調査 需用費 300千円 委託料 400千円 使用賃借料 1,000千円 備品購入費 80千円	なし	文化・スポーツ課	
53	考古遺物整理	埋蔵文化財発掘調査により出土した遺物を整理して記録保存した内容を、発掘調査報告書として刊行して公開し、市政や教育に活用する。	『下ヶ戸貝塚Ⅲ』、『平成27年度市内遺跡発掘調査』の2冊の報告書を刊行した。	【一年間の報告書刊行冊数】2冊	需用費 1,060千円 委託料 2,481千円 使用賃借料 231千円	下ヶ戸貝塚については報告書刊行3か年目にあたっており、貝塚の全容解明にむけて大きな成果を上げることができた。	A. 現状どおり推進	3冊程度の発掘調査報告書の刊行を予定している。	報償費 30千円 需用費 1510千円 委託料 480千円 使用賃借料 101千円 備品購入費 20千円	なし	文化・スポーツ課		

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
54	あびこ自然観察隊	環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を実施する。	子どもから大人まで分かりやすい観察会を目指し、環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を年4回実施した。開催場所は市内各所で、定員30人で実施する。 【内容】手賀沼のプランクトンと水鳥観察 【日程】7月29日(水)9:30~15:30 【参加者】24人 【第2回】 【内容】秋の谷津田観察会 【日程】10月17日(土)9:30~12:00 【参加者】4人 【第3回】 【内容】おーい！冬鳥くん 【日程】2月14日(日)9:00~12:30 悪天候のため中止 【第4回】 【内容】フクロウの鳴き声を探そう 【日程】3月5日(土)16:30~18:30 【参加者】16人	【開催数】3回 【参加者数平均(中止回除く)】14.7人	市民スタッフ報償費 16千円 保険料 10千円	市民スタッフと協働して計画作りから実施まで行った。	A・成果・効果があった 参加者が少ない回があった。	この観察会を通して我孫子の自然について、親しみをもって理解する機会の提供ができた。 広報以外にも周知の方法を工夫する。他課のイベントと内容・時期が重ならないよう注意する。よりよい内容になるよう絶えず工夫する。	【日程・内容・場所】 開催場所は市内各所で、定員30人で実施する。 【第1回】「シギ・チドリに会いに行こう」5月15日(日) 【第2回】「手賀沼のプランクトンと水鳥観察」8月3日(水) 【第3回】「鳴く虫観察会」9月3日(土) 【第4回】「おーい！冬鳥くん」2月12日(日) 【第5回】「春の谷津田観察会」3月20日(日・祝)	市民スタッフ報償費 20千円 保険料 10千円	市民スタッフと協働して計画作りから実施まで行う。	鳥の博物館	
55	てがたん(手賀沼の自然観察会)	環境学習の一環として、鳥の博物館周辺の身近な自然に関心を持ち、理解を深めることを目的に観察会を行う。	毎月第2土曜日午前10時から正午までの2時間、子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような観察会を鳥の博物館市民スタッフと協働で実施。 【日程・内容】 毎月第2土曜日午前10時から正午まで 【第1回】4月11日 春の花...参加者5人 【第2回】5月9日 緑色の季節...参加者15人 【第3回】6月13日 初夏のイネ科植物...参加者27人 【第4回】7月11日 夏の水辺の生き物...参加者29人 【第5回】8月8日 手賀沼の魚...参加者35人 【第6回】9月12日 秋の虫...参加者22人 【第7回】10月10日 渡る生き物...参加者17人 【第8回】11月14日 カモいろいろ...悪天候のため中止 【第9回】12月12日 冬の散歩道...参加者21人 【第10回】1月9日 冬鳥を楽しむ...参加者24人 【第11回】2月13日 冬の散歩道Ⅱ...参加者8人 【第12回】3月5日 土と生き物...参加者17人 【てがたんinJBF】10月31日「あびこの鳥たち」...参加者21人 11月1日「あびこの鳥たち」...参加者16人	【開催数】13回 【参加者数平均(中止回除く)】20人	市民スタッフ報償費 33千円 保険料 30千円 遊魚料 5千円	企画段階から実施まで鳥の博物館市民スタッフと協働で行った。	A・成果・効果があった なし	子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような定点・定期の観察会を実施することができた。 なし	A. 現状どおり推進 毎月第2土曜日午前10時から正午までの2時間、子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような観察会を実施。毎回約20人の参加者を見込み、鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。 【日程・内容】 毎月第2土曜日午前10時から正午まで 【第1回】4月9日 あびこの自然景観 【第2回】5月14日 渡りと繁殖 【第3回】6月11日 探してみよう！コケの世界 【第4回】7月9日 歩道で生きるガッツな植物 【第5回】8月13日 魚を釣って観察しよう 【第6回】9月10日 帰る鳥・来る鳥 【第7回】10月8日 秋の生き物たち 【第8回】11月12日 カモいろいろ 【第9回】12月10日 葉っぱの形で名前がわかるかな？ 【第10回】1月14日 冬鳥をじっくり観察しよう 【第11回】2月11日 気にならない木を気にしてみる冬の散歩道 【第12回】3月11日 春をさがそう	市民スタッフ報償費 60千円 保険料 30千円 遊魚料 5千円	企画段階から実施まで鳥の博物館市民スタッフと協働で行う。	鳥の博物館	
②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供			②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供										
56	子どもNPOボランティア体験	子どもや若者を対象に市民活動団体や福祉施設等でボランティア体験できる情報を提供することで、子どもや若者が市民公益活動に参加する機会を増やすとともに、体験を受け入れる団体の活性化を図る(平成26年度から指定管理者事業として実施)。	指定管理者事業の一つとして実施。 ●子どもNPOボランティア体験 【日程・場所】場所・時期:受入団体により異なる。(イベント、通常の活動等) 【対象】小学生から大学生 【体験者数】幼稚園1名、小学生134名、中学生72名、高校生33名、大学生6名、全体で延べ246名 ●情報紙 【タイトル】JOYボラ 【発行回数】年2回...夏休み前(7月頃)、冬休み前(11月頃) 【内容】ボランティアを募集する団体や募集人数、条件など	【体験受入れ団体】40以上 【体験者総数】200名以上	指定管理者事業の一つとして実施。指定管理料 15,000,000円	指定管理者事業の一つとして実施。指定管理者 NPO法人ACOPA	A・成果・効果があった なし	A. 現状どおり推進 延べ246名の体験者があり、子どもや若者が市民公益活動に参加する機会の提供ができた。 なし	指定管理者事業の一つとして実施。 ●子どもNPOボランティア体験 【日程・場所】開催場所・時期:受入団体により異なる。 【対象】小学生から大学生 ●情報紙 年2回発行	指定管理者事業の一つとして実施。指定管理料 14,500,000円	指定管理者事業の一つとして実施。指定管理者 NPO法人ACOPA	市民活動支援課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容				担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算		市民・事業者との協働
57	後期離乳食教室	乳幼児期後半から幼児期にかけての適切な食事内容、生活リズム、間食のとり方等を学ぶことを通じて、この時期の食習慣が今後の健全な食習慣の形成につながることへの理解を促し、親子共に健康的な食生活を営むことができるよう、食事と歯科衛生に関する実践的な知識の提供をする。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・離乳期後半から幼児期に向けて、食事、起床・就寝等を含めた生活リズムの整え方 ・噛むことの大切さ、食形態の変化のさせ方、むし歯予防の話、歯みがき指導 ・間食の意義、適切な与え方 ・家族全体の食事に関する健康教育 【場所】保健センター 【日程】年18回 【対象】市内在住の8～9か月の児を持つ保護者。 【参加者数】275組	【離乳食に関する知識を得た人の割合】99.6%	消耗品費 11万円 通信運搬費 7万円 臨時職員賃金 17万円	なし	A 成果・効果があった	離乳期後半から幼児期に向けての食事のバランス、生活リズム、歯の手入れ等について健康教育を行い、正しい食習慣への理解を促すとともに、個別相談の強化を図ったことで保護者の不安の軽減につながった。 なし	A. 現状どおり推進 なし	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・離乳期後半から幼児期に向けて、食事、起床・就寝等を含めた生活リズムの整え方 ・噛むことの大切さ、食形態の変化のさせ方、むし歯予防の話、歯みがき指導 ・間食の意義、適切な与え方 ・家族全体の食事に関する健康教育 【場所】保健センター 【日程】年18回 【対象】市内在住の8～9か月の児を持つ保護者。	消耗品費 11万円 通信運搬費 7万円 臨時職員賃金 17万円	なし	健康づくり支援課
58	しあわせママパパ学級	体の変化が著しい妊娠中に、日常生活・栄養・環境などについて、専門職の健康教育・アドバイスを受けることで、妊娠を健康に過ごし、お産を無事に迎えられるよう啓発を図る。また夫婦が、妊娠・出産・育児に関して学ぶ場を共有し、子育てや家庭生活における互いの役割について考える機会とする。	●しあわせママパパ学級 【実施日】毎月1コース(1コース3日間)実施 【場所】保健センター 【対象者】妊娠期の夫婦、家族 【実施内容】3日間1コース(平日2コース、土曜10コース) 【開催回数】36回 【参加者】 妊婦:148人(実)、327人(延)、夫・家族:126人(実)、246人(延) 【委託】千葉県助産師会	【学級後のアンケート結果】 ≪「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合≫ 99.2%	運営委託料 1,476,600円	なし	A 成果・効果があった	適切な時期に妊娠、出産、育児に関する知識を啓発することにより、「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合が99.2%となっている。 なし	A. 現状どおり推進 なし	【実施日】毎月1コース(1コース3日間)実施 【場所】保健センター 【対象者】妊娠期の夫婦、家族 【実施内容】3日間1コース(平日2コース、土曜10コース) 【委託】千葉県助産師会	運営委託料 1,476,600円	なし	健康づくり支援課
59	離乳食教室	離乳期において、保護者が適切な離乳食の実践方法を学ぶことを通して、乳児のすこやかな発育・発達を助けるとともに、家族の食生活を見直すきっかけを作り、生涯において健康的な食生活を送るための知識を提供する。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法及び試食 ・保護者・家族向けの食事を通じた健康教育 ・咀嚼に関する講話 【場所】保健センター 【日程】年12回 【対象】市内在住の4～6か月の児を持つ保護者。 【参加者数】289組	【離乳食に関する知識を得た人の割合】99.1%	消耗品費 8万円 細菌検査手数料 2万円 臨時職員賃金 12万円	図書館の市民スタッフ(読書普及担当)が、教室開始前に「離乳食教室での乳幼児と保護者への読み聞かせ」を実施した。	A 成果・効果があった	離乳食の進め方全般を映像で紹介したり、大人の食事からの取り分け食の実際のやり方の実演及び試食を通じて確認することにより、離乳食作りの具体的なイメージがわき、不安の軽減につながった。 なし	A. 現状どおり推進 なし	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法及び試食 ・保護者・家族向けの食事を通じた健康教育 ・咀嚼に関する講話 【場所】保健センター 【日程】年12回 【対象】市内在住の4～6か月の児を持つ保護者。	消耗品費 8万円 細菌検査手数料 2万円 臨時職員賃金 15万円	図書館の市民スタッフ(読書普及担当)が、教室開始前に「離乳食教室での乳幼児と保護者への読み聞かせ」を実施する。	健康づくり支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
60	手賀の丘ふれあい宿泊通学	手賀の丘少年自然の家を宿泊場所として、学校に通いながら、子どもが集団のなかで自己を確立し、心の交流や連帯感を身に付け、社会のルールを養い、自立心や協調性などを育む機会を提供する。	【日程】 ≪第1回≫7月8日(水)から7月10日(金) 2泊3日 ≪第2回≫9月30日(水)から10月 2日(金) 2泊3日 ≪第3回≫11月11日(水)から11月13日(金) 2泊3日 【場所】 千葉県立手賀の丘少年自然の家 【対象】 市内13小学校5～6年生 【募集人数】第1回～第3回 各回32人 【参加者】 ≪第1回≫31人(男15人 女16人) ≪第2回≫27人(男12人 女15人) ≪第3回≫28人(男15人 女13人)	【全参加者数】 86人	旅費 30千円 需用費 410千円 役務費 66千円 支援者報償費 82千円	市、教育委員会と宿泊施設である県立手賀の丘少年自然の家との共同主催として、また各小学校の協力も得て年間3回、調整を図った。	A・成果・効果があつた	通学しながら他校の児童と共同生活を送ることによって自立心、協調性を育む一助となった。 保護者アンケートの記述から、帰宅してから宿泊通学のことを家庭で話したり、他校の子と友達になったなどよい体験となっているなどの意見をいただいている。 子どもの対応に精通したスタッフの確保が課題である。 内部職員に依頼しスタッフ参加していただいている。	B. 改善・見直しを行う	【日程】 ≪第1回≫7月6日(水)から7月8日(金) 2泊3日 ≪第2回≫9月7日(水)から9月9日(金) 2泊3日 ≪第3回≫10月26日(水)から10月28日(金) 2泊3日 【場所】 千葉県立手賀の丘少年自然の家 【対象】 市内13小学校5～6年生 【募集人数】第1回～第3回 各回32人	旅費 37千円 需用費 525千円 役務費 89千円 支援者報償費 100千円	市、教育委員会と宿泊施設である県立手賀の丘少年自然の家との共同主催として、また各小学校の協力も得て年間3回、調整を図る。	子ども支援課
61	あびこ子どもまつり	子どもがまつりの企画から携わり協力しながら自主的に行動し、まつりをつくりあげるとともに楽しむ機会を提供する。参加する子どもは仕事体験しアビーという子どもまつりで使える通貨をもらい、使って楽しむという労働体験の場を提供する。	●あびこ子どもまつり あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市(共同主催)で、アビスタ、手賀沼公園を使用し、子ども達が主体となり、子ども達のまつりを実施した。 【日程】10月18日(日) 【場所】アビスタ、手賀沼公園で実施 【参加者】1,163人(有料入場者数)	【参加者】 1,163人(有料入場者数)	負担金 190千円	子どもに関係する団体や地域のお店などと実行委員会に参加し、たくさん子ども達が楽しめるように手続き等を行った。 【協賛協力団体数】 23団体	A・成果・効果があつた	・最近の子ども達の傾向として、体験活動やコミュニケーション不足が指摘されており、子ども達が企画段階から参画することや、子ども達が主体となったまつりに参加することは、貴重な社会体験の場となっている。 室内だけではなく、野外の公園にもたくさんさんの催し物を行い、毎年楽しんでいただいている。 ・企画運営にあたる役員の後継者の発掘に苦慮している。	A. 現状どおり推進	●あびこ子どもまつり あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市(共同主催)で、アビスタ、手賀沼公園を使用し、子ども達が主体となり、子ども達のまつりを実施 【日程】10月16日(日) 【場所】アビスタ、手賀沼公園で実施予定	負担金 190千円	子どもに関係する団体や地域のお店などと実行委員会に参加し、たくさん子ども達が楽しめるように手続き等を行う。	子ども支援課
62	げんきフェスタ	市内の子ども達が、楽しく充実した文化に触れ、地域の中でいきいきと逞しく、創造性豊かに成長する機会を作る。また、それを支える大人のネットワークを広げ、参加する団体の交流と文化の向上を目指す。	子どもに関連する団体や地域の自治会やお店などが実行委員会を組織して、市と共同開催で実施する。芸術鑑賞、昔あそび、体験型レクリエーション、お仕事体験が出来る「子どもハローワーク」など子ども達が主役となって1日を楽しむイベントを行った。 【日程】6月21日(日) 【開催場所】湖北地区公民館及びその周辺 【参加者】773人(有料入場者数)	【参加者】 773人(有料入場者数)	負担金 190千円	子どもに関係する団体や地域のお店などと実行委員会に参加し、たくさん子ども達が楽しめるように手続き等を行った。 イベント内の出し物や運営など子どもに関係する団体や地域のお店など合計28団体と協働した	A・成果・効果があつた	長年実施している事業なので、市民にも定着し、参加者も多い。様々な体験をすることで、豊かな心、社会性を育む機会となっている。 ゲストを呼んで、まつりをより一層活気づけている。	A. 現状どおり推進	子どもに関連する団体や地域の自治会やお店などが実行委員会を組織して、市と共同開催で実施する。芸術鑑賞、昔あそび、体験型レクリエーション、お仕事体験が出来る「子どもハローワーク」など子ども達が主役となって1日を楽しむイベントを行う。 【日程】6月12日(日) 【場所】湖北地区公民館及びその周辺	負担金 190千円	子どもに関係する団体や地域のお店などと実行委員会に参加し、たくさん子ども達が楽しめるように手続き等を行った。	子ども支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
63	enjoyパパ応援プロジェクト	子育て支援・若者支援プロジェクトの意向を受けて、男性の育児に対する意識向上、知識や技術の習得を目指し、育児講座や講演会等を実施する。	<p>【対象】 就学前の子どもと父親</p> <p>●あびこでパパを楽しもう 【日程・場所・内容・参加者】 ・5月2日(土) 我孫子市民体育館「サッカー講座:めざせJリーガー&なでしこ〜フットサル〜」 父39人 子40人 ・7月26日(土) あびこ市民プラザ「かけっこ教室」 父58人 子73人 ・9月5日(土) ママへのごほうびフェスタ 父親参加延べ人数71人 ・10月24日(土) 我孫子市少年野球場「ゆうゆうボール」 父14人 子14人 ・12月19日(土) あびこ市民プラザ「マジックと音楽と絵本のコンサート」 父41人 子48人 ・平成28年1月24日(日) アビスタ調理室「簡単クッキング!!」 父10人 子12人 ・平成28年2月27日(土) アビスタホール「くぼたまさと工作教室」 父18人 子19人</p> <p>●広場でパパを楽しもう 【日程・場所・参加者】 《<ここに広場「パパとあそぼう」>》毎月1回 父179人 子198人 《<すすく広場「すすくパパタイム」>》原則毎週土曜日 父210人 子219人 《<わくわく広場「わくわくファミリー」>》不定期 父29人 子34人 《<すこやか広場「みんなで遊ぼう!」>》6月・9月・1月 父22人 子36人</p>	<p>【父親のイベント等への延べ参加者数】 1,367人</p>	<p>講師報酬費 199,000円 消耗品費 40,000円 印刷製本費(パパのタネ増刷) 159,000円</p>	<p>講座(かけっこ教室、料理教室)を市民である父親に、講師をお願いし協働した。</p>	<p>A 成果・効果があつた</p>	<p>イベントへの父親参加数が増加(26年度972人が27年度1,367人)していることから、父親が子どもと関わる時間が増えてきているのがわかる。意識向上の成果がでている。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>【対象】 就学前の子どもと父親</p> <p>●あびこでパパを楽しもう 【日程・場所・内容・参加者】 ・6月5日(日) 我孫子市民体育館「サッカー講座:めざせJリーガー&なでしこ〜フットサル〜」 43組 ・8月6日(土) あびこ市民プラザ「かけっこ教室」2部制 第1部16組 第2部38組 ・9月3日(土) ママへのごほうびフェスタ 父親参加延べ人数499人 ・10月22日(土) 我孫子市少年野球場「ゆうゆうボール」 4組 ・12月18日(日) あびこ市民プラザ「おちゃっぴ粘土教室」40組 ・平成28年2月5日(日) 近隣センターこもれび調理室「簡単クッキング!!」12人 ・平成28年3月4日(土) 音楽ユニットkajiii「食琴コンサート」50組</p> <p>●広場でパパを楽しもう 【場所・日程】 《<ここに広場「パパとあそぼう」>》毎月1回 《<すすく広場「すすくパパタイム」>》原則毎週土曜日 《<わくわく広場「わくわくファミリー」>》不定期 《<すこやか広場「みんなで遊ぼう!」>》6月・9月・1月</p>	<p>講師報酬費 200,000円 消耗品費 40,000円 印刷製本費(パパのタネ増刷) 159,000円</p>	<p>講座(かけっこ教室、料理教室)を市民である父親に、講師をお願いする。</p>	<p>保育課</p>
64	子育て支援施設における講習	子どもが安全に遊べる場を設け、親同士や子ども同士の交流を図る。利用者アンケートなどをもとに、毎月各子育て支援施設において、親の子育て力の向上と親子の絆を深めることができる育児講座を工夫して実施する。	<p>市内在住の乳幼児と保護者を対象に、市立の子育て支援施設4か所で行った。</p> <p>●育児相談(保健センターと実施) 【日程】毎月2回~3回(年間23回) 【場所】ここに広場 【参加組数】184組 【内容】保健相談・栄養相談・歯科相談</p> <p>●プレパパママ講習会(あびこ助産師専門学校との共催)年2回 【日程】①10月17日(土) ②12月1日(火) 【場所】ここに広場 【参加組数】①3組(大人5人、子ども2人) ②2組(大人3人、子ども1人)</p> <p>●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催) 【日程】5月28日、8月20日、9月10日、10月15日、10月29日、3月10日 【場所】ここに広場・すすく広場 年各2回、わくわく広場・すこやか広場 年各1回 【参加組数】107組(大人107人 子ども117人)</p> <p>●育児講座(保育園園長 園長補佐 保健師 栄養士による講座) 【日程】各広場にて年3回~4回(年間14回) 【場所】ここに広場、すすく広場、わくわく広場、すこやか広場 【参加組数】194組(大人194人 子ども202人)</p> <p>●子育てフェスタ(株式会社イトーヨーカ堂との共催) 【日程・場所・人数】 9月5日(土) アビクオーレ 延べ7,731人(大人4,221人 子ども3,510人) 3月26日(土) あびこショッピングプラザ 延べ7,005人(大人3,761人 子ども3,244人)</p>	<p>【利用者数】 75,824人</p>	<p>子育て支援拠点4ヶ所運営費 17,646,000円</p>	<p>●プレパパママ講習会 あびこ助産師専門学校との共催</p> <p>●歯科医師講習会 我孫子市歯科医師会との共催</p> <p>●育児講座 保育園園長 園長補佐 保健師 栄養士による講座</p> <p>●子育てフェスタ 株式会社イトーヨーカ堂との共催</p>	<p>A 成果・効果があつた</p>	<p>それぞれの広場の特色を生かし、利用者のニーズに合った様々な講座を行ったことで、参加者は、子育てに必要な情報を得るとともに、一緒に受けた保護者同士がつながりを広げており、子育て支援の周知・関心が高まっている。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>市内在住の乳幼児と保護者を対象に、市立の子育て支援施設4か所で行う。</p> <p>●育児相談(保健センターと実施) 【日程】毎月1回~2回(年間23回) 【場所】ここに広場 【内容】保健相談・栄養相談・歯科相談</p> <p>●プレパパママ講習会(あびこ助産師専門学校との共催)年2回 【日程】10月8日(土)、12月6日(火) 【場所】ここに広場 ●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催) 【日程】5月26日、8月25日、9月8日、10月13日、10月20日、3月23日 【場所】ここに広場・すすく広場 年各2回 わくわく広場・すこやか広場 年1各回 計6回 ●育児講座(保育園園長 園長補佐 保健師 栄養士による講座) 【日程・場所】 各広場年3回~4回(年間15回) ●子育てフェスタ(株式会社イトーヨーカ堂との共催) 【日程・場所】 9月3日(土) アビクオーレ 3月未定 あびこショッピングプラザ</p>	<p>子育て支援拠点4ヶ所運営費 17,996,000円</p>	<p>●プレパパママ講習会 我孫子市歯科医師会との共催</p> <p>●歯科医師講習会 我孫子市歯科医師会との共催</p> <p>●育児講座 保育園園長 園長補佐 保健師 栄養士による講座</p> <p>●子育てフェスタ 株式会社イトーヨーカ堂との共催</p>	<p>保育課</p>

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
65	こども議会	次世代を担う小中学校の児童生徒に、議会制民主主義の理解や我孫子市のまちづくりに関心を深めてもらうとともに、小中学生の市に対する要望や意見を聴き今後のまちづくりの参考にす。なお、子ども議会は、2年に一度開催する。	隔年事業のため実施なし	なし	なし	なし	なし	A. 現状どおり推進	【日程】11月10日(木) 【場所】我孫子市議会議事堂 【内容】各小中学校から代表する子ども議員を招集し、市長のまちづくり方針に対する子ども議員からの質問や意見に対する答弁を市役所職員から聞く。実際の市議会の流れとほぼ同様に進行するよう実施する。 【参加者】子ども議員:38人(市内小中学校児童生徒男女各1人) 議会参加者:市長ほか関係職員、教育委員、市議会議員※保護者などの傍聴者は、傍聴席を使用	50,000円 【内訳】 DVDケース代 1,200円 (600円×2セット(20枚入))※子ども議会の映像記録各校配付および保存用カード立て代 24,000円 (600円×40枚) ※子ども議員名札掲示用消耗品費 24,800円	次世代を担う小中学生を対象に子ども議会を開催することにより、有権者となる前の早い段階から、より良い我孫子市のまちづくりに対して見識を高めるとともに我孫子市への郷土愛をより一層深める機会とする。	指導課	
66	長寿大学	高齢者として充実した生活を送るため、人間関係を深めつつ、地域の活動や社会の変化に順応した知識を楽しく学び、地域活動、まちづくりに積極的に参加できるようにする。	【場所】 湖北地区公民館ほか 【内容】 ・市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」など柱として、平成27年4月から平成28年3月まで年間24回の学習プログラムで実施。 ・運営、運動会、大学祭、校外学習、研修など各委員会を組織し活動。 【参加者】 ≪1年生≫54人 ≪2年生≫47人 ≪3年生≫48人 ≪4年生≫45人	【参加者】 194人	講師報償 350千円 事業費 379千円	長寿大学の講座は、「出前講座」の市民講師にも依頼した。	卒業生及び在校生が、地域活動、まちづくりに参加する動機づけとなった。 なし	A. 現状どおり推進	【場所】 湖北地区公民館ほか 【内容】 ・市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」など柱として、平成28年4月から平成29年3月まで年間24回の学習プログラムで実施する。 ・運営、運動会、大学祭、校外学習、研修など各委員会を組織し活動する。 【参加者】 ≪1年生≫51人 ≪2年生≫48人 ≪3年生≫47人 ≪4年生≫48人	講師報償 459千円 事業費 391千円	なし	生涯学習課	
67	成人式	大人になったことの自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます式典を行う。	【日程】平成28年1月10日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【対象者】 平成7年(1995)4月2日から平成8年(1996)4月1日に出生した市内在住者 ≪午前の部≫我孫子・白山中学校区:672人 ≪午後の部≫湖北・布佐・湖北台・久寺家中学校区:584人 【式典企画】 ≪午前の部≫新成人代表者制作の「恩師からのビデオメッセージ」 ≪午後の部≫新成人有志団体による歌と新成人代表者制作の「恩師からのビデオメッセージ」 【記念品】 新成人代表者デザインのオリジナル図書カード500円券 ≪企画運営会議について≫ 【日程・内容】 新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、成人式の準備を進めた。 ≪第1回≫5月24日 平成27年成人式DVD視聴の後、式典の内容等について意見交換 ≪第2回≫6月21日 式典内容、記念品、役割分担等について検討 ≪第3回≫7月19日 式典企画及び記念品「図書カード」デザインの検討 ≪第4回≫8月23日 図書カードデザイン、役割分担、式典台本及び式典企画について検討 ≪第5回≫9月13日 式典台本及び式典企画について検討 ≪第6回≫10月25日 式典台本について検討 ≪第7回≫11月22日 本番の流れを確認、会議室でのリハーサル ≪12月リハーサル≫12月6日 新成人代表による会場リハーサル及び「恩師からのビデオメッセージ」DVD試写 ≪前日リハーサル≫1月10日 舞台スタッフ及び新成人代表によるリハーサル	【参加者】 950人 (出席率77.6%) ≪午前の部≫ 500人 (出席率74.4%) ≪午後の部≫ 440人 (出席率75.3%)	式典委託料 1,047,600円 施設使用料 169,000円 成人代表者謝礼 60,000円 手話通訳者謝礼 25,100円 消耗品 59,671円 記念品台本等印刷 1,042,188円	市内中学校卒業生12名の新成人代表者に企画運営委員となってもらい、成人式の企画・運営を実施してもらった。	市内中学校卒業生12人の新成人代表者ととも、企画運営会議を開催し、式典企画や記念品の検討を行った。式典をとおして行政や市民活動への参加意識を持ってもらうこと、また地元への愛着を一層深めてもらうことにつながり、今後まちづくりを担う新成人にとって重要な機会となった。 なし	A. 現状どおり推進	【日程】平成29年1月8日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【対象者及び人数】 平成8年(1996)4月2日から平成8年(1997)4月1日に出生した市内在住者:平成28年4月20日現在1,255人 ≪午前の部≫我孫子・湖北・湖北台中学校区(未定):651人 ≪午後の部≫白山・久寺家・布佐中学校区(未定):604人 【式典企画】 新成人代表者制作の「おもいでアルバム」等(未定) 新成人代表者デザインのオリジナル図書カード500円券等(未定) ≪企画運営会議について≫ 【日程・内容】 新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、成人式の準備を進める。 ≪第1回≫5月22日 成人式DVD視聴の後、式典の内容等について意見交換 ≪第2回≫6月26日 式典内容、記念品、役割分担等について検討 ≪第3回≫7月24日 式典企画及び記念品「図書カード」デザインの検討 ≪第4回≫8月28日 図書カードデザイン、役割分担、式典台本及び式典企画について検討 ≪第5回≫9月25日 式典台本及び式典企画について検討	式典委託料 1,350,000円 施設使用料 216,000円 成人代表者謝礼 60,000円 手話通訳者謝礼 28,000円 消耗品 60,000円 記念品台本等印刷 1,171,000円	市内中学校卒業生12名の新成人代表者に企画運営委員となってもらい、成人式の企画・運営を実施してもらう。	生涯学習課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
68	熟年備学	熟年世代が、これからの高齢社会をより良く生きるために、高齢社会の諸問題や対処方法を学び、人生の後半を自立し豊かな暮らしが、地域の高齢者を支えながら、自らもハツラツとした人生を送るためにどうしたら良いかを考える機会を提供する。	【日程】5月から1月 13回 【場所】我孫子地区公民館、市内高齢者施設 【内容】主に、定年退職を控えた方々を念頭に、人生の後半の生き方・過ごし方、心と身体管理、介護予防、終の棲家、現代の葬送事情、遺言と相続の講義や、シニア世代の食生活(実習)、終の棲家である施設の見学を実施。 【対象】40歳以上の方 41人	【アンケート結果】(学習終了時実施) 《大変参考になった》 78% 《参考になった》 22% 《どちらともいえない、参考にならなかった》 0%	講師報償費 88千円 事業費 19千円	13回の学習のうち、2講座を市民である講師が担当した。市内の3つの高齢者施設をバスを利用して見学した。	A 成果・効果があつた	1年間の学習が終了した時点のアンケートでは、全般的に受講内容についての満足度が高く、各講座とも参考になったと答えた人が多く、今後の生活に役立つ情報と、話せる仲間を得ることができてよかったという意見が寄せられた。高齢者施設の見学、介護のコツ、高齢者の栄養講座(調理)等の体験学習、遺言と相続等の専門的な学習を提供できた。 なし	A. 現状どおり推進 なし	【日程】5月から1月 14回 【場所】我孫子地区公民館、市内高齢者施設 【内容】主に定年退職を控えた方々を念頭に、人生の後半の生き方、過ごし方、地域活動への入り方、たまされないための暮らしと契約、終の棲家、心と体の健康維持、老前整理、遺言と相続、エンディング事情についての講義を行い、健康体操、高齢者施設の見学、介護のコツを学ぶ実習を行う。調理実習については実施を見合わせる。	講師報償費 142千円 事業費 21千円	年間14回の学習のうち何回かを市民の方に講師をお願いする。	生涯学習課
69	家庭教育学級	子育てについての学習や、親同士の情報交換を通して、家庭・親子のあり方を考える機会を提供するとともに、家庭での教育力の向上を図る。	●家庭教育学級 【日程】5月から1月の間の全14回 【場所】我孫子地区公民館(生涯学習センターアビスタ) 【内容】子育て・家庭教育に関する講義や体験学習(調理実習・運動・フラワーアレンジメント)全14回 【参加者】小学校1年生の子どもを持つ保護者47人 ●公開講演会 【演題】「このひとみ トーク&ライブ 絵本『くまのこうちょうせんせい』より」 【日程】12月10日(木) 【参加者】91人(学級生33人 一般参加者 58人) ●プチ家庭教育学級 【日程】2月18日(木) 2月25日(木) 3月3日(木) 【場所】湖北地区公民館 【内容】家庭教育学級の講座の中から選んだ内容で3回シリーズで実施 【対象】小学6年生までの子どもを持つ保護者を対象 【参加者】11人	【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者36人) 《大変満足》 32人 《大体満足》 4人 《「不満が残った」、「期待はずれだった」》 0人	講師報償費 235千円 事業費 40千円	全14回の学習のうち、7回を市民の講師が担当した。(元市内小学校長、中学校長、学校栄養士、生け花教授、児童委員、スポーツアドバイザー)	A 成果・効果があつた	・仲間づくりを念頭に学習を行った結果、終了後に継続学級が立ち上がり、自主的な活動へと繋げることができた。 ・各回の学習についての満足度も高く、日常生活に活かし、実践するという目標も概ね達成できた。 ・家庭教育学級への参加が少ない湖北・布佐地区を考慮し、湖北地区公民館を会場にしてプチ家庭教育学級を実施したが、募集枠15人に対して11人が参加となった。欠席も少なく、意見交換や質疑応答の時間も十分に取れて、受講生の満足度が高まった。 なし	A. 現状どおり推進 なし	●家庭教育学級 【日程】5月から1月の間で 年間14回 【場所】我孫子地区公民館(生涯学習センターアビスタ) 【内容】子育て・家庭教育に関する講義や体験学習(調理実習・運動・フラワーアレンジメント) 公開講演会も含め全14回 【参加者】小学1年生の子どもを持つ保護者56人 ●プチ家庭教育学級 【日程】2月に3回 【対象】小学6年生までの子どもを持つ保護者を対象 【内容】家庭教育学級の講座の中から選んだ内容で2月に3回シリーズで実施(読み聞かせ、調理実習、性教育) 【場所】湖北地区公民館	講師報償 246千円 事業費 43千円	年間14回の学習のうち何回かを市民の方に講師をお願いする。	生涯学習課
70	のびのび親子学級	ゆとりある子育ての実現に向け、親子のふれあい、学級生同士の交流などを軸に仲間と子育てについて学ぶ機会を提供する。	●のびのび親子学級 【日程】5月から1月まで(各コース全12回) 【場所】我孫子地区公民館ホール、湖北地区公民館第1学習室、手賀沼公園、及び湖北小学校校庭 【対象】平成23年4月2日から平成25年4月1日生まれの子(2、3歳児)と保護者 【人数】・アビスタ火曜コース、アビス木曜コース、アビスタ金曜コース 各コース親子25組 ・湖北火曜コース 親子20組 ●プチのびのび親子学級 【日程】2月9日・16日・23日 【開催場所】布佐小学校地域交流教室 【対象者】2、3歳児と保護者 【人数】親子12組	【子育ての楽しさや集団の中で成長を感じた人の割合】 80%	講師謝礼 604千円 事業費 59千円	おもに市内在住者、地域で活躍する先輩の母親、団体の協力により実施した。	A 成果・効果があつた	年間を通して、共同作業が必要な調理や班単位でのミニレク、話し合い等を取り入れることで、親同士の横のつながりを深め、互いに支え合える仲間づくりの場となった。また、学習活動終了後には自主的な活動を続けるための継続学級が立ち上がった。 なし	A. 現状どおり推進 なし	●のびのび親子学級 【日程】5月から1月まで(各コース全12回) 【場所】我孫子地区公民館ホール、湖北地区公民館第1学習室、手賀沼公園、及び湖北小学校校庭 【対象】平成24年4月2日から平成26年4月1日生まれの子(2、3歳児)と保護者 【人数】・アビスタ火曜コース、アビス木曜コース、アビスタ金曜コース 各コース親子25組 ・湖北火曜コース 親子20組 ●プチのびのび親子学級 【日程】2月7日・14日・21日 【開催場所】布佐小学校地域交流教室 【対象者】2、3歳児と保護者 【人数】親子12組	講師報償 600千円 事業費 57千円	市内在住者、地域で活躍する先輩の母親、団体の協力により実施する。	生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
71	アビコでなんでも学び隊	小・中学生を対象に、地元の学校・企業・専門家等の協力を得て、体験型の講座を実施し、子どもの夢や希望を拡げる。また、人との交流によって豊かな人間関係を作るとともに、我孫子の良さを発見し、ふるさと意識を持ち将来、まちづくりに貢献できるようにする。	●アビコでなんでも学び隊 【内容・日程・参加者数】 《ROBOLAB教室 ロボットを作って動かしてみよう!》7月4日 22人 《ヒップホップでカッパダンス》7月11日 19人 《五つの味の世界 プロのシェフに学ぼう》7月22日 23人 《磁石とコイルのパワーを探れ》7月28日 午前23人 午後24人 《My望遠鏡で月を見よう!》7月29日 20人 《科学で遊ぼう!》7月31日 24人 《あら不思議カガミを使わない万華鏡! (小学校1~3年生)》8月4日 24人 《あら不思議カガミを使わない万華鏡! (小学校4~6年生)》8月5日 24人 《伝統の美・友禅染》8月7日 13人 《生命の不思議発見! -メダカを通して-》8月11日 24人 《卓球チャンピオンになろう! 基本からゲームまで》8月17日~21日 19人 《トライサイエンス(探査機を宇宙に送ろう)》10月3日 24人 《英語でハロウィン》10月24日 25人 《粉こねてピザをつくろう! (高校生とジョイント)》11月24日 高校生ボランティア8人、参加者15人 《パンでクリスマスブーツをつくろう!》11月28日 16人 《はじめての書初め》12月5日 20人 《UFOオムライスと季節のサラダ》1月23日 18人 【場所】我孫子地区公民館・湖北地区公民館 【対象】小・中学生	【講座に参加した子ども達の満足度】96%	講師謝礼 40千円 事業費 36千円	おもに我孫子の市民、企業、団体、学校の協力により実施した。	A・成果・効果があった	参加者との関わりを大切に、且つ興味、関心を高めてくれる講師によって満足度の高い講座を実施することができた。	A. 現状どおり推進	【日程】6月・7月・8月・10月・11月・12月・1月 【場所】我孫子地区公民館・湖北地区公民館 【対象】小・中学生 【内容・定員】 《ROBOLAB教室 ロボットを作って動かしてみよう!》22人 《ヒップホップでカッパダンス》20人 《伝統の美・友禅染 プロに学ぶ日本の技》15人 《科学で遊ぼう!》24人 《生命の不思議発見! -メダカを通して-》24人 《五つの味の世界 プロのシェフに学ぼう》24人 《磁石とコイルのパワーを探れ》24人×2回 《雪の結晶万華鏡をつくろう!》24人 《My望遠鏡で月を見よう!》20人 《卓球チャンピオンになろう! 基本からゲームまで》20人 《トライサイエンス(探査機を宇宙に送ろう・ゆかいなクラクション)》24人 《粉こねてピザをつくろう! (高校生とジョイント)》15人 《パンでクリスマスブーツをつくろう!》18人 《はじめての書初め》22人 《UFOオムライスと季節のサラダ》18人	講師謝礼 70千円 事業費 40千円	我孫子の市民、企業、団体、学校の協力により実施する。	生涯学習課
72	子どものための舞台鑑賞事業	子どもたちに良質な舞台芸術を鑑賞してもらうため、プロ劇団による演劇鑑賞会を開催する。ふだんはあまり実際の演劇など舞台芸術に親しむ機会の少ない子どもたちに鑑賞機会を与えることによって、豊かな感受性と芸術に対する意欲を醸成する。	●子どものための舞台鑑賞 子どもたちの文化教養として舞台芸術に親しみ、楽しむ鑑賞会を、教育委員会主催で実施した。 《アートサーカスパフォーマンスくるくるシルクDX》 【日程】平成28年1月23日(土) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【参加者】360人 【出演】くるくるシルクDX	【入場者数】360人	需用費 68千円 手数料 4千円 委託料 438千円 使用料 47千円	なし	A・成果・効果があった	開催については、市内で子ども達のために活動している団体と実行委員会を組織して、子どものニーズや子どもに見てもらいたいという視点を取り入れ、開催することができた。	A. 現状どおり推進	子どもたちの文化教養として舞台芸術に親しみ、楽しむ鑑賞会を教育委員会の主催で実施します。 【日程】平成29年1月予定 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【内容】子ども向けの舞台公演を開催	需用費 68千円 手数料 8千円 委託料 463千円 使用料 143千円	なし	文化・スポーツ課
73	成人・青少年への図書館サービス	中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い、資料を提供する。	中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸し出した。また、講演会などの事業を実施した。 ・一般書、逐次刊行物、ティーンズ資料の選定及び提供 ・成人、青少年に対するサービスの企画運営 ・一般サービス選定会議の運営(週1回程度) ・館内研修の実施 【年間貸出利用者数(12歳以下、団体利用は除く)】283,975人 《講演会》 【テーマ】「常磐線・成田線今昔〜我孫子市域の発展を中心に〜」 【講師】白土貞夫氏(鉄道友の会参与) 【日程】11月29日(日) 【場所】アビスタホール 【参加者】120人 《ブックフィルムコーティング講習会》 【日程・場所・参加者】 10月28日(水) アビスタ本館 23人 10月29日(木) 布佐分館 9人 10月30日(金) 湖北台分館 5人	【年間貸出利用者数(12歳以下、団体利用は除く)】284千人(1千人減(-0.4%))	嘱託職員報酬他 859千円 事務用消耗品 20千円 消耗品費(逐次刊行物) 5,957千円 図書資料購入費(一般書) 17,324千円 講師報償費 25千円		A・成果・効果があった	年間貸出利用者数を前年度と比較すると、1,527人減少(-0.5%)となったが、講演会、講習会は満員になるなど盛況であり、市民生活・生涯学習に役立つ図書館サービスの提供を安定的に行うことができた。	A. 現状どおり推進	中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸出する。また、講演会などの事業を実施する。 ・一般書、逐次刊行物、ティーンズ資料の選定及び提供 ・成人・青少年に対するサービスの企画運営 ・一般サービス選定会議の運営(週1回程度) ・館内研修の実施	嘱託職員報酬他 899千円 事務用消耗品 11千円 普通旅費 4千円 消耗品費(逐次刊行物) 6,101千円 図書資料購入費(一般書) 17,928千円 講師報償費 50千円 損害保険料(託児) 1千円	なし	図書館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
74	児童への図書館サービス	子どもの発達や人間形成、人生経験に好ましい影響を及ぼすことの出来る図書を選定し提供する。読書の楽しみと図書館利用の促進を図るために、おはなし会や講座を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どものための科学実験講座、よむよむラリー、館内研修などを実施 ・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議 <p>●親子で楽しむおはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 22回 762人 ②布佐分館 12回 111人</p> <p>●おはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 24回 224人 ②布佐分館 24回 183人</p> <p>●そよかぜおはなしタイム 【場所・実施回数・合計参加者】 ①青山台ステーション 7回 68人 ②久寺家ステーション 6回 25人</p> <p>●子どものための科学実験講座 【日程】8月5日(水) 【場所・参加者】 ①布佐分館 34人 ②アビスタ本館 36人</p> <p>●よむよむラリー 【完了数】405人</p>	【児童書の年間貸出冊数】 248,779冊(7,978冊減(-3.1%))	<ul style="list-style-type: none"> 嘱託職員報酬他 1,302千円 臨時図書整理員賃金他 83千円 講師報償費 40千円 市民スタッフ報償費 40千円 普通旅費 4千円 事務用消耗品 40千円 図書資料購入費(児童書) 3,098千円 	市民スタッフ(読書普及担当)と協働して、布佐分館おはなし会での素話と絵本の読み聞かせ、そよかぜおはなしタイムでの絵本の読み聞かせを実施した。	A 成果・効果があった	おはなし会では、児童や保護者に絵本の楽しさを伝えながら、図書館利用の促進を図った。親子で楽しむおはなし会は、布佐分館での開催が定期化したため、54人増(+6.6%)だった。おはなし会は、105人増(+34.8%)だった。子どものための科学実験講座の応募状況は毎年盛況であり、テーマを変えながら、科学読み物につなげて、成果を上げている。	A. 現状どおり推進	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どものための科学実験講座、よむよむラリー、館内研修などを実施 ・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議 	<ul style="list-style-type: none"> 嘱託職員報酬他 1,687千円 講師報償費 40千円 市民スタッフ報償費 39千円 普通旅費 11千円 事務用消耗品 43千円 図書資料購入費(児童書) 3,257千円 	市民スタッフ(読書普及担当)と協働して、布佐分館おはなし会での素話と絵本の読み聞かせ、そよかぜおはなしタイムでの絵本の読み聞かせを実施する。	図書館
75	子どもの読書活動推進計画の策定	「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条の規定に基づく「子どもの読書活動推進計画」を策定することにより、子どもの読書活動推進に関する施策を総合かつ計画的に推進し、子どもの読書や学習活動につなげる。	「子どもの読書活動推進計画」策定準備(課内での検討等)を行った。	【策定準備の進捗率】 100%	なし	なし	A 成果・効果があった	事業採択はされたので29年度以降の策定を目指して事務を進めていく。 28年度政策的経費対象事業として事業採択されたが、査定額はつかなかつたため、計画に係るアンケート調査については手法も含め検討する必要がある。	A. 現状どおり推進	「子どもの読書活動推進計画」策定準備(課内会議の開催、スケジュール・進め方・コスト等の検討)	なし	なし	図書館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実												
76	男女共同参画講演会の実施	男女共同参画に対する理解を図るため、男女共同参画をテーマにした講演会を開催する。	<p>●男女共同参画月間講演会(主催)</p> <p>【テーマ】明るく笑顔で過ごすための“気持ちの切りかえ”法</p> <p>【日程】6月27日(土)14時30分～16時</p> <p>【場所】アビスタホール</p> <p>【講師】宮下敏子さん(フリーアナウンサー・歌手)</p> <p>【内容】周りの幸せを願いながら自らも幸せに自分らしく過ごせるためのちょっとしたテクニックなど。後半には参加者全員で、声に表情を持たせたり、歌を歌ったりと、参加者を巻き込む講師ならではの工夫もあった。</p> <p>【参加者】66人</p> <p>●男女共同参画社会づくり講演会</p> <p>【共催】市民団体「あびこ女性会議」</p> <p>【テーマ】自己人生の文字 書いてみませんか～かな文字から男女共同参画を考える～</p> <p>【場所】10月4日(日)14時30分～16時</p> <p>【場所】アビスタホール</p> <p>【講師】堀井桃蓮さん(創書家・古典文学研究家)</p> <p>【内容】日本で誕生したかな文字誕生とかな文字によって発展した女流文学の歴史についての講演後、かな文字の書き方について習い、参加者全員で実際に小筆を使って色紙などを作成した。</p> <p>【参加者】43人</p>	<p>【参加者アンケートによる満足度】</p> <p>●男女共同参画月間講演会(主催)</p> <p>79.6%(有効回答数54人、81.8%)</p> <p>●男女共同参画社会づくり講演会</p> <p>91.3%(有効回答数23人、53.4%)</p>	<p>●男女共同参画月間講演会(主催)</p> <p>講師謝礼 100,000円</p> <p>●男女共同参画社会づくり講演会</p> <p>講師謝礼 50,000円</p>	<p>「男女共同参画社会づくり講演会」関係する市民団体「あびこ女性会議」と毎年秋に共催で実施。講師選定・企画は同団体、講師謝礼、ポスター・チラシ作成は市で、広報活動、当日運営は協働で、綿密に打ち合わせながら行っている。</p>	<p>概ね好評だったが、中には「男女共同参画のテーマが感じられない」との意見もあった。ただし参加者の裾野を広げる目的のため、ストレートな講演内容でなくても集客力があり、心の元気が得られるようなものであり、一定の成果が得られたと考えている。参加者には男女共同参画に関する資料を配布して、「持ち帰って読んでもらう」しかけづくりにも取り組んだ。また参加者アンケートにより、参加満足度だけでなく、市民の男女共同参画についての認知度や今後の開催に役立つ情報を得ることができた。</p>	A. 現状どおり推進	<p>●男女共同参画月間講演会(主催)</p> <p>【テーマ】わたしの平成幸福論ノート～自分らしい生き方、家族のあり方を考える～</p> <p>【日程】6月26日(日)14時～15時40分</p> <p>【場所】アビスタホール</p> <p>【講師】水無田気流さん(詩人、社会学者。國學院大學経済学部教授)</p> <p>【内容】世の中が豊かになってきているはずなのに日本人の幸福感が高まってきていない現実に着目した講演。昭和30年代からのテレビコマーシャル映像や海外との比較グラフなどをふんだんに用いて、問題点を分かりやすく提示し、解決への糸口を探った。</p> <p>【参加者】81人</p> <p>●男女共同参画社会づくり講演会</p> <p>【共催】市民団体「あびこ女性会議」</p> <p>【テーマ】なんでこんなに大変なの?! 日本の子育て・介護のゆくえ</p> <p>【場所】10月22日(土)14時～16時</p> <p>【場所】アビスタホール</p> <p>【講師】山根純佳さん(実践女子大学人間社会学部准教授)</p>	<p>●男女共同参画月間講演会(主催)</p> <p>講師謝礼 100,000円</p> <p>●男女共同参画社会づくり講演会</p> <p>講師謝礼 50,000円</p>	<p>「男女共同参画社会づくり講演会」関係する市民団体「あびこ女性会議」と毎年秋に共催で実施。講師選定・企画は同団体、講師謝礼、ポスター・チラシ作成は市で、広報活動、当日運営は協働で行う。</p>	秘書広報課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	
77	平和事業	今も世界の各地で起きている紛争の現実を知り、多くの市民が平和を大切にしたいという思いを強くし、さまざまな平和への取り組みにつなげるため、市民や市民団体と連携しながら市民会議や広島への中学生派遣等の平和に関する各種事業を行い、戦争や原爆の悲惨さを次の世代に伝える。	<p>●我孫子市平和事業推進市民会議、戦後70年運営委員会の開催 全14回開催</p> <p>●広島市への中学生派遣と発表会</p> <p>《中学生派遣》</p> <p>【参加者】各中学校から4人、計24人を派遣。</p> <p>【日程】8月5日(水)～7日(金)</p> <p>【内容】平和について発表会。また、広島の平和の灯から分火を受けた</p> <p>《平和の集い》</p> <p>第1部 広島派遣中学生による報告会</p> <p>第2部 「禎子鶴」寄贈・禎子物語朗読劇(佐々木雅弘さん・祐滋さん、我孫子中学校演劇部出演)</p> <p>第3部 INORIコンサート IN Abiko (佐々木祐滋さん、我孫子市民)</p> <p>【日程】12月6日(日)</p> <p>【会場】けやきプラザふれあいホール</p> <p>【来場者数】570人</p> <p>●平和祈念式典</p> <p>【日程】8月15日(土)9時30分～</p> <p>【場所】手賀沼公園「平和の記念碑」前</p> <p>【参加者数】90人</p> <p>【内容】式典で「平和の灯」点灯式を実施。式典後、アピスタで映画「アオギリにたくして」を上映</p> <p>●戦後70年記念平和事業</p> <p>・「平和の灯」ガス灯の設置(手賀沼公園、平和祈念式典で点灯式)</p> <p>・中学生派遣の人数拡大</p> <p>・「禎子鶴」をアピスタに常設展示(平和の集いで寄贈式)</p> <p>・国際交流スピーチ大会(9月27日)、写真展(9月18日～30日)を開催</p> <p>【内容】平和をテーマにしたスピーチ大会とともに、被爆二世写真家 宮角孝雄氏の講演と写真展を実施</p> <p>【写真展来場者】509人</p> <p>・戦後70年 広島・長崎派遣中学生リレー講座「未来を生きる子どもたちへ」を小学校全13校で実施</p> <p>・戦後70年記念誌「祈り」を発行</p> <p>・戦後70年のホームページ(ブログ)の開設</p> <p>・中央学院大学あびこ祭の戦後70年特別企画に協力</p>	<p>【派遣中学生発表会(27年度は、「平和の集い」として実施)への来場者数】約570人</p> <p>広島派遣経費(中学生・引率者) 1,911千円</p> <p>平和祈念式典後の映画上映 108千円</p> <p>平和の集い 227千円</p> <p>写真展、講演会の開催 200千円</p> <p>記念誌の作成 299千円</p> <p>その他 292千円</p> <p>計 3,037千円(うち国際・平和交流推進基金2,975千円を充当)</p> <p>「平和の灯」維持管理費 239千円(モニュメントの製作・設置は、東日本ガス(株)の寄贈により実施)</p> <p>「禎子鶴」展示 927千円</p> <p>計 1,166千円(国際・平和交流推進基金を充当)※社会福祉課</p>	<p>平和事業は、毎年、平和事業推進市民会議や我孫子市原爆被爆者の会とともに実施している。27年度は、戦後70年の節目の年にあたり、市民会議委員を増員し27名で、催しを企画・運営。</p> <p>●平和の集い 我孫子中学校演劇部のほか、第3部は、市内で音楽活動をする市民が中心となって企画したコンサートを実施。合唱等の市民団体や中学校の吹奏楽部・合唱部等、例年よりも多くの市民が出演者として参加した。</p> <p>●リレー講座 中学生時代に広島や長崎に派遣され、現在は社会人・大学生・高校生となった元派遣中学生が中心となって、小学校全校で平和の大切さを伝えていく「リレー講座」をスタートした。全13校の6年生、各クラスで実施した。</p>	<p>●元派遣中学生による「リレー講座」のスタート 中学生派遣事業のスタートから10年が経ち、派遣経験を持つ若者が、さらに若い世代である小学生に戦争や原爆の悲惨さや平和の尊さを伝えていく「リレー講座」が新たにスタートした。これが、戦争・原爆体験者を中心に行ってきた平和事業を、この先、戦争・原爆を体験していく世代が中心となって行っていく仕組みづくりのきっかけとなった。</p> <p>●平和のシンボルの設置 新たな平和のシンボルとして、「平和の灯」・「禎子鶴」・「陽光桜」を、手賀沼公園・アピスタに、設置・展示・植樹した。</p> <p>●マスコミに多く取り上げられたリレー講座、平和の灯、禎子鶴など、戦後70年に実施した様々な平和事業が、マスコミに取り上げられ、市の平和事業をPRすることができた。</p> <p>●リレー講座への協力者を増やすこと 27年度に実施したリレー講座では、大学生や高校生が活躍した。今後もリレー講座を継続して実施していくために、勉強や部活、アルバイト等で忙しい大学生や高校生の協力者をどのように増やしていくかが課題である。また、広島や長崎に派遣されたばかりの中学生にも、講座の講師を担ってもらえるような工夫が、今後必要であると考えている。</p> <p>●平和のシンボルの活用 手賀沼公園・アピスタには、27年度に設置した「平和の灯」、「禎子鶴」、「陽光桜」のほか、平和の記念碑(昭和61年)、被爆アオギリ2世・被爆クスノキ2世(平成24年8月植樹)など、平和のシンボルが集まっている。今後は、これらを活用したり、発信していく工夫が必要であると考えている。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う</p> <p>●平和事業推進市民会議 開催回数 5回 委員数 14名</p> <p>●中学生派遣 派遣先 長崎 派遣期間 8月8日(月)～10日(水) 派遣人数 12名(中学校6校から、2名ずつ)</p> <p>●派遣中学生による報告会 開催日程 12月4日(日) 会場 けやきプラザ2階ふれあいホール 内容 派遣中学生報告会、長崎市との共催による被爆体験講話 我孫子中学校演劇部による劇(長崎を舞台) 同時開催 11/30～12/4 長崎市との共催により「ナガサキ原爆被災展」</p> <p>●リレー講座 開催時期 平成28年6月～平成29年2月 対象者 小学校全13校の6年生各クラス</p> <p>平成27年度に、「リレー講座」がスタートしたことにより、広島や長崎への派遣体験を持つ元派遣学生が、平和事業に参加する機会を設けることができた。今後は、平和祈念式典などにも若い世代がより多く関わっていくよう、工夫をしていく。</p>	<p>長崎派遣経費(中学生・引率者) 1,547千円</p> <p>平和祈念式典後の映画上映 90千円</p> <p>派遣中学生発表会 380千円</p> <p>その他(市民会議委員報酬費等) 70千円</p> <p>計 2,087千円</p>	<p>平和事業は、平和事業推進市民会議や我孫子市原爆被爆者の会とともに実施する。平成28年度は平和事業市民会議委員14名と会議を行い、催しの企画・運営を行う。</p>	企画課	
78	健康づくりに関する専門家によるセミナー	市民の自主的な健康づくりを目的に、運動、休養、口腔衛生、栄養等の生活習慣の話や、実践的な筋力アップ体操・ストレッチに関する情報を提供し、市民に正しい生活習慣についての理解を深め、現在の生活習慣を見直し、自分にあったアレンジを加え日常生活を改善してもらう。	<p>●骨粗しょう症セミナー</p> <p>現在患者数は1300万人以上とされている骨粗しょう症について、市民の方に関心をもっていただき、日頃からできる予防の実践や、発症している方、それに気が付いていない方に対する医療機関への受診を通して改善・病態進行の阻止につなげていただくため、専門家による骨粗しょう症セミナーを実施した。</p> <p>【演題】医師による骨粗しょう症セミナー「骨粗しょう症と予防」</p> <p>【日程】平成28年3月16日(水) 13時～15時</p> <p>【場所】アピスタホール</p> <p>【参加者】81人</p> <p>【対象】事前に申し込みをされた我孫子市民(男性8人、女性73人)</p> <p>【内容】</p> <p>《すがもり整形外科医院院長の菅森毅士氏による講演》</p> <p>1.骨粗しょう症とは？</p> <p>2.骨粗しょう症になるとどうなるの？</p> <p>3.骨粗しょう症と骨折の予防</p> <p>《我孫子市健康づくり推進員及び食生活改善推進員による講演》</p> <p>「カルシウムについて」</p> <p>○ロコモティブシンドロームについての説明、あびこ市民の健康体操(ロコモレバジョン)の実施</p> <p>○我孫子市で行っているがん検診についての説明、生活習慣についての説明</p> <p>【共催】中外製薬(株)</p>	なし	<p>中外製薬(株)と共催で行った。</p>	<p>A. 成果・効果があつた</p> <p>アンケート調査の結果、健康意識が「とても高まった・高まった」と回答した割合が73%、講演会の内容について、「とてもよかった・よかった」と回答した割合が73%であり、7割以上の方が健康意識の向上につながった。</p> <p>アンケートの中で、がんやがんの予防などの話についての要望も多かった。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>今年度は骨粗しょう症の講演に加えてがん等の話についても検討・実施していく。</p>	<p>講師報酬費 27,000円</p>	なし	健康づくり支援課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容				担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算		市民・事業者との協働
79	こころの健康講座	精神保健福祉に関心のある市民に、病気に対する正しい理解を深めてもらい、地域の支援者の増加を図る。年1回、3日間程度の講座を実施する。	【日程】2月27日 【場所】我孫子南近隣センター 【参加人数】81人 【実施内容】 《ストレスに負けないことと体のつくり方》 【講師】柏駅前なかやまメンタルクリニック院長 中山貴至氏 《訪問看護による精神障害者のケアについて》 【講師】わかさ訪問看護ステーション千葉氏 《まちかど相談室ってどういうところ？》 【講師】まちかど相談室松尾氏	【講演会参加者】81人	なし	地域で精神障害者の支援及び相談をしている方々に講演会講師を依頼。 (なかやまメンタルクリニック中山先生、わかさ訪問看護ステーション千葉氏、天王台地区障害者まちかど相談室松尾氏)	A・成果・効果があつた	講演会では精神障害の基本的な知識と、障害を持った方が地域で生活していく方法を知っていただくことができた。また、まちかど相談室を知らない方も多く、我孫子の社会資源をPRすることができた。	B. 改善・見直しを行う	【内容】ひきこもりから精神疾患につながるケースが多いため、ひきこもりを防止するための家族向け講座を開催する予定。 ・講師に柏駅前なかやまメンタルクリニック院長 中山貴至氏に交渉予定 【場所】南近隣センター 【開催時期】秋～冬頃 【定員】80～100人前後 【対象】ひきこもりの家族や支援者	なし	地域で精神障害者の支援及び相談をしている方々に講演会講師を依頼。	障害福祉支援課
80	失語症家族教室	失語のある人のご家族を対象に失語に関する悩み相談、家族間交流、情報交換、失語の知識や会話技術についての講習・実習を行う。	●失語症家族教室 失語のある人の家族が抱えるコミュニケーション上の負担を軽減するために、失語症家族教室を開催し、悩み事の相談、家族同士の情報交換、失語の基礎知識や会話技術に関する講習と実習を行った。 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】5回 【参加者数】延べ10名 【対象者】失語のある方の家族 【費用】無料	【失語症家族教室への延べ参加者数】10人	なし	失語のある人のご家族から、実施にあたっての参考意見を聴取している。	A・成果・効果があつた	失語のある人のご家族に失語に関する基礎知識と会話技術を提供した。	A. 現状どおり推進	失語のある人の家族が抱えるコミュニケーション上の負担を軽減するために、失語症家族教室を開催し、悩み事の相談、家族同士の情報交換、失語の基礎知識や会話技術に関する講習と実習を行う。 ●失語症家族教室 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】5回 【定員】10名 【対象者】失語のある方の家族 【費用】無料	なし	失語のある人のご家族から、実施にあたっての参考意見を聴取する。	(障害者福祉センター)
81	手話講習会・読話講習会	中途失聴者・難聴者の方とその家族を対象とした手話講習会、読話講習会を開催する。	●手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、読話によるコミュニケーションの獲得や仲間づくりを支援する目的で、「読話講習会」を開催した。初心者向けに、読話の基礎を扱った。 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】全10回 【参加人数】23名 【対象】我孫子市在住の中途失聴者・難聴者とその家族、千葉県中途失聴者・難聴者協会会員 【費用】無料(テキスト代のみ実費負担) *情報補償として、要約筆記者を配置	【講習会参加実人数】23人	筆耕翻訳料(県の要約筆記者7580円×7人分)82,000円 報償費(市の要約筆記者3530円×23人分)54,000円	千葉県中途失聴者・難聴者協会我孫子支部と協議の上、事業を計画した。	A・成果・効果があつた	講習会を通して、読話の基礎の習得及び当事者間の交流が促進された。読話の基礎を学ぶ機会を提供した。	A. 現状どおり推進	●手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、手話によるコミュニケーションの獲得や仲間づくりを支援する目的で、「手話講習会」を開催する。初心者向けに、手話の基礎を学ぶ。 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】全10回 【定員】20名 【対象】我孫子市在住の中途失聴者・難聴者とその家族、千葉県中途失聴者・難聴者協会会員 【費用】無料 *情報補償として、要約筆記者を配置	報償費(手話講師8000円×1人×10回)80,000円 筆耕翻訳料(要約筆記者8600円×3人×5回)129,000円 報償費(要約筆記者3500円×3人×5回)53,000円	千葉県中途失聴者・難聴者協会我孫子支部と協議の上、事業を計画する。	(障害者福祉センター)

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
82	家族介護教室	要介護被保険者の状態の維持改善をめざし、介護をしている人を対象に、適切な介護知識や技術、外部サービスの適切な利用方法についての教室を開催する。	市内4カ所の各地区高齢者なんでも相談室が主催し、主に高齢者を対象に地域の近隣センター等を会場として開催した。 《我孫子地区》 ・「家族介護者のための心と体のリフレッシュ講座」 【日程】7月21日(火)【場所】我孫子市民プラザ和室【参加者】7人 ・家族介護者のためのくすりの知識講座 【日程】3月2日(水)【場所】我孫子市民プラザホール【参加者】8人 《天王台地区》 ・「認知症ってなんだろう！」 第1回【日程】5月12日(火)【場所】天王台北近隣センター【参加者】39人 第2回【日程】7月16日(木)【場所】天王台北近隣センター【参加者】30人 ・「認知症を知って予防しよう！講座」 第3回 認知症を防ぐ生活習慣 笑い編【日程】9月29日(火)【場所】天王台北近隣センター【参加者】34人 第4回 認知症を防ぐ生活習慣 食生活編【日程】11月13日(金)【場所】天王台北近隣センター【参加者】16人 第5回 認知症を防ぐ生活習慣 運動編【日程】11月26日(火)【場所】天王台北近隣センター【参加者】39人 第6回 認知症サポーターになろう【日程】3月17日(木)【場所】天王台北近隣センター【参加者】17人 《湖北・湖北台地区》 ・「ホクホク介護教室」 第1回『老後の備え』【日程】6月24日(水)【場所】湖北台近隣センター【参加者】81人 第2回『知っておきたい認知症の知識』【日程】9月8日(火)【場所】特別養護老人ホーム久遠苑【参加者】55人 第3回『知っておきたい認知症の知識』【日程】11月6日(金)【場所】湖北台近隣センター【参加者】44人 第4回『介護職の基本(調理実習)』【日程】3月3日(木)【場所】湖北地区公民館調理室【参加者】9人 ・「転ばないための運動教室～ロコモと転倒予防～」 【日程】12月10日(木)【場所】湖北台近隣センター【参加者】143人 《布佐・新木地区》 ・「老後の備え」【日程】12月10日(木)【場所】ふさの風近隣センター【参加者】147人 《市内全地区》 ・「ケアメン倶楽部『男の料理教室』」 第1回【日程】9月17日(木)【場所】アピスタ調理室【参加者】15人 第2回【日程】11月18日(水)【場所】アピスタ調理室【参加者】15人 第3回【日程】2月18日(木)【場所】アピスタ調理室【参加者】9人	【教室参加者】488人	委託費に含まれているため、経費負担はなし	湖北・湖北台地区で実施の「ほくほく介護教室」で、市内ケアハウス入居者の協力があった。	A ・成果・効果があった	合計488人の教室への参加があった。認知症予防や生活習慣、転倒防止のための運動、家族介護への知識の習得に加え調理実習等を交え、自分自身が健康に生活するための知識習得を進めることができた。	A. 現状どおり推進	市内4箇所の高齢者なんでも相談室が主催し、主に高齢者を対象に地域の近隣センター等を会場として、年間2回を目安に開催する。	委託費に含まれるため、経費負担はなし	湖北・湖北台地区で実施の「ほくほく介護教室」で、市内ケアハウス入居者の協力あり。	高齢者支援課
83	認知症の方の家族のつどい「あびこ・こほく」	認知症の症状のある方を介護している家族が、同じ悩みを抱える家族間で交流を図り、介護方法などの情報交換を行うことにより、家族の負担の軽減や不安の解消を図る。認知症高齢者とその家族の方が安心して暮らせることができるよう支援を行う。	【内容】 ・参加者からの介護における悩み事や介護方法への助言 ・参加者同士の情報交換 ・家族間の交流 ・各会場2回認知症の人と家族の会千葉県支部から世話人 【対象】 認知症の症状のある方を介護している家族 《あびこ》 【日程】偶数月の第2水曜日を基本とし、年6回開催（千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センターとの共催事業） 【場所】けやきプラザ 1F工作室 【参加者】 延43人 《こほく》 【日程】奇数月の第4金曜日を基本とし、年6回開催 【場所】保健センター 3F大会議室 【参加者】 延21人	【アンケートの結果】 《参加により不安の軽減できた》 100% 自由記載の一部抜粋「色々なお話を聞いて勉強になりました」「教えていただけると、自分の気持ちも楽になりました」	家族の会ファシリテーター謝礼 48千円	なし	A ・成果・効果があった	延べ64名の参加があり、アンケートでは「参加により不安の軽減できたか」100%であり、介護家族の交流や負担軽減の場となっている。	B. 改善・見直しを行う	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センターとの共催事業 【日程】 偶数月の第2水曜日を基本とし、年6回開催 【場所】 けやきプラザ7階研修室 【参加対象者】 認知症の症状のある方を介護している家族 【実施内容】 ・参加者からの介護における悩み事や介護方法への助言 ・参加者同士の情報交換 ・家族間の交流	認知症家族のつどい講師 報償費 21千円	なし	高齢者支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
84	健康生活月間講演会	自分らしく健康な生活が続けることができるよう、介護予防に関する正しい知識の普及啓発を行い、健康寿命の延伸を図る。年1回健康生活月間を設け、講演会や介護予防事業体験会を通して普及啓発を行う。	【日程】平成27年11月12日(木) 【場所】けやきプラザ2Fふれあいホール 【内容】今日からできる！脳の活性化（認知症予防講演会） 【対象者】市民 【定員】450人 【参加者】379人	【講演会参加者へのアンケート結果】 「わかりやすい」91.8% アンケートの自由記載での意見の傾向としては「話がわかりやすくて良かった・楽しかった」「とても参考になった」「具体的で良かった」「これから実践したい」「また企画してほしい」等が多かった。	健康生活月間講演会講師報償費 50千円 健康生活月間ポスター・チラシ作成 193千円	なし	A 成果・効果があった	講演会に379名が参加。講演会参加者のうち、『わかりやすい』91.8%であり、介護予防に関する知識の普及啓発は行えた。 例年200人以下の参加者であったが、平成27年度は定員450人に対し379名の参加と大幅に参加者が増加した。	A. 現状どおり推進	「講演会」 【日程】平成28年11月17日(木) 【場所】けやきプラザ2Fふれあいホール 【内容】これだ！噛む健康長寿法(口腔に関する講演会) 【対象者】市民 【定員】450人	健康生活月間講演会講師報償費 74千円 健康生活月間ポスター・チラシ作成 195千円	なし	高齢者支援課
85	高齢者虐待防止講演会	高齢者虐待に関する正しい知識の普及を図るとともに、地域の見守りによる虐待防止の体制づくりについて紹介し啓発を図る。	隔年事業のため実施なし	なし	なし	なし	C わからない・未実施	なし	なし	【日程】平成29年2月11日(土) 【時間】午後1時30分から午後3時30分まで 【場所】アビスタホール 【定員】150名【対象】市民【参加費】無料 【講師】中田 光彦（鎌倉市社会福祉協議会登録ホームヘルパー他）	高齢者虐待防止講演会講師報償費 100千円	なし	高齢者支援課
86	遊具うんどう教室	生活習慣病予防のため、運動の習慣化を目指し、うんどう遊具を利用した運動の実践などの健康情報の提供や、地域ぐるみで支え合う健康づくりの支援を行う。	【日程】 《湖北台中央公園》毎月第3火曜日、9回、185人 《天王台西公園》毎月第3金曜日、7回、146人 《布佐南公園》毎月第2水曜日、8回、22人 ※雨天の場合には、中止 【対象】概ね65歳以上の方	【遊具うんどう教室参加者合計数】 353人	運動遊具修繕料 3,433千円	市民から公募し養成を行った健康生活サポートリーダーが中心となって、遊具うんどう教室を実施している。	A 成果・効果があった	本事業は、生活機能の低下による要介護状態を予防するため、介護予防に関する啓発を行っている。今後も高齢者が自ら介護予防に取り組めるよう、引き続き現状通り継続していく。 市内3ヶ所に設置のうんどう遊具が設置から15年以上経過し、老朽化や破損等による補修の必要性が多く出てきている。	B. 改善・見直しを行う	【場所・日程・参加者】 《湖北台中央公園》毎月第3火曜日 《天王台西公園》毎月第3金曜日 《布佐南公園》毎月第2水曜日 ※雨天の場合には、中止 【対象者】概ね65歳以上の方	運動遊具修繕料 1,305千円	市民から公募し養成を行った健康生活サポートリーダーが中心となって、遊具うんどう教室を実施する。	高齢者支援課
87	環境学習の推進	小学生を対象に、簡単な実験や廃材利用の工作等の学習機会を提供し、身近な環境や地球温暖化問題・生物多様性・廃棄物・資源やエネルギーについて関心や探究心を深める。また、鳥などの生き物や手賀沼を身近に感じ、我孫子市の環境施策を推進する。	《手賀沼を観察しよう！～プランクトンネット作り&観察と船上バードウォッチング～》 【日程】7月29日(水) 【場所】手賀沼親水広場水の館3階研修室 【対象】小学生 【参加者】小学生11人、保護者5人、幼児1人 《紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花瓶など～》 【日程】7月22日(水)・8月3日(月) 【場所】アビスタ工芸工作室 【対象】小学生 【参加者】 7月22日：小学生19人、保護者13人、幼児1人 8月 3日：小学生19人、保護者13人、幼児1人 《船から見る手賀沼のふしぎ》 【日程】7月24日(金) 【場所】手賀沼公園 【対象】小学生 【参加者】小学生12人、保護者11人、幼児2人	【夏休み環境学習3事業参加者】 75人	消耗品費 12,744円 保険料 1,000円 講師報償費 6,500円 船借上げ料 20,000円	「紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花瓶など～」及び「船から見る手賀沼のふしぎ」事業は、環境に関わるボランティアリーダーである我孫子市環境レンジャーに講師を務めていただき実施した。	A 成果・効果があった	3つの環境学習全てで定員には満たなかったが、保護者にも参加してもらうことで広い世代に環境学習が行えた。 広く周知し、3つの環境学習全てが定員になるようにする必要がある。	B. 改善・見直しを行う	【日程・場所・対象】 《手賀沼を観察しよう！～プランクトンネット作り&観察と船上バードウォッチング～》 8月3日(水) 鳥の博物館講堂 小学生12人(3年生以下保護者同伴) 《紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花瓶など～》 7月21日(木)・28日(木) アビスタ工芸工作室 小学生20人(3年生以下保護者同伴) 《船から見る手賀沼のふしぎ》 7月27日(水) 手賀沼公園 小学生20人(3年生以下保護者同伴)	消耗品費 50,000円 保険料 10,000円 講師報償費 6,500円 船借上げ料 20,000円	「紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花瓶など～」及び「船から見る手賀沼のふしぎ」事業は、環境に関わるボランティアリーダーである我孫子市環境レンジャーに講師を務めていただき実施した。	手賀沼課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容				担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算		市民・事業者との協働
88	消費生活講座	消費者の多様化するトラブルを防止するのに必要な情報を市民に提供するため、消費生活相談員や外部講師による消費生活講座を開催する。	<p>●ふれあいサロン</p> <p>①【日程】6月16日(火)【場所】福田宅【対象者】天子山ふれあいサロン会員及びボランティア【参加者】15名</p> <p>②【日程】1月15日(金)【場所】湖北地区公民館【対象者】高齢者【参加者】38人</p> <p>③【日程】2月24日(水)【場所】布佐南近隣センター【対象者】高齢者【参加者】35名</p> <p>④【日程】2月24日(水)【場所】湖北台市民センター【対象者】高齢者【参加者】35名</p> <p>●出前講座</p> <p>①【日程】4月2日(木)【場所】中央学院大学【参加者】400名</p> <p>②【日程】7月9日(木)【場所】長寿大学【参加者】50名</p> <p>③【日程】7月14日(火)【場所】さつきの会【参加者】55名</p> <p>④【日程】10月10日【場所】天王台北近隣センター【参加者】67名</p> <p>⑤【日程】10月21日【場所】つつじ荘【参加者】60名</p> <p>⑥【日程】11月28日【場所】ふさの風【参加者】9名</p> <p>⑦【日程】2月21日【場所】天王台自治会館【参加者】30名</p> <p>●消費生活講座</p> <p>【テーマ】今日から始める「老い支度」～自分らしく暮らすために～</p> <p>【講師】明石 久美(相続・終活コンサルタント、明石シニアコンサルティング代表)</p> <p>【日程】10月30日</p> <p>【場所】アビホール</p> <p>【参加者】73名</p>	【全ての講座の参加人数】867名	●消費生活講座 アビホール使用料 43,200円 講師報償費 35,000円	なし	A 成果・効果があつた	消費者が悪質詐欺などの消費者被害に遭わないための情報提供をパンフレットの配布や掲示物で発信していきつつ、この生活展では、各市民団体によるパネル展示や実演などにより、日々の暮らしを見つめ直し安全・安心で豊かな生活を送れるよう各市民団体が情報を発信する機会や団体同士の情報交換の場の提供ができた。	A. 現状どおり推進	<p>●ふれあいサロン</p> <p>【日程・場所】</p> <p>①【日程】4月6日【場所】こもれび【定員】60名</p> <p>②【日程】4月7日【場所】アビスタ【定員】35名</p> <p>③【日程】4月21日【場所】アビスタ【定員】35名</p> <p>●出前講座</p> <p>①【日程】10月3日、11日、13日、14日【場所】我孫子中学校</p> <p>②【日程】10月23日【場所】長寿大学</p> <p>③【日程】2月22日【場所】平和台地区かえで</p> <p>●消費生活講座</p> <p>【テーマ】思い出の品をどうする?～プロが教える自宅や実家の片づけ家整理術～</p> <p>【講師】渡部 垂矢</p> <p>【日時】11月2日(水)</p> <p>【人数】80名(予定)</p> <p>【テーマ】失敗しない住まいづくり</p> <p>【講師】特定非営利活動法人建築Gメンの会</p> <p>【日程】H29年2月25日(土)</p> <p>【参加人数】80名(予定)</p>	●消費生活講座 アビホール使用料 54,000円 講師報償費 50,000円	なし	商業観光課
89	緑の講習会	ガーデニングや庭の手入れ方法などの緑に関する知識や技能の講習会を開催し、多くの市民に園芸やガーデニングに興味を持ってもらい、みどり豊かなまちづくりを推進する。	<p>●緑の講習会</p> <p>＜剪定講座＞</p> <p>【日程】4月23日(木)【場所】气象台記念公園【参加者】14人</p> <p>＜初夏を彩るキッチンハーブの寄せ植え＞</p> <p>【日程】5月20日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【参加者】24人</p> <p>＜グリーンボランティア養成講座～花壇をつくらう～＞</p> <p>【日程】5月28日(木)【場所】气象台記念公園【参加者】12人</p> <p>＜苔玉の基礎と応用＞</p> <p>【日程】6月25日(木)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【参加者】15人</p> <p>＜ハンギングバスケットづくり＞</p> <p>【日程】7月11日(土)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【参加者】25人</p> <p>＜自分でできる庭木の管理術＞</p> <p>【日程】9月26日(土)【場所】アビスタ工芸工作室【参加者】54人</p> <p>＜山野草を探り入れたミニ盆栽講座＞</p> <p>【日程】10月28日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【参加者】12人</p> <p>＜クリスマスリース＞</p> <p>【日程】11月18日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【参加者】37人</p> <p>【合計参加人数】193人</p>	【合計参加人数】193人	緑の講習会委託料 333,000円	緑の講習会はテラス21と協働で行った。	A 成果・効果があつた	毎年開催しているクリスマスリースづくりの講座や自分でできる庭木の管理術(剪定講座の雑学)については定員を大幅に超える応募があり市民の関心が伺える。緑の講習会の参加者達で、新たに団体を設立し、現在公園花壇の維持管理を行っている。市民が興味を持ち、参加しやすい内容としたことから、年間の延べ参加人数は、昨年度の178人より15人増えて193人となった。	A. 現状どおり推進	<p>●緑の講習会</p> <p>＜剪定講座(座学)＞</p> <p>【日程】4月23日(土)【場所】アビスタミニホール【定員】30人</p> <p>＜ハンギングバスケット＞</p> <p>【日程】4月27日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</p> <p>＜剪定講座(実技)＞</p> <p>【日程】5月11日(水)【場所】气象台記念公園【定員】20人</p> <p>＜庭造りの第一歩・草花の育て方＞</p> <p>【日程】5月26日(木)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</p> <p>＜ハーブの寄せ植え＞</p> <p>【日程】6月8日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</p> <p>＜初夏の寄せ植え講座＞</p> <p>【日程】6月26日(日)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</p> <p>＜親子で楽しむ多肉植物の寄せ植え＞</p> <p>【日程】7月22日(金)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</p> <p>＜ミニ盆栽づくり講座＞</p> <p>【日程】9月17日(土)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</p> <p>＜秋の剪定講座(座学)＞</p> <p>【日程】10月9日(日)【場所】アビスタ第二学習室【定員】20人</p> <p>＜クリスマスリースづくり＞</p> <p>【日程】11月18日(金)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】20人</p>	緑の講習会委託料 480,000円	緑の講習会はテラス21と協働で行う。	公園緑地課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
90	栄養教諭を中核とした食育推進事業	食事の重要性を理解し、心身の健康を維持するための食の自己管理能力を身に付けた児童・生徒の育成を目指し、学校給食を教材として食育を推進する。家庭における望ましい食習慣の実践につなげるため、保護者が参加できる教室を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食を教材とし、教科・給食指導・献立表・食育だより等を通して食に関する指導を行った。 6月に食生活アンケートを実施し、児童・生徒・保護者の食生活の実態を把握した。 8月に豆・豆製品の利用をテーマに市内3カ所で親子対象ヘルシークッキング教室を開催した。 他1カ所で保護者、2カ所で親子の参加する料理教室を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ●ヘルシークッキング教室 【日程】8月 4日 【場所】アビスタ・近隣センターこもれび・湖北地区公民館 【内容】豆・豆製品のパワーを知ろう 【対象】親子 【参加者】73人 ●親子料理教室 【日程】11月 9日 【場所】布佐南近隣センター 【内容】10分で作れる朝ごはんメニュー 【対象】親子 【参加者】11人 ●親子料理講習会 【日程】12月 21日 【場所】新木近隣センター 【内容】手軽にできる手作りおやつ 【対象】親子 【参加者】36人 ●保護者料理教室 【日程】11月 17日 【場所】湖北地区公民館 【内容】10分で作れる朝ごはんメニュー 【対象】保護者 【参加者】8人 ●残菜調査 【日程】11月 【場所】市内小中学校19校 【内容】学級別・献立別残菜率を計測、算出 【結果】小学校平均4.1%、中学校平均1.1% 全校平均3.0% ●授業研究会 他の教職員との研究協議を通じて栄養教諭・栄養職員としての指導力向上を図った。 【実施回数】7回 	【教室・講習会開催回数】4回 【教室・講習会参加者合計】128人	なし	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> 安全でおいしい学校給食を活かした食育指導を計画通り実施することができた。 ●ヘルシークッキング教室は、親子を対象としたことで、参加希望者が増えたが、申し込み者数の状況から、関心が少ない湖北・布佐地区で、より参加しやすい場所で、親子料理教室、親子料理講習会を開催し、2カ所は親子を対象として実施した。 ・11月に全校で実施した学級別残菜調査を、給食指導にいかした。 	A. 現状どおり推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食を教材とし、教科・給食指導・献立表・食育だより等を通して食に関する指導を行う。 6月に全校児童生徒を対象として我孫子産米・我孫子産野菜の認知度と朝食摂取状況に関するアンケートを実施する。その他の項目についてのアンケートは地域の実態に合わせて実施する。 8月に我孫子地区・湖北・布佐地区で親子料理教室を開催する。 11月に全校で学級別残菜調査を実施する。 授業研究会を年6回実施し、栄養教諭・栄養職員の指導力向上を図る。 	なし	なし	学校教育課
91	生涯学習出前講座の運営	市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行った。出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図った。	<ul style="list-style-type: none"> 【利用者満足度】 《とても満足》75% 《満足》22% 《ふつう》3% <ul style="list-style-type: none"> ●出前講座 【講座数】(平成28年3月31日現在) 市役所メニュー 78講座 市民講師メニュー 136講座 キャンパスメニュー 37講座 【年間利用状況】 件数:179件(うち市民講師講座:70件、キャンパスメニュー講座:15件) 人数:3,674人(うち市民講師講座:1,017人、キャンパスメニュー講座:338人) 《出前講座PR展示》 【日程】9月16日～9月29日 【場所】アビスタ 2F展示スペース 	講師報酬費 39千円 消耗品 100千円	市民講師としてボランティア登録されている市民の方が講座を実施する。。	なし	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座の制度を市民グループに利用してもらうことで、市民の主体的な生涯学習活動を支援することができた。 パネル展示で市民講師メニューの紹介を行ったり、メニュー表を市内に配布することで、制度の周知に繋がった。 利用者アンケートの結果では、高い満足度を得ることができた。 	A. 現状どおり推進	<ul style="list-style-type: none"> 市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行う。 出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図る。 9月にPR事業として展示を行う。 	講師報酬 50千円 消耗品費 129千円 飲料費 5千円	なし	生涯学習課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
92	生涯学習普及啓発事業	我孫子市の生涯学習を推進するにあたり、情報紙による学習情報提供や講演会等、学習の場の提供を通して、学びが人づくりとなり、人と人の交流を生み、まちづくりにつながるよう生涯学習普及啓発事業を開催する。	<p>●生涯学習推進事業「人は、なぜ走るか？～古代オリンピックの最初の競技は“かけっこ”だった～」</p> <p>【日時】平成28年2月6日(土) 午前9時30分～午後4時00分</p> <p>【場所】川村学園女子大学</p> <p>【内容・参加者(延べ人数)】</p> <p>2020年に行なわれる東京オリンピック・パラリンピック大学連携プロジェクトの一環として川村学園女子大学と連携し、楽しく走り続けるコツや早く走るためのヒントなど、運動の基本である“かけっこ”に焦点をあて、早く・楽しく・続けられるコツやヒントなどをスポーツの理解を深めることを目的に開催しました。</p> <p><午前の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小出義雄氏講演会～かけっこ人生～ 233人 <p><午後の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ教室～早く走るためのヒント！～ 88人 ・ジョギング教室～楽しく走り続けるコツ！～ 33人 <p><1日事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニューススポーツを体験しよう！ 61人 ・中央学院大学駅伝部パネル展示 ・スポーツ用品展示販売 ・学生食堂体験 160人 <p>【協賛】アシックスジャパン(株)・(有)藤倉運動具店・アクティオ(株)・(株)フクシ・エンタープライズ</p> <p>●「夏休みアニメ上映&朗読会」の開催</p> <p>【日程】8月5日(水)</p> <p>【場所】アビスタミニホール</p> <p>【参加者】100人(子ども62人、大人38人)</p>	【アンケート満足度】93%	<p>≪人は、なぜ走るか？～古代オリンピックの最初の競技は“かけっこ”だった～≫</p> <p>講師料 180,000円</p> <p>消耗品 45,618円</p> <p>印刷製本費 88,554円</p> <p>≪夏休みアニメ上映&朗読会の開催≫</p> <p>消耗品 4,741円</p>	<p>●生涯学習推進事業「人は、なぜ走るか？～古代オリンピックの最初の競技は“かけっこ”だった～」</p> <p>≪共催≫ あびこ楽校協議会(アクティオ株、我孫子合唱連盟、あびこ子どもネットワーク、我孫子南地区社会福祉協議会、あびこ市民活動ネットワーク、我孫子市商工会)、川村学園女子大学(川村学園教員、学生ボランティア)</p> <p>≪後援≫ 我孫子市陸上競技協会、我孫子市小中学校体育連盟</p> <p>≪事業協力≫ 中央学院大学駅伝部、我孫子高等学校陸上競技部、我孫子市体育協会</p>	A 成果・効果があった	<p>「人はなぜ走るか？」でのアンケートでは、164件の回答のうち「満足」「やや満足」が153件と93%の方から満足との回答があり、多くの方に生涯学習機会の提供ができた。</p>	A. 現状どおり推進	<p>●夏休みアニメ上映&朗読会</p> <p>夏休みに行う視聴覚ライブラリーのアニメ映画会に合わせて、絵本の朗読会を行う。</p> <p>【日程】8月2日(火)</p> <p>【場所】アビスタ ホール</p> <p>【参加人数】84人(子ども53人、大人31人)</p> <p>●卒サラ講座</p> <p>9月24日、10月1・8・22日</p> <p>講座PRにあわせて生涯学習のPR展示を行う。</p>	<p>●夏休みアニメ上映&朗読会</p> <p>講師料 80,000円</p> <p>●卒サラ講座</p> <p>講師料 40,000円</p> <p>ポスター・チラシ印刷費 40,000円</p>	●卒サラ講座 市民の方を講師に、講座を実施する。	生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容				担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果	今後の進め方	具体的内容	予算		市民・事業者との協働	
								課題	改善・見直し内容および廃止理由、代替事業の有無					
93	人権教育	地域で活動する社会教育関係者を対象に社会に存在する様々な人権問題(外国人・男女・子ども・高齢者・障がい者など)について学習する機会を提供し、社会教育活動にいかしてもらおう。	<p>●社会人権地区別研修会 【日程】6月11日(木) 【場所】千葉県総合教育センター 【出席者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者(我孫子市:出席者1名) 【内容】講演「インターネットにおける人権侵略への対応」講師 桑子博行氏(違法・有害情報相談センター長) ・人権啓発ビデオ視聴 ・分散会「各市町村教育委員会における人権教育の推進について」等</p> <p>●社会人権教育指導者養成講座 【日程】7月～10月 【場所】千葉県総合教育センター 他 【出席者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者(我孫子市:出席者1名) 【内容】 ≪7月15日(水)≫ 講演「私らしく生きる-光を失っても-」野田市視覚障害者協会 理事 中村 和子氏 ≪8月28日(金)≫ 講演「被差別部落の歴史」千葉県人権センター 常務理事 鎌田 行平氏 ≪9月17日(木)≫ 講演「しいたげられた子どもたちの姿から」児童養護施設「野の花の家」統合施設長 花崎 みさを氏 ≪10月23日(金)≫ 学校人権教育指導者研修の受講者と合同研修 講演「学校で情報モラルをどう指導するか？」 江戸川大学メディアコミュニケーション学部 情報文学科 玉田和恵教授</p> <p>●社会人権教育地区別研修会 【日程】9月16日 【場所】さわやかちば県民プラザ 【出席者】市内小中学校PTA、教育委員、社会教育委員、指導課職員、生涯学習職員 25名 【内容】講演「性別で見る多様性と人権」～セクシュアリティー概論～ 講師 ダイバーノン代表 飯田 亮留氏</p>	【人権教育研修会参加者数】 延べ30名	なし	なし	なし	<p>現代社会の中で起きているさまざまな人権問題について考え、各市町村の抱えている問題について情報交換を行った。 また、市内小中学校PTA、教育委員、社会教育委員、指導課職員に研修の機会を提供することで、すべての人を個人として尊敬し、思いやりの心を持って助け合い、共に生きる気持ちを育てることができた。</p>	A. 現状どおり推進	<p>●社会人権地区別研修会 【日程】6月9日(木) 【場所】千葉県総合教育センター 【出席者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者(我孫子市:出席者1名) 【内容】講演「子どもが危ない！ネット人権侵害」講師 佐藤 佳弘氏(情報文化総合研究所長) 人権啓発ビデオ視聴 分散会「各市町村教育委員会における人権教育の取り組みについて」等</p> <p>●社会人権教育指導者養成講座 【日程】7月～10月 【場所】千葉県総合教育センター 他 【出席者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者</p> <p>●社会人権教育地区別研修会 【日程】9月15日(木) 【場所】さわやかちば県民プラザ 【出席者】市内小中学校PTA、教育委員、社会教育委員、指導課職員、生涯学習職員 25名 【内容】講演「絶望の中から希望の光を見つけるまで……～家族の愛とことばの力」 講師 エメラルドサポート㈱代表取締役 社長 佐藤 尚美氏</p>	人権研修旅費 13,000円	なし	なし	生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働		
94	スポーツ教室事業	我孫子市にゆかりのある優秀なスポーツ選手や企業などにおける人材をスポーツの指導・振興に活かし、スポーツ教室を行う。	26年度までは、プロ野球選手、地元ラグビーチームを招き、少年野球教室、タグラグビーを実施していたが、特定の種目に偏ってしまうため、27年度は教室を開催せず28年度実施に向けた検討を行った。	なし	なし	なし	なし	C わからない・未実施	なし	C. 廃止・休止	ボールゲームフェスタの開催 【場所】我孫子市民体育館 【日程】平成28年4月24日 【人数】午前の部：49組、午後の部：128人 【対象者】午前小学1年生から小学3年生までの児童と保護者 午後小学4年生から中学1年生までの児童、生徒	食糧費 26千円 印刷製本費 130千円 その他保険料 46千円	なし	文化・スポーツ課
95	スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備するため、地域の小学校を取り込み、大人から子供までスポーツを行い、地域のコミュニケーションを図る。	《スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～》 【日程】2月27日 【場所】並木小学校、我孫子三小学校、布佐南小学校 【参加者】675人	【参加人数】 675人	委託料 120,000円 (40,000円×3箇所)	各小学校の地域のスポーツ少年団と連携した。	A 成果・効果があった	地域住民に体を動かす楽しさを提供できた。	B. 改善・見直しを行う	【場所】我孫子西地区、我孫子中央地区、我孫子東地区の3地区 【時期】平成29年2月25日(土) 【対象者】児童から高齢者まで広く	委託料120,000円(40,000円×3箇所)	各小学校の地域のスポーツ少年団と連携する。	文化・スポーツ課	
96	鳥の博物館企画展	鳥の生態や、鳥の体の仕組み、鳥の保全などについて理解を深めてもらうため、さまざまな視点から鳥をわかりやすく解説し、収蔵標本や資料を展示する。	企画展示 【内容・日程】 第71回企画展「鳥の鳴き声展」H27. 2. 27～6. 28 第72回企画展「アホウドリ展～復活への挑戦～」H27. 7. 11～9. 6 第73回企画展「飛んでる鳥展～飛翔型標本コレクション～」H27. 9. 12～12. 6 第74回企画展「友の会展」H27. 12. 12～H28. 1. 24 第75回企画展「フクロウさんちの子育て日記」H28. 2. 6～6. 26	【入館者数(年間)】 36,049人	消耗品 250千円 印刷製本費 98千円 企画展示委託料 64千円 市民スタッフ報償費 46千円 備品購入費 218千円	公募による市民スタッフが展示交流スタッフとして入館者に展示の解説や館内の案内を行った。	A 成果・効果があった	季節性や話題性に富んだテーマを取り上げ、また収蔵標本を効果的に利用し、さらに山階鳥類研究所など関連施設と連携した企画展を実施することができた。この結果、多くの市民の関心を集め、利用を促すことができた。	A. 現状どおり推進	企画展示 【内容・日程】 第75回企画展「フクロウさんちの子育て日記」H28. 2. 6～6. 26 第76回企画展「我孫子の鳥図鑑～市内で見られる鳥全種の標本～」H28. 7. 9～11. 6 第77回企画展「鳥の子育て～ジオラマで見る鳥の繁殖～」H29. 2. 11～6. 25	消耗品 100千円 印刷製本費 167千円 企画展示委託料 100千円 市民スタッフ報償費 100千円	公募による市民スタッフが展示交流スタッフとして入館者に展示の解説や館内の案内を行う。	鳥の博物館	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり ①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実			基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり ①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実					基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり ①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実					
97	市民農園維持管理事業	消費者が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しむ、農業を育むことができるよう、市民農園などの農業体験の場の提供を行う。	<p>●年間を通じた市民農園の維持管理【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃) ・農園利用者の募集(12月「広報あびこ・ホームページ」に掲載) ・利用者決定に伴う契約事務 ・農園利用料の徴収 ・日秀新田市民農園について、法面対策工事を行なった。 ・高野山ふれあい市民農園のあり方について検討を行なった。(平成28年度で閉園) <p>【市民農園の詳細】</p> <p>《高野山ふれあい市民農園》 総区画243区画うち利用区画数96区画</p> <p>《日秀新田市民農園》 総区画114区画うち利用区画数76区画</p> <p>●体験イベント</p> <p>《じゃがいも収穫イベント》</p> <p>【日程】6月20日</p> <p>【場所】日秀新田市民農園</p> <p>【参加者】35人</p> <p>《芋ほりイベント》</p> <p>【日程】10月24日</p> <p>【場所】日秀新田市民農園</p> <p>【参加者】34人</p>	【市民農園利用区画数】 172区画	光熱水費及び施設修繕等維持・保全 161,000円 市民農園用地及び施設の適切な管理 3,455,000円 市民農園既存用地の確保 2,704,000円 手賀沼土地改良区賦課金 55,000円 燃料費 2,000円 消耗品費 82,000円 日秀新田市民農園法面対策工事 108,000円	通常の農園管理に加え、管理委託者と連携し、農作物収穫体験イベントを企画・実行した。	A 成果・効果があった	市民に農業体験の場を提供した。 日秀新田市民農園について、管理委託者と連携して農作物収穫体験イベントを実施し、農園の魅力アップを図ったことで、昨年度と比べ利用率が向上した。 高野山ふれあい市民農園については、平成28年度末で閉園が決定しているため、引き続き農園の利用を希望している利用者への対応を含め、スムーズな事後処理が課題となる。	B. 改善・見直しを行う 高野山ふれあい市民農園については、平成28年度末での閉園が決定した。日秀新田市民農園については、市民農健康づくりやレクリエーションの場として、引き続き維持管理・運営を行っていく。 【高野山ふれあい市民農園の閉園理由】 農園利用者数や民間農園(農家開設型農園)の状況等を総合的に検討した結果、平成28年度末をもって閉園することとした。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き市民が土に触れ、交流の場となる市民農園を提供する。 ・日秀新田市民農園について、利用率の向上を目的とし、管理委託者と連携しながら各種イベントの企画・運営を行い、農園の魅力アップを図る。 ・高野山ふれあい市民農園閉園に伴い、今後の利用方針について地区利用構想の策定を行う。 	光熱水費及び施設修繕等維持・保全 174,000円 市民農園用地及び施設の適切な管理 3,506,000円 市民農園既存用地の確保 2,704,000円 手賀沼土地改良区賦課金 55,000円 燃料費 5,000円 消耗品費 102,000円	通常の農園管理に加え、管理委託者と連携し、農作物収穫体験イベントを企画・実行する。	農政課
98	親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)	水質保全や水環境、エコ農業といった環境学習について、掲示などを用いて情報発信する。プラネタリウムの投影を行い、水環境保全啓発施設として運営する。	<p>●講座・イベント</p> <p>【日程・参加者】</p> <p>《星空解説員による生解説》</p> <p>8月8日、105名</p> <p>8月16日、135名</p> <p>《天文愛好家によるプチ講座》</p> <p>8月23日、135名</p> <p>8月30日、98名</p> <p>《星空解説&観望会》</p> <p>8月27日、41名</p> <p>2月13日、41名</p> <p>イベント合計 555名</p> <p>●プラネタリウム投影事業</p> <p>【参加者】6,427名</p> <p>[内訳]</p> <p>《7月》544名</p> <p>《8月》1,517名(イベント514名含)</p> <p>《9月》684名</p> <p>《10月》709名</p> <p>《11月》695名</p> <p>《12月》432名</p> <p>《1月》699名</p> <p>《2月》487名(イベント41人含)</p> <p>《3月》660名</p>	【講座・イベント合計参加者数】 554人 【プラネタリウム投影事業参加者合計】 6427人	合計(歳入) 5,200円 《8月27日》 参加費(保険料+資料代) 100円/人×41人=4,100円 (歳入)4,100円-(歳出)保険料1,500円=2,600円 《2月13日》 参加費(保険料+資料代) 100円/人×41人=4,100円 (歳入)4,100円-(歳出)保険料1,500円=2,600円	手賀沼親水広場の維持管理を委託している業者の主催で開催。	A 成果・効果があった	プラネタリウムの投影を行い、水環境保全啓発施設として運営できた。 講座、イベントについては、天候に左右されるため、開催時期の選定が難しい。	A. 現状どおり推進 なし	プラネタリウム投影事業を実施する。7月以降は、水の館が改修工事で休館となるため、事業の開催はできない。	なし	なし	手賀沼課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
99	ふれあい工場の運営管理事業	クリーンセンターに持ち込まれた再使用可能な家具等の修理や、リサイクル家具バザー等での販売、知識・技術を持ったアドバイザーによる技術指導・相談の実施により、再資源化活動を支援する。	●各種リサイクル教室 【内容】傘の布で買い物袋作り、牛乳パックでミニ椅子作り、小袋作りコーナー、パッチワーク、布草履(ぞうり)作り、裂き織り、和服のリフォーム、他 【場所】ふれあい工房 【日程】通年(毎月) 【参加者】各5名程度 【対象】市内に在住・在勤・在学の方(材料費がかかる場合あり)	【来場者数】 4491人	運営委託費(アドバイザー報償費) 5,206千円 通信運搬費 221千円 水光熱・消耗品・施設修繕 554千円 清掃・警備・施設保守点検委託費 他 430千円	各種リサイクル教室の実施にあたり、我孫子市ふれあい工房運営協議会と協働。運営協議会より教室開催にあたっての技術アドバイザーを任期2年で委嘱し、開催している。	A・成果・効果があつた	アドバイザーによるリサイクルの技術指導で不要なものを再利用するなど、資源循環型社会の構築、市民と市との共同まちづくりの推進、社会福祉の向上を図れた。 ふれあい工場の運営スタッフやリサイクル教室の指導に当たる技術アドバイザーが高齢化により集まらなくなっている。 施設の老朽化により随所に修繕が必要になってきている。	A. 現状どおり推進 なし	●各種リサイクル教室 【内容】傘の布で買い物袋作り、牛乳パックでミニ椅子作り、小袋作りコーナー、パッチワーク、布草履(ぞうり)作り、裂き織り、和服のリフォーム、他 【場所】ふれあい工房 【日程】通年(毎月) 【参加者】各5名程度 【対象】市内に在住・在勤・在学の方(材料費がかかる場合あり) ●フリーマーケット・家具バザー	運営委託費(アドバイザー報償費) 5,206千円 他 計6,569千円	各種リサイクル教室の実施にあたり、我孫子市ふれあい工房運営協議会と協働。運営協議会より教室開催にあたっての技術アドバイザーを任期2年で委嘱し、開催する。	クリーンセンター
100	新たな文化交流拠点施設整備の検討	新たな文化交流拠点施設の整備に向けて、文化交流拠点施設整備調査研究業務報告書などを踏まえて、施設の機能や建設候補地などを建設構想案として取りまとめ、議会や市民の意見を聴きながら、さらに検討を進めていく。	財政シミュレーションや公共施設等総合管理計画との整合を図る必要があることから、これからの策定をまっぴら建設構想案をとりまとめることとした。	なし	なし	なし	C・わからない・未実施	なし 財政シミュレーションや公共施設等総合管理計画との整合を図る必要があるが、計画策定が平成27年度末以降となったため建設構想案をとりまとめることはできなかった。	B. 改善・見直しを行う 「我孫子市文化交流拠点施設整備専門家会議」からの提案や、これまでいただいた意見、公共施設等総合管理計画等も踏まえながら、庁内検討委員会で概算事業費と今後の財政の見込みとの比較検討を行い、建設構想案の策定を行う。	なし	なし	なし	企画課、生涯学習課
101	地域交流教室の提供	学校施設の一部を市民団体やサークル、自治会などの学習拠点として開放する。	利用推進のためホームページ、広報等で情報提供・利用募集を行った。 【提供時間】 月～日曜日の9～21時(ただし、高野山小学校は、月～金曜日の17～21時及び土・日曜日の9～21時) 【提供場所】 第一小学校、布佐小学校、湖北台西小学校、高野山小学校:1教室 湖北台東小学校:2教室 【利用件数】 第一小学校:558件 布佐小学校:133件 湖北台西小学校:458件 高野山小学校:442件 湖北台東小学校(2教室):1,363件 合計:2,954件	【地域交流教室の提供コマ数】 5,450コマ	消耗品 22,866円 手数料 38,880円 清掃委託 30,240円	使用団体には、教室の清掃を行っていた。年間を通して利用している団体には単発で使用する団体に譲っていただき、多くの団体に使用していただくように調整を行った。	A・成果・効果があつた	市民の学習ニーズに対応する生涯学習施設が不足する中、地域の生涯学習等の活動の場として広く市民に利用された。 【利用件数の対前年度比】10% 【教室の利用率(利用コマ数/総コマ数)】64% 今後も学習活動拠点の一部として市民にPRを行っていく必要がある。	A. 現状どおり推進 なし	市民の生涯学習を支援する場として、引き続き地域交流教室の利用をPRしていく。 県立湖北特別支援学校に地域交流教室を開設する。 高野山小学校は、月～土曜日の18～21時及び日曜日の9～21時に開放時間を変更する。 市内小学校の地域交流教室は7月1日から使用料として4時間ごとに100円徴収する。	申請書印刷 70,000円 消耗品 23,000円 修繕料 10,000円 手数料 39,000円 清掃委託 31,000円 県立湖北特別支援学校共益費 5,000円	使用した団体に、教室の清掃をお願いする。年間を通して利用している団体には単発で使用する団体に譲っていただき、多くの団体に使用していただくように調整を行う。	生涯学習課
102	公民館施設管理運営	生涯学習センターの建物敷地の適正な維持管理を行い、市民の学習環境を整備する。	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、警備業務を東進ビルシステムに委託し、円滑な管理運営を進める。また、施設の修繕や定期点検を実施する。 ・修繕 ミニホール照明交換工事、学習室照明修繕、消防用設備修繕、排煙窓ダンパー修繕など ・定期点検 建築設備定期検査 ・備品購入 ミニホールMD/CDデッキ購入 ・草刈業務	なし	88,188,000円 【内訳】 センター総合管理運営委託料 51,840,000円 光熱水費 18,059,183円 施設修繕 1,434,855円 他	なし	A・成果・効果があつた	生涯学習センターの建物敷地の適正な維持管理を行い、市民の学習環境の整備を行った。 開館より10年以上が経過し、施設の修繕箇所が多くなってきている。 総合管理運営業務受託者より長期修繕計画が提出されているため、修繕箇所に優先順位をつけながら予算の確保・修繕の実施が必要。	A. 現状どおり推進 なし	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、警備業務を東進ビルシステムに委託し、円滑な管理運営を進める。また、施設の修繕や定期点検を実施する。 ・修繕 消防用設備修繕、中水系統加圧ポンプ修繕、第2学習室カーテン修繕、和室襖・障子張替えなど ・定期点検 建築設備定期検査、建築物定期検査 ・備品購入 ミニホールプロジェクター ・樹木剪定、草刈業務	84,370,000円 【内訳】 センター総合管理運営委託料 53,612,000円 光熱水費 20,930,000円 施設修繕 2,074,000円 他	なし	生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
103	湖北地区公民館空調設備更新工事	老朽化した空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備する。	平成26年度に実施した空調設備更新工事設計を元に、ホール・ロビー系統の空調設備更新工事を実施。また、設計業者に工事監理を委託。 ※工事及び工事監理にかかる予算から起債対象外(処分費)を除いた金額の75%を起債、25%を市一般財源にて支出。	なし	工事費 122,763,600円 工事監理費 3,942,000円	なし	A・成果・効果があった 空調設備の更新工事に伴い、施設利用者にとってより快適な学習環境になってきている。	A. 現状どおり推進 B. 改善・見直し内容および廃止理由、代替事業の有無 なし	平成26年度に実施した空調設備更新工事設計を元に、調理室・和室・工芸工作室・第2学習室・第3学習室・資料室・調光室の空調設備更新工事を行う。また、設計業者に工事監理を委託する。 ※工事及び工事監理にかかる予算から起債対象外(処分費)を除いた金額の75%を起債、25%を市一般財源にて支出する。	工事費 40,381,200円 工事監理費 1,836,000円	なし	生涯学習課	
104	フリースポット(Wi-Fi)の提供	無線LAN(Wi-Fi)の利用状況や要望の把握を行いながら、公民館等の公共施設に無線LAN(Wi-Fi)を利用できる設備を整備しパソコン等のパケット通信が快適に利用できる環境を整える。	生涯学習センター「アビスタ」の2階オープンスペースにてインターネット環境の提供をした。	【無線LAN設置箇所】 1箇所	閲覧制限設定手数料 19,440円	なし	A・成果・効果があった 人数、接続時間等は把握できていないが、より学習環境が快適になってきている。 現在は、2階オープンスペースのサービス提供である。	B. 改善・見直しを行う アビスタ利用者の学習環境の向上等を図るため、館内におけるWi-Fiサービスの拡張に向けて、庁内の関係課と調整を図りながら検討を進めていく。	生涯学習センター「アビスタ」の2階オープンスペースにてインターネットを接続する方を対象に、インターネット環境の提供をする。	閲覧制限設定手数料 19,440円	なし	生涯学習課	
105	施設予約システムの運用	公民館をはじめとした学習施設の空き状況や施設利用の予約等について、施設の窓口の他にインターネットを利用したシステムを運用し市民の利便性の向上を図る。	公民館、近隣センターや体育施設の利用予約や空き状況の確認に、ちば施設予約システムを利用(平成27年度より)	【団体利用人数】 128,859人 【個人利用人数】 41,952人	なし	なし	A・成果・効果があった 施設予約については、全てインターネット予約としている。利用者にとってもPCや携帯電話等インターネット環境があれば、いつでも、どこでも利用できる為、利用者の利便性向上になっている。	A. 現状どおり推進 なし	平成27年度に引き続きちば施設予約システムを利用する。	なし	なし	生涯学習課、課市、民活動・支援課	
106	市民体育館管理運営	指定管理制度を活かし、良質な自主事業の提供などサービスを一層充実させるとともに、民間のノウハウを活かし利用しやすい施設づくりを進める。	アクティオ・フクシ共同事業体が指定管理者となり管理運営を行っている。(平成27年度から平成29年度までの3ヶ年)	【市民体育館利用者数】 205,508人	市民体育館管理運営費 83,159千円	なし	A・成果・効果があった 民間(アクティオ・フクシ共同事業体)のノウハウを活かし利用者の増加につながっている。 指定管理期間の再見直しを検討する余地がある。	A. 現状どおり推進 なし	引き続きアクティオ・フクシ共同事業体による管理運営	市民体育館管理運営費 86,338千円	なし	文化・スポーツ課	
107	体育施設管理運営事業、維持補修	「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、利根川ゆうゆう公園や湖北中央公園、手賀沼公園の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。また、五本松運動広場をより市民のスポーツ利用が図れるよう改修整備を行う。	●維持管理 ・市営ゲートボール場仮設トイレ修繕 ・五本松運動広場立入防止柵修繕 ・ふれあいキャンプ場トイレ修繕	【体育施設利用者数】 172,833人	体育施設管理運営事業費 11,753千円 体育施設維持補修費 13,041千円	なし	A・成果・効果があった 計画的に修繕を行ったことで体育施設の長寿命化が図れ、市民が安全で快適に施設を利用できるようになった。 体育施設が全般的に老朽化していることから、計画的に修繕を実施する必要がある。	A. 現状どおり推進 なし	●維持管理 ・上沼田、新木野少年野球場仮設トイレ取替 ・浅間前多目的広場仮設トイレ取替 ・つくし野多目的広場駐車場排水整備	体育施設管理運営費 17,320千円 体育施設維持補修費 7,411千円	なし	文化・スポーツ課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容				担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算		市民・事業者との協働	
108	武道施設の建設整備の検討	全国総合体育大会、国民体育大会で、なぎなた競技を我孫子市で開催したことや中学校の武道の必修化に伴い、日本古来からの伝統文化でもある武道のより一層の振興を図るため、武道施設の建設整備の検討をする。	地権者の意向確認を行った。	【整備進捗率】 0%	なし	なし	なし	C わからず 未実施	巨額の経費がかかることから市全体の事業を見ながら実施するため27年度は、事業を行っていない。 用地買収がまとまらない可能性がある。	B. 改善・見直しを行う 用地については、体育館西側の土地だけでなく、南側や東側での整備を視野に入れて進めていく。	引き続き地権者との交渉を行う。	なし	なし	文化・スポーツ課
109	市民体育館維持補修、改修事業	「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、市民体育館の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。	●維持補修・改修 ・メインアリーナ仕切カーテン設置工事 ・サブアリーナ照明取替工事 ・教室及び放送室空調機器取替工事 ・駐車場等照明器具増設工事 ・給水ユニットポンプ交換 ・キッズルーム修繕 ・メインアリーナ雨水管修繕・サブアリーナ南側雨漏り修繕 ・浄化槽修繕	【修繕・改修進捗率】 100%	維持補修・改修費 14,230千円	なし	A 成果・効果があった	計画的に改修を行うことにより施設の長寿命化が図れる。また、より良い環境で市民体育館を利用してもらえ、スポーツに関するニーズに対応した施設の充実が図れた。 長寿命化に向けての計画的な修繕が必要(大規模修繕が必要)	A. 現状どおり推進 なし	●維持補修・改修 ・サブアリーナ西側雨漏り修繕 ・1階トイレ修繕 ・トレーニングルーム改修 ・野球場本部席設置工事 ・体育倉庫修繕	市民体育館改修工事・維持補修費 19,954千円	なし	文化・スポーツ課	
110	学校体育施設開放事業	市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しめることができる環境を整備するため、学校施設である体育館、校庭、武道場を一般開放する。また、市民プールの代替施設として小学校の夏季休業期間中プールを開放する。	●小学校プール開放事業 《一般開放》 【日程】7月25日から8月16日までの23日間 【場所】我孫子第一、我孫子第三、我孫子第四、並木、湖北、湖北台西、根戸、新木、布佐南の9校 【参加者】12,529人 《団体開放》 【日程】7月25日から7月29日までの5日間 【場所】我孫子第二、布佐、高野山、湖北台東の3校 【参加者】374人 ●体育館・校庭の一般開放事業 年間通して全校で実施する。	【プール開放利用者数】 12,903人 【学校体育館・校庭・武道場利用者数】 200,391人	学校体育施設開放事業 22,397千円	なし	A 成果・効果があった	小学校のプールが市民プールの代替として果たす役割は大きい。体育館・校庭の一般開放事業は、空き時間がないほど利用されている。 学校プール開放事業については委託料が多額となることから、開放スケジュール等の検討。	A. 現状どおり推進 学校の体育館・校庭の開放は市民が身近な場所でスポーツに親しむことができ、また学校プールの開放は、市民プールの代替として必要不可欠な事業であるため引き続き推進していく。	●小学校プール開放事業 《一般開放》 【日程】7月30日から8月21日までの23日間 【場所】我孫子第一、我孫子第三、我孫子第四、並木、湖北、湖北台西、湖北台東、根戸、新木、布佐南の10校 《団体開放》 【日程】8月4日から8月8日までの5日間 【場所】我孫子第二、布佐、高野山、の3校 ●体育館・校庭の一般開放事業 年間通して全校で実施する。	学校開放事業費 25,883千円	なし	文化・スポーツ課	
111	ふれあいキャンプ場管理運営	市民が気軽に安心・安全にキャンプ場を利用できるよう、利用受付事務や野外用品の貸出等の維持管理運営を行う。	●ふれあいキャンプ場利用 【キャンプ場利用数】 586件、8,081人	【ふれあいキャンプ場利用者数】 8,081人	ふれあいキャンプ場管理運営費 3,339千円	なし	A 成果・効果があった	市民が安心・安全にキャンプを楽しめる場を提供した。 なし	A. 現状どおり推進 市民が身近な場所で、手軽に自然とともに過ごせる施設となっていることから、必要不可欠な事業であるため今後も現状どおり推進していく。	市民に安心・安全にキャンプを楽しめる場を提供する。	ふれあいキャンプ場管理運営 3,403千円	なし	文化・スポーツ課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
112	文化財等の保存と活用	市内に残る文化財を保存・活用することにより、我孫子の歴史の意義を広く市民に理解してもらえようとする。具体的には、価値ある文化財を保存、整備し、それらを一般公開し、誘導板や説明板等の整備を行う。また、歴史資料や考古遺物などの整理、研究の成果を分かりやすく伝える文化財展などの企画・イベントや施設運営等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●文化財説明板の設置 2基の文化財説明板の更新 ●文化財展示会の実施 【日程】2月20日～23日 【場所】市民プラザ 【内容】根戸船戸遺跡出土遺物の展示と市指定文化財 中里薬師堂薬師三尊像の展示 【参加者】1073人 ●旧村川別荘の日常管理とボランティアガイドと協働して来訪者への働きかけ 《竹灯籠の夕べ》 【日程】10月9日・10日 【参加者】1472人 《ひなのまつり》 【日程】2月23日～3月6日 【参加者】1939人 ●郷土資料室等の運営 資料貸借、保存業務 	【イベント参加者】3484人	説明板設置業務委託料 529千円 消耗品 191千円 光熱水費 439千円 通信運搬費 205千円 警備委託料 204千円 樹木管理委託料 413千円 施設管理委託料 2,592千円 施設修繕料 250千円 展示ケース制作業務委託料 1,657千円	旧村川別荘市民ガイドと日常ガイド、イベント時に協働した。	A・成果・効果があった	文化財を保存するだけでなく、整備し展示会等活用することで、多くの人々に文化財が持つ魅力を知ってもらえる良い機会となった。	A. 現状どおり推進	<ul style="list-style-type: none"> ●文化財説明板の設置 2基の文化財説明板の更新 ●文化財展示会の実施 【日程】2月中旬 ●旧村川別荘の日常管理とボランティアガイドと協働して来訪者への働きかけ 《竹灯籠の夕べ》 【日程】10月7日・8日 《ひなのまつり》 【日程】2月下旬～3月上旬 ●郷土資料室等の運営 資料貸借、保存業務 ●旧井上家住宅の保存・活用 ・二番土蔵保存整備工事 ・母屋耐震診断 ・部分公開の継続 《一部公開》 	説明板作成委託料 822千円 消耗品費 94千円 光熱水費 516千円 通信運搬費 174千円 設備点検保守委託料 98千円 警備委託料 152千円 樹木管理委託料 432千円 施設管理委託料 2,652千円 整備工事費 1,354千円	旧村川別荘市民ガイドと日常ガイド、イベント時に協働する。	文化・スポーツ課
113	杉村楚人冠記念館の保存と活用	杉村楚人冠記念館の建物と資料を保存し、杉村楚人冠について広く市民に知ってもらえるよう活用を図る。具体的には、資料の調査・研究から判明したことをまとめ展示を行い、その展示をより理解してもらうために、施設内のガイド、報告書の刊行やワークショップ、講演会などを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●春期企画展「楚人冠がみたオペラ歌手 ～三浦環・原信子」 【日程】3月10日～5月17日 【入館者】1166人 ●鑑賞会「SPレコードを聴く 三浦環と原信子」 【日程】4月26日 【参加者】29人 ●テーマ展示「見て知る、読んで知る、昭和初めの我孫子」 【日程】5月23日～7月12日 【入館者】798人 ●夏期企画展「戦時下のアサヒグラフ」 (戦後70年・我孫子市平和都市宣言30年記念平和事業) 【日程】7月14日～10月4日 【入館者】768人 ●読書会 【日程】9月26日 【場所】アビスタ 第2学習室 【参加者】26人 ●冬期企画展「杉村楚人冠と柳田國男」 【日程】10月10日～1月11日 【入館者】811人 ●講演会 【日程】11月21日 【場所】アビスタ ホール 【参加者】84人 ●テーマ展示「河村蜻山と湖畔吟社」 【日程】1月13日～2月28日 【入館者】307人 ●春期企画展「楚人冠の旅」 【日程】3月1日から(翌年度へ継続) ●茶会 【日程】3月22日 【参加者】126人 	【来訪者】2,751人	共済費 746千円 旅費 413千円 需用費 1,401千円 役務費 40千円 施設管理委託料 1,890千円 使用賃借料 275千円 備品購入費 343千円	朗読ボランティアによるイベント参加、我孫子高校茶道部による茶会の運営で協働した。	A・成果・効果があった	質の高い展示、講演会を実施しつつ、来訪者の増加と認知の向上を目指し、小中学校のみならず高校などとの連携が必要になっている。平成27年度に実施した茶会は我孫子高校茶道部との連携事業として幅広い層の来訪者があった。	A. 現状どおり推進	<ul style="list-style-type: none"> ●春期企画展「楚人冠の旅」 【日程】3月1日～5月15日(前年度より継続) ●テーマ展示「てがみ展 楚人冠の友人たち」 【日程】5月21日～7月10日 ●夏期企画展「ことばに向き合う～新聞記者楚人冠の言語論」 【日程】7月12日～10月2日 ●冬期企画展「新聞と文学と～杉村楚人冠と夏目漱石」 【日程】10月8日～1月9日 ●テーマ展示「てがみ展 楚人冠の友人たち2」 【日程】1月11日～3月5日 ●春期企画展「血闘守之助～我孫子が生んだ歯科医学の功労者」 【日程】3月7日～5月14日(翌年度継続) ●茶会 【日程】3月 	共済費 34千円 需用費 1,414千円 役務費 54千円 施設管理委託料等 1,635千円 使用賃借料 185千円 備品購入費 340千円	朗読ボランティアによるイベント参加、我孫子高校茶道部による茶会の運営で協働する。	文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
114	旧井上家住宅の保存と活用	旧井上家住宅の建物・敷地の維持管理を行いながら、建物を順次保存整備工事して後世に伝えていく。工事中も建物周囲の公開活用を図り、周知に努めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ●表門・裏門・外堀保存整備工事【期間】7月1日～3月22日 47,056,000円 ●表門・裏門・外堀保存整備工事工事監理業務【期間】7月1日～3月22日 ●二番土蔵保存整備工事実施設計【期間】5月29日～11月27日 3,629,000円 ●宇保存整備工事現地見学会【日程】1月23日【参加者】26人 ●部分公開の継続 3054人 	【保存整備工事の進捗率】100%	需用費 334千円 役務費 56千円 委託料 3,564千円 表門等保存整備工事 47,056千円 表門等保存整備工事監理業務委託 4,316千円 二番土蔵実施設計 3,629千円 電柱広告製作委託料 21千円	我孫子国際野外美術協会が、我孫子国際野外美術展オープニング会場として使用した。	A・成果・効果があつた	保存整備工事を適切に実施することができた。工事の現地見学会が好評であったため、今後も継続して実施していきたい。 文化団体・市民団体と共催イベントを実施し、今後のニーズ調査を行う必要がある。	A. 現状どおり推進	<ul style="list-style-type: none"> ●二番土蔵保存整備工事【期間】平成28年7月1日～30年7月31日(予定) ●母屋耐震診断【期間】平成28年6月1日～29年2月28日 ●保存整備工事現地見学会【日程】12月～1月実施予定 ●茶会(文化団体との共催) ●コンサート(市民団体との共催) 	需用費 556千円 役務費 71千円 委託料 10,009千円 使用賃借料 55千円 二番土蔵保存整備工事費 30,500千円	我孫子国際野外美術協会が、我孫子国際野外美術展オープニング会場として使用する。	文化・スポーツ課
115	白樺文学館の運営	大正期に我孫子に居を構えた白樺派の足跡を広く知ってもらうため、所蔵資料や作品などを活用し、企画展やイベントを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●特別企画展「我孫子・白樺派を継ぐ者—原田京平の生涯—」【日程】3月1日(日)～5月24日(日)(前年度より継続)【入館者】1123人 ●座談会「我孫子・白樺派を継ぐ者—原田京平を語る—」【日程】5月9日(土)【場所】アピスタ【参加者】48人 ●常設テーマ「白樺派と我孫子」【日程】5月27日(水)～10月25日(日)【入館者】1697人 ●民藝運動と我孫子【日程】1月27日(水)～6月26日(日)【入館者】1676人 ●他団体共催事業「湖北地区公民館共催イベント朗読発表会」【日程】9月26日(土)【場所】湖北地区公民館【参加者】26人 ●企画展「歌人 原田京平と窪田空穂」【日程】平成27年10月29日(木)～平成28年1月24日(日)【入館者】857人 	【入館者】3,874人	共済費 698千円 旅費 224千円 需用費 2,958千円 役務費 130千円 委託料 1,605千円 使用賃借料 203千円 工事請負費 144千円 備品購入費 140千円	ピアノスタッフ、朗読スタッフとともにイベントを実施	A・成果・効果があつた	柳兼子のピアノBGM演奏や朗読会の開催で新たな来館者層を獲得し、来館者数の底上げになった。 原田京平を通じた白樺派研究の深化と認知向上	A. 現状どおり推進	<ul style="list-style-type: none"> ●常設テーマ「民藝運動と我孫子」【日程】2月24日(水)～10月30日(日)(前年度より継続) ●他団体共催事業「湖北地区公民館共催イベント朗読発表会」【日程】7月・11月・3月【場所】湖北地区公民館 ●企画展「画家 原田京平と山本鼎」【日程】11月2日(水)～1月29日(日) 	共済費 954千円 旅費 214千円 需用費 2,763千円 役務費 308千円 委託料 1,624千円 使用賃借料 204千円 備品購入費 87千円	ピアノスタッフ、朗読スタッフとともにイベントを実施	文化・スポーツ課
116	手賀沼文化拠点整備計画の推進	我孫子市内には、古墳や郡衙(くんが)などの遺跡、戦国時代の城跡、江戸時代の宿場、大正時代の別荘、文人たちの旧居など、多時代に亘る数多くの史跡が、沼と樹林地、丘陵と一体となって所在しており、それらを単に保存、維持することだけでなくとどまらず、一体のものとして連携させ、積極的な整備、活用を図っていくことが求められている情勢を踏まえ、手賀沼沿いに点在する多くの文化ポイントのネットワーク化を行い、体系だった整備、活用を進める。	なし	なし	計画策定時に市民委員が参加	A・成果・効果があつた	都市計画道路の進捗に備え、関係課長会議を開催して情報収集と共有をはかった。また関係する新規補助金等がある場合は積極的に活用して事業化するよう、関係課に働きかけた。 都市計画道路の進捗状況によって、ハード整備事業の着手が制約されるため、当面の間、ソフト事業のみの展開となる。	A. 現状どおり推進	関係各課の事業進行管理を行い、有利な補助金等がある場合は積極的に活用するよう、企画財政部とも協調していく。	なし	なし	文化・スポーツ課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
117	移動図書館業務	移動図書館そよかぜ号の巡回により、図書館に来館しにくい地域に居住する高齢者や、乳幼児を連れて親子等に学習の機会を提供する。	移動図書館そよかぜ号が水・木・金の午後14ステーションを巡回して、貸出・返却等のサービスを提供した。平成27年度から、移動図書館をより利用しやすくするため、水・木・金の祝日も運行した。 【年間貸出冊数】 24,351冊	【移動図書館巡回ステーション年間貸出冊数】 24,351冊 (1,934冊減(-7.4%))	図書館窓口業務委託料 10,356千円 燃料費 40千円 看板設置委託料 160千円	青山台及び久寺家ステーションで、市民スタッフ(読書普及担当)によるおはなし会「そよかぜおはなしタイム」を開催し、ステーションを訪れる子どもや保護者に対して、絵本の読み聞かせを実施した。	A・成果・効果があつた	天候不順による中止も多いが、27年度は祝日も巡回したことにより、減少幅が小さくなった。 移動図書館の巡回は、図書館から離れた地域の利用者にとって必要であり、一定の成果を上げている。 利用の少ないステーションに対して、引き続き利用が増えるようPR等工夫する必要がある。	B.改善・見直しを行う	移動図書館そよかぜ号が水・木・金の午後14ステーションを巡回して、貸出・返却等のサービスを提供する。移動図書館をより利用しやすくするため、水・木・金の祝日も運行を行う。	図書館窓口業務委託料 10,356千円 燃料費 69千円 看板設置委託料 173千円	青山台及び久寺家ステーションで、市民スタッフ(読書普及担当)によるおはなし会「そよかぜおはなしタイム」を開催し、ステーションを訪れる子どもや保護者に対して、絵本の読み聞かせを実施した。	図書館
118	湖北地区図書館の整備	現在の市民図書館湖北台分館は面積・設備・機能面で十分な図書館とは言えないことから、湖北地区の利用者への直接サービスの拠点として、湖北地区図書館を建設する。	企画課が中心となって、湖北台地区公共施設整備に係る関係課長会議を1回開催した。	【庁内検討会議の開催数】 1回	なし	なし	A・成果・効果があつた	湖北台地区公共施設整備に係る関係課長会議が開催された(1回)	A.現状どおり推進	湖北地区図書館を含め、湖北台地区公共施設については、都市計画道路整備事業による若草幼稚園の移転内容を踏まえた上で整備することになった。中里地区に消防署等を建築するための基本調査を行い、この結果を踏まえて企画課を中心として整備方針を策定する。	なし	なし	図書館
119	図書館会議室及び展示スペースの提供	図書館の会議室や展示スペースを活用し、市民の自主的な学習の機会と発表の場を提供する。	・布佐分館会議室を貸し出す。 ・湖北台分館・布佐分館の館内壁面をミニギャラリーとして市民に提供する。 ＜布佐分館＞ 第1会議室 54回 第2会議室 53回 ミニギャラリー 12回 ＜湖北台分館＞ ミニギャラリー 12回	【布佐分館会議室の年間利用回数】 107回(6回増(+5.9%))	嘱託職員報酬他 208千円	なし	A・成果・効果があつた	ミニギャラリーは、湖北台分館、布佐分館ともに予約が1年先まで入るほど盛況であり、今後も継続していく必要がある。 布佐分館の会議室利用において、第1会議室は前年度比8件減だったが、第2会議室は14件増となった。 引き続き利用促進のためのPR等に努める必要がある。	A.現状どおり推進	布佐分館会議室を貸し出す。湖北台分館・布佐分館の館内壁面をミニギャラリーとして市民に提供する。 ＜布佐分館＞ 第1会議室(申請に応じて随時)、第2会議室(申請に応じて随時)、ミニギャラリー(年12回予定) ＜湖北台分館＞ ミニギャラリー(年12回予定)	嘱託職員報酬他 225千円	なし	図書館
120	鳥の博物館管理運営	鳥の博物館内の照明・空調等の更新や、展示のための壁面修繕、配線工事を実施するなど、施設の維持管理を行う。	空調設備修繕、非常放送設備更新、非常ドア修繕、誘導灯・非常照明交換、展示室壁面塗装など	なし	空調設備修繕 1,263千円 非常放送設備更新 670千円 非常ドア修繕 341千円	なし	A・成果・効果があつた	上記修繕箇所完了 これまでどおり、利用者に安全で快適な館内環境を提供することが可能となった。	A.現状どおり推進	身障者用トイレ自動ドア電気錠交換 バルコニータイル修繕 暗幕張替 窓枠塗装及び屋根防水部分修繕 3階換気設備部品交換 内部塗装修繕(1階スチールドア、2・3階ドア枠等)など	修繕費 1,691千円	なし	鳥の博物館
121	鳥の博物館空調設備更新工事	施設の老朽化により、空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備する。	空調設備更新工事に伴う設計業務を委託した(H27.5.1～8.31)	なし	設計業務委託料 2,722千円	なし	A・成果・効果があつた	設計業務の完了により、空調工事入札にかかる金額の積算と設計図書が完成した。	A.現状どおり推進	空調設備工事実施(工事期間はH28.11～H29.1)	空調設備更新工事費 90,116千円 空調設備更新工事監理業務委託費 3,110千円 暖房機器賃借料 44千円	なし	鳥の博物館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
122	鳥の博物館 展示リニューアル	科学の進歩に合わせた情報の更新や時代に沿った展示手法の導入により、信頼のおける情報の提供を行い、展示の基本となる収蔵資料の保管・管理機能の充実を図る。	常設展示 平成28年2月 2階「手賀沼の自然と鳥」コーナーにタッチ式デジタルサイネージを設置。手賀沼の鳥や自然環境の変化に関する最新情報を、映像や音声を使って提供し、常設展示のリニューアル実施までの補完としての情報のアップデートを行った。 平成28年3月 3階展示室「鳥の起源と進化」コーナーの展示パネル2枚を交換した。鳥の起源と進化に関する最新情報の提供と分類に関する展示内容の情報整理を行った。 常設展示のリニューアル実施について、第8期実施計画に組み入れた。	【入館者数(年間)】 36,049人	なし	日頃から来館者アンケート、市民スタッフや友の会会員の意見を聞いたことを今後の計画づくりに取り入れていく。	A・成果・効果があつた なし	入館者数の増(H26 34,073人→H27 36,049人)常設展示のリニューアル実施までの時期を補うための展示情報のアップデートが実現できた。これにより、来館者への解説がスムーズになった。今後も科学の進歩にあわせて、情報の更新や時代に沿った展示方法を検討・実施する。 なし	A. 現状どおり推進 なし	常設展示 空調工事で休館中に、常設展示の中で、補完すべき情報を整理し、これを解説したちらしを作成する(開館時にパンフレットスタンドに設置する)。また、今後計画されている常設展示のリニューアルに向けて必要な資料を収集整理する。	なし	来館者アンケートや、市民スタッフ、友の会会員の意見を今後の計画づくりに取り入れていく。	鳥の博物館
②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用			②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用					②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用					
123	手賀沼ふれあいウォーク	手賀沼周囲のウォーキングを実施し、健康における運動習慣の重要性を啓発する。	●手賀沼ふれあいウォーク 【日程】11月21日(土) 【場所】手賀沼公園 【主催】手賀沼ふれあいウォーク実行委員会(実施主体は、千葉県ウォーキング協会、我孫子市と柏市の共催) 【人数】658人 【対象者】市民	【手賀沼ふれあいウォーク参加者数】 658人	実行委員会負担金 481,000円	●手賀沼ふれあいウォーク 手賀沼ふれあいウォーク実行委員会主催。実施主体は、千葉県ウォーキング協会、我孫子市と柏市の共催。	A・成果・効果があつた	当日は、天候にも恵まれ、参加者が前年度494人に比べ大幅に増加した。年々参加者が増加していることから、イベントの周知だけでなく、運動習慣の重要性も多くの人に知ってもらえる機会を提供できた。 ガス展との同日開催ができない場合の、賑わいの創出が必要である。	A. 現状どおり推進 なし	【日程】11月19日(土) 【場所】手賀沼公園 【人数】約600人	実行委員会負担金 603,760円	●手賀沼ふれあいウォーク 手賀沼ふれあいウォーク実行委員会主催。実施主体は、千葉県ウォーキング協会、我孫子市と柏市の共催。	健康づくり支援課
124	近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進	近隣市町との体育施設の相互利用や、民間等の体育施設の一般開放を進めることにより、市に不足している施設を補充し市民が気軽にスポーツに触れ楽しめる環境を整備する。	取手グリーンスポーツセンター温水プール(1施設)、民間施設温水プール(1施設)、川村学園女子大学グラウンド(1面)を一般市民に開放した。	【相互利用している近隣市・市民一般開放している民間企業の体育施設数】 3箇所	なし	なし	A・成果・効果があつた	近隣市や民間と連携し、体育施設を一般開放し市民がスポーツに触れる場を提供できた。 テニスコートについては、資産売却がされたため利用できなくなった。	A. 現状どおり推進 なし	民間施設温水プール(1施設)、川村学園女子大学グラウンド(1面)を一般市民に開放する。 取手市との相互利用の継続。	なし	なし	文化・スポーツ課
125	手賀沼エコマラソン支援事業	「よみがえる手賀沼をさわやかに走ろう！」をキャッチフレーズに、「手賀沼の浄化」と「地域の活性化」をランナーとともにアピールするため、柏市と共同でマラソン大会を開催する。	●第21回手賀沼エコマラソン 【日程】10月25日(日) 【対象】 ・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者 ≪柏・我孫子市民≫2,000人 ≪一般≫6,000人 【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン) 【参加者数】7,997人 【目的】 (1)手賀沼浄化啓発活動の推進 (2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール (3)健康増進の奨励 (4)社会の活性化とスポーツ文化の振興 【共催】柏市	【手賀沼エコマラソン参加者数】 7,997人	手賀沼エコマラソン負担金 3,550千円	大会運営について一般市民のボランティア・体育協会・各関係機関の協力を仰ぎ実施した。	A・成果・効果があつた	マラソン大会100選にも毎年選出されるほどに人気を誇り、スローガンである手賀沼浄化の啓蒙にもつながっている。柏市と連携し、手賀沼を走るマラソン大会を開催した。	A. 現状どおり推進 なし	●第22回手賀沼エコマラソン 【日程】10月30日(日) 【対象】 ・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者 ≪柏・我孫子市民≫3,000人 ≪一般≫6,000人 【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン) 【参加者】9,000人 【目的】 (1)手賀沼浄化啓発活動の推進 (2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール (3)健康増進の奨励 (4)社会の活性化とスポーツ文化の振興 【共催】柏市	手賀沼エコマラソン大会負担金 3,537千円	大会運営について一般市民のボランティア・体育協会・各関係機関の協力を仰ぎ実施する。	文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働		
126	市外図書館・大学・関係機関との連携協力	千葉県立図書館・県内市町村立図書館・国会図書館・大学図書館など関係機関と連携して、図書資料の相互貸借や図書館の相互利用を行い、市民の幅広いニーズに対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ●相互協力事務担当者会議 【日程】6月11日(木) 【場所】千葉県立西部図書館 ●千葉県立図書館巡回車(週1回) ●千葉県公共図書館協会 《総会》 【日程】5月20日(水) 【場所】千葉県立中央図書館 《館長会議》 【日程】3月17日(木) 【場所】千葉県立中央図書館 《第3ブロック会議》 【日程】2月12日(金) 【場所】柏市立図書館 《参考郷土等研修委員会》 【日程】7月1日(水)、9月16日(水) 【場所】千葉県立中央図書館 ●相互貸借申込 【他図書館への貸出(A)】 2,017冊 【他図書館からの借入(B)】 7,998冊 【年間相互貸借冊数(A+B)】 10,015冊 	【年間相互貸借冊数】 10,015冊	嘱託職員報酬他 1,770千円 事務用消耗品 13千円 普通旅費 5千円	なし	A 成果・効果があつた	年間相互貸借冊数は、2,209冊増(+28.3%)となっており、市民の多種多様で旺盛な資料要求に応えることができた。また、相互協力事務担当者会議等にも出席するなどして、他の図書館との連携を深めた。	A. 現状どおり推進	<ul style="list-style-type: none"> ・相互協力事務担当者会議(年2回) ・相互貸借申込み(通年、随時) ・千葉県立図書館巡回車(週1回) ・千葉県公共図書館協会「総会(年1回)、館長会議(年1回)、ブロック会議(随時)、参考郷土等研修部会(随時)等」 ・市内大学との打合せ 	嘱託職員報酬他 1,883千円 事務用消耗品 12千円 普通旅費 12千円	なし	図書館	
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり			基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり					基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり						
①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充			①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充					①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充						
127	生涯学習出前講座の運営	No.91に同じ												生涯学習課
128	生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録	自ら培った経験や技術、知識を地域に活かし、市民の生涯学習活動を積極的に応援していただける方を「市民講師」として登録し、まちの生涯学習のリーダーとして、市民の生涯学習のきっかけづくりを行ってもらうとともに、学びの輪を地域に広げてもらう。	生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供した。 【講座登録数】 市民講師メニュー136講座(平成28年3月31日現在) 【講師登録数】 講師62人と6団体の登録(平成28年3月31日現在)	【新規登録数】 8人、1団体	なし	市民講師として新規に8人にボランティア登録してもらった。また、我孫子市社会福祉協議会が3講座開設した。	A 成果・効果があつた	市民講師の登録数は増加している。市民講師として、積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。	A. 現状どおり推進	生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供する。	なし	なし	生涯学習課	
129	生涯学習人材バンクの整備	No.23に同じ												生涯学習課
130	アビスター一時保育事業	生涯学習施設を利用する子育て中の利用者のために、保育スタッフを活用して一時保育の環境を充実させ、学びたい時に学べる学習機会の提供を図る。	【日程】4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全70回 【場所】生涯学習センターアビスタ 託児室、湖北地区公民館 和室 【内容】子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児。 【対象】子育て中の生涯学習施設利用者 <託児対象児>2歳から就学前までの幼児 【参加者】利用者227人、保育ボランティアスタッフのべ178人 【利用者内訳】 《毎週水曜日》54回、157人 《公民館事業(家庭教育学級、プチ家庭教育学級、のびのび親子学級家庭教育学級合同講演会等)》16回 70人	【保育利用者】 227人	保育スタッフ報償費 75千円 通信費 5千円 保険料 38千円 飲料費 1千円	市民保育ボランティアスタッフとして10人(のべ178人)に参加してもらった。	A 成果・効果があつた	利用対象がほぼ2歳児に限定されるため人数の増減はあるが、繰り返し利用される方が多いため、利用者の満足度は高い。	B. 改善・見直しを行う	【日程】4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全68回 【場所】生涯学習センターアビスタ 託児室、湖北地区公民館 和室 【内容】子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児。 【対象】子育て中の生涯学習施設利用者 <託児対象児>2歳から就学前までの幼児	保育スタッフ報償費 110千円 通信費 5千円 保険料 38千円 飲料費 1千円	市民保育ボランティアスタッフに活動の補助を担ってもらう。	生涯学習課	
131	生涯学習ボランティア	No.24に同じ												生涯学習課 他

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
132	文化事業市民スタッフ	教育委員会が主催・共催する文化事業の実施にあたって市民スタッフを活用し、受付、設営、会場整理等の業務を行う。	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施した。 【委嘱期間】4月1日～3月31日 【委嘱人数】34人 【派遣件数】9件【派遣人数】90人(延べ) 【派遣件名】天心映画上映会、我孫子市民フィル定期演奏会、めるへん文庫原画展、市民コンサート、郷土芸能祭、文化財展寄贈絵画展、フレッシュコンサート、茶会(杉村)、めるへん文庫表彰式 【業務内容】入場者の受付に関する業務、開場の案内及び整理に関する業務、出演者の接待に関する業務、会場及び設備に関する業務、その他補助的業務	【登録人数】90人	報償費 45千円	文化事業を裏方で支えたい市民が登録し、事業の担い手になってもらった。	A・成果・効果があつた なし	26年度より委嘱人数が増加したことから市民の意識が良い方向へ変わってきている。 なし	A. 現状どおり推進 なし	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施します。 【委嘱期間】4月1日～3月31日	報償費 60千円	文化事業を裏方で支えたい市民が登録し、事業の担い手になってもらう。	文化・スポーツ課
②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充													
133	防災士及び災害救援ボランティア育成事業	防災士と災害救援ボランティアの認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【日程】11月14日(土)21日(土)28日(土) 【場所】中央学院大学・消防本部 【参加者】一般10名(男性9名・女性1名)学生4名(男性3名・女性1名) 【対象者】市民、市内の大学在学者、市内の事業所在勤者 ●防災士補助金交付 防災士の資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【日程】随時 【交付人数】1名 【補助額】受講料、試験料及び登録料の3分の2以内、4万円を上限とする。 【対象者】市民(自治会、自主防災組織の推薦を受けた者)	【災害救援ボランティア講座の受講者数】 14人(一般10人、学生4人) 【防災士 受験者数】 1人 ●災害救援ボランティア補助金 《一般》 73,600円 (9,200円×8人) 《学生》 20,100円 (6,700円×3人) ●防災士 補助金 40,000円 (40,000×1人)	●第6回災害救援ボランティア講座 災害救援ボランティア推進委員会が講座の運営を行い、市民安全課は申請があつた受講者に対する助成金交付を行った。 また、中央学院大学に協力していただき、教室を借用、学生の受講者募集を行った。	A・成果・効果があつた	●第6回災害救援ボランティア講座 例年に比べ、参加者が少なかったが、学生に比べ一般参加者が多いことは、地域での防災への意識が高くなっていると感じた。 ●第6回災害救援ボランティア講座 参加者を増やすための、工夫が必要である。	A. 現状どおり推進 なし	●第7回災害救援ボランティア講座 防災士及び災害救援ボランティア認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【開催日程】11月5日(土)、12日(土)、26日(土) 【開催場所】中央学院大学・消防本部 【募集人数】一般10名 学生20名 計30名 【対象者】市民、市内の大学在学者、市内の事業所在勤者 ●防災士補助金交付 防災士の資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【日程】随時 【補助額】受講料、試験料及び登録料の3分の2以内、4万円を上限とする。 【対象者】市民(自治会、自主防災組織の推薦を受けた者)	●災害救援ボランティア補助金 《一般》 92,000円 (9,200円×10人) 《学生》 201,000円 (6,700円×30人) ●防災士 補助金 80,000円 (40,000×2人)	●第7回災害救援ボランティア講座 災害救援ボランティア推進委員会が講座の運営を行い、市民安全課は申請があつた受講者に対する助成金交付を行う。 中央学院大学に協力していただき、教室を借用、学生の受講者募集を行う。	市民安全課		
134	失語症会話パートナー養成講座	失語のある人のコミュニケーションを支援するため、市民を対象に失語に関する知識と会話技術に関する講習と実習を行う。	●失語症会話パートナー養成講座 失語のことをよく理解し、コミュニケーションを補いながら一緒に会話できる失語症パートナーを養成するため、市民を対象に失語に関する基礎知識と会話技術に関する講習を開催した。 【開催場所】障害者福祉センター・保健センター 【実施回数】3回 【参加者数】延べ18人 【対象】我孫子市在住の方 【費用】無料	【失語症会話パートナー延べ派遣人数】 350人 【失語症会話パートナー登録者人数】 24人	失語症会話パートナー派遣事業報償費 284,000円 失語症会話パートナー養成講座 20,000円	年1回、失語症会話パートナー派遣事業説明会を開催し、事業に関する意見を聴取している。また、失語のある人から適宜要望を聴取している。	A・成果・効果があつた なし	27年度は、講座の前後に失語のある人と15分間の自由会話を行い、観察評価尺度を用いて講習の効果を検証した。失語に関する基礎知識と会話技術に関する講習を開催した。 【開催場所】障害者福祉センター・保健センター 【実施回数】1回 【定員】12人 【対象】我孫子市在住の方 【費用】無料	失語症会話パートナー派遣事業報償費 303,000円 失語症会話パートナー傷害保険 133,000円	年1回、失語症会話パートナー派遣事業説明会を開催し、事業に関する意見を聴取する。また、失語のある人から適宜要望を聴取する。	障害者福祉センター		
135	介護予防サポーター養成講座	介護予防に関する知識や技術を地域の人々に普及啓発していく、高齢者の介護予防活動のリーダーを育成し支援する。	平成28年度から開始事業のため実績なし	なし	なし	なし	C・わからない・未実施 なし	なし なし	【開催場所】市民プラザ アビスタ 【開催期間】平成28年5月25日～11月30日(開催期間中、1団体あたり4回研修を実施) 【内容】認知症予防運動プログラム(コグニサイズ)、ストレッチ、尿もれ体操、口腔機能向上の体操等、介護予防に特化したプログラムの提供 【対象者】きらめきデイサービスボランティア、強化型きらめきデイサービスの開設予定している団体、体操指導の要請があつた団体	介護予防事業講師報償費 320千円 リーダー育成事業用消耗品 22千円 強化型きらめきデイサービス事業委託料 432千円	なし	高齢者支援課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
136	子育てサポーター養成講座	核家族化により子育てに不安を持つ世帯の増加や、地域・家庭における子育て力の低下が認められる中、子育てを支援する人材を育成し、地域における子育て力を強化するため、子育てサポーター養成講座を開講し、子育てサポーターを養成する。	<p>●子育てサポーター養成講座 《基本講座》 【日程】6月25日(木)、7月2日(木)、7月9日(火)、7月16日(木)、7月23日(木)、7月30日(木)、8月4日(火)、9月8日(火)、10月8日(木) 全9回 【内容】こどもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など 【対象】市内在住または近隣市町在住の20歳以上の方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方 《保育園実習(保育園見学・参加実習)》 【日程】9月15日(火)から9月29日(水)のうち2日間 《フォローアップ講座》 【日程・内容】1月26日(火) 保育の実践につながる講習会(講義)、保育の実践につながる講習会(実技) 他 2月4日(木) 具体的な問題点、疑問点への対応策の検討 ◎子育てサポーター新規認定者 9人</p> <p>●スキルアップ講座 【日程・内容】10月13日(火) サポーターのためのサポート講座 25人 3月4日(金) ボランティアを楽しもう part2 16人</p>	【子育てサポーター人数】75人(新規9人)	子育てサポーター養成講座講師謝礼 210,000円 スキルアップ講座講師報償費 20,000円 子育てサポーター活動報償費 150,000円 子育てサポーター養成講座テキスト印刷 140,000円	子育てサポーター養成講座を受講し、修了した方の中から「子育て応援隊」として活動し、子育てで家庭の訪問やまた市民団体「スマイル・ママ」や「HAPPYタイムの会」として自主活動に取り組んでいる。	A 成果・効果があつた	平成27年度は、9人の新規サポーターを加え、75人となった。活動への意識の高いサポーターは、子どもの見守りや家庭への訪問活動に積極的に参加し、子育てを支援する人材育成の機会としての成果があつた。	A. 現状どおり推進	<p>●子育てサポーター養成講座 《基本講座》 【日程】6月23日(木)、6月30日(木)7月8日(金)、7月15日(金)、7月22日(金)、7月28日(木)、8月3日(水)、9月6日(火)、10月14日(金) 全9回 【内容】こどもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など 【対象】市内在住または近隣市町在住の20歳以上の方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方 【定員】30人 《保育園実習(保育園見学・参加実習)》 【日程】9月12日(月)から9月30日(金)のうち2日間 《フォローアップ講座》 【日程・内容】1月31日(火) 保育の実践につながる講習会(講義)、保育の実践につながる講習会(実技) 他 2月10日(金) 具体的な問題点、疑問点への対応策の検討</p> <p>●スキルアップ講座2回予定 【日程・内容】10月 未定 1月または2月 未定</p>	子育てサポーター養成講座講師謝礼 160,000円 スキルアップ講座講師報償費 20,000円 子育てサポーター活動報償費 450,000円 子育てサポーター養成講座託児活動報償費 30,000円	子育てサポーター養成講座を受講し、修了した方の中から「子育て応援隊」として活動してもらおう。	保育課
137	環境レンジャー活動への支援	環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成し、市内の行事に参加してもらうことで市民の環境保全活動を支援する。	<p>●ネイチャー・イン 【日程・参加者】 《鎮守の森にネイチャーイン》 5月17日 18人 《ホテル観賞会》 7月25日 96人 《巣箱外し・巣箱調査》 10月19日 5人 《谷津ミュージアム自然観察会》 10月24日 18人 《手賀沼の冬鳥船上観察会》 1月31日 27人 《紙飛行機工作と飛行大会》 3月20日 61人</p> <p>●Enjoy手賀沼！ブース出展 【日程】5月10日 【場所】手賀沼親水広場 【内容】パネル展示及び生き物ぬり絵の実施 【参加者】335人</p> <p>●環境レンジャー通信「たまつけ」の発行 【日程】年3回(4、10、1月) 【場所】各小中学校及び公共施設の配布 【部数】約1,000部/回</p> <p>●エコ・こども教室 【日程】10月18日 【内容】手賀沼流域フォーラム我孫子地区イベントとして、夏休み自由研究作品の手賀沼賞受賞者5人の作品発表会を実施。 【場所】アビスタ 【参加者】419人</p> <p>・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】16名</p>	<p>・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】16人</p> <p>【内訳】 消耗品費 8,424円 船借り上げ料 20,000円</p>	市民の環境保全活動を支援するために市内の行事に環境レンジャー(ボランティア)の参加協力。	A 成果・効果があつた	環境レンジャーの行事への参加や、活動報告等、当初の予定通りに業務を遂行できた。	B. 改善・見直しを行う	<p>●ネイチャー・イン企画の開催を行う。</p> <p>●Enjoy手賀沼！ブース出展をする。</p> <p>●環境レンジャー通信「たまつけ」の発行をする。</p> <p>●エコ・こども教室を開催する。</p> <p>●次世代の環境レンジャーを育成するため、環境レンジャーサポーターを募集し、環境レンジャーに必要なスキルを習得する。</p>	70,000円 【内訳】 消耗品費 50,000円 船借り上げ料 20,000円	市民の環境保全活動を支援するために市内の行事に環境レンジャー(ボランティア)の参加協力。	手賀沼課	

N O	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働	
138	緑のボランティアの森づくり	森づくり作業を通じて、自然に対する理解と愛着を深めてもらうとともに、市内に残る貴重な緑地を保全する。	●市民の森&古利根みどりのボランティア定例活動日 ≪古利根自然観察の森活動≫ 【日程】偶数月第2土・奇数月第2日 ≪古利根沼べり活動≫ 【日程】毎月第3水 ≪中里市民の森活動≫ 【日程】偶数月第4日 ≪岡発戸市民の森活動≫ 【日程】奇数月第4日	【我孫子市みどりのボランティア登録人数】 347人 (内、古利根みどりのボランティアと登録人数 39人)	消耗品費 52,215円 運搬・処分委託料 47,520円 原材料費 49,877円 備品購入費 19,800円	市内の緑地(古利根沼周辺・岡発戸市民の森・中里市民の森)において、森の保全活動を行った。また、樹木の植栽など、森の再生につながる活動を行った。 ≪協同団体≫ 市民の森&古利根みどりのボランティア	A・成果・効果があつた	会員同士の森づくりの共通認識が図れてきており、森の保全から再生へと活動を広げ始めている。 また、定例活動日以外の有志活動や、会員自身が住んでいる地域の森づくりをされている方もおり、ボランティアによる緑の保全活動の拡がりにつながってきている。	A. 現状どおり推進	●市民の森&古利根みどりのボランティア定例活動日(予定) ≪古利根自然観察の森活動≫ 【日程】偶数月第2土・奇数月第2日 ≪古利根沼べり活動≫ 【日程】毎月第3水 ≪中里市民の森活動≫ 【日程】毎月第4日 ※岡発戸市民の森活動は、岡発戸市民の森整備工事を実施することから今年度は休止し、中里市民の森での活動に充てている。	消耗品費 73,000円 運搬・処分委託料 50,000円 原材料費 50,000円	市内の緑地(古利根沼周辺・岡発戸市民の森・中里市民の森)において、森の保全活動を行う。また、樹木の植栽など、森の再生につながる活動を行う。 ≪協同団体≫ 市民の森&古利根みどりのボランティア	公園緑地課
139	生涯学習出前講座市民講師の共同研修の実施	生涯学習出前講座市民講師の共通認識の向上と、講座の内容充実を図るため、市民講師を対象とした研修会等を行う。	平成28年2月に市民講師登録者・団体全員を対象に学習会を実施。平成27年度事業の報告、講演会を行う。 【研修日】平成28年2月26日(金) 【場所】アビスタ 第1学習室 【出席者】20人 【内容】 ・平成27年度事業報告 ・更新手続き ・講演「我孫子の指定文化財について～その現状と課題～」 講師：文化・スポーツ課 辻 史郎氏	なし	飲料費 3 千円	なし	A・成果・効果があつた	市民講師に、改めて出前講座の趣旨と目的について説明することで、講師が共通認識を持つことにつながった。活動報告をすることで、事業の状況を理解してもらうことができた。 我孫子に関する講義を受けることにより、地域への関心を高め、市民講師としての自覚を再確認してもらった。 様々な経験や専門知識を持つ市民講師に対して、有意義であったと思ってもらえる講義を探すことに苦慮している	B. 改善・見直しを行う	平成28年度は学習会は実施せず、平成29年度開催予定。	なし	なし	生涯学習課
140	生涯学習審議会委員の研修	生涯学習や社会教育に関する知見を深めてもらうとともに、委員間の連携強化を図るため、研修会を実施する。	なし	なし	なし	なし	C・わからない・未実施	なし	なし	あひこ案校協議会と社会教育委員が統合となり、生涯学習審議会発足にあたり、審議会委員の研修を行う。 【実施回数】2回実施予定 生涯学習審議会の社会教育に関する知識を深めるため、東葛飾地区6市と合同で研修会を行う。 ●東葛飾地区社会教育連絡協議会研修会 【日程】8月23日(火) 【場所】野田市中央公民館 【内容】学識経験者から生涯学習についての講演を聴く。 ●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係職員等合同研修会 【日程】1月17日(火) 【場所】鎌ヶ谷市 【内容】社会教育関連施設等の視察、社会教育関係の有識者、行政担当者等による講話	●東葛飾地区社会教育連絡協議会研修会 会議報酬 35,000円 (3500円×10人) ●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係職員等合同研修会 会議報酬 35,000円 (3500円×10人)	なし	生涯学習課
141	スポーツ指導者の研修制度の確立	市民の多様化するスポーツニーズに対応するため、市独自のスポーツ指導者の研修制度を検討し、確認する。スポーツ指導者の方向性を統一し、我孫子市のスポーツ活動が安全・安心に展開できるよう指導者の育成を図る。	他市の事例を研究した。	なし	なし	なし	B・あまり成果がなかった	市独自のスポーツ指導者の研修制度確立に向け検討した。	A. 現状どおり推進	研修制度の確立へ向け、NPO法人我孫子市体育協会と開催について協議を行う。	なし	なし	文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算
③学んだ成果を評価するしくみの構築												
142	市民コンサート	市内や近郊の音楽愛好家の交流を図るとともに、多くの市民に音楽を演奏することの素晴らしさを身近に感じてもらえるよう、教育委員会、我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団が実行委員会を組織して、コンサートを開催する。	●市民コンサート 【日程】12月19日(土)、20日(日) 【入場者】825人 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【出演者】我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団	【来場者数】 825人	負担金 200千円	市民参加で実行委員会を組織し、企画・立案から実施までを担った。	演奏会を実施し、市民が中心の観客に音楽の素晴らしさをアピールできた。 なし	A. 現状どおり推進 なし	●学んだ成果を評価するしくみの構築 【日程】12月17日(土)、18日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【出演者】我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団	負担金 200千円	市民参加で実行委員会を組織し、企画・立案から実施までを担う。	文化・スポーツ課
143	市民参加型コンサート	市内音楽愛好家の交流の場と成果を発表する機会を提供するため、市内在住、在勤、在学等の方が出演するコンサートを開催する。	●市民参加型コンサート 【事業名】フレッシュコンサート 【日程】2月21日(日) 【内容】市ゆかりの高校生や大学生の若手演奏家が出演し発表する音楽会(教育委員会の主催で実施) 【参加者】203人 【開催場所】市民プラザ ホール	【参加者】 203人	需用費 76千円 委託料 367千円	市民の学生が演奏を行った。	文化財展・寄贈絵画展とコラボ開催し、今までの参加者と異なる層の来場者を得ることができた。 コンサートを通し、交流の場と成果を発表する機会を提供できた。	A. 現状どおり推進 なし	●市民参加型コンサート 【事業名】未定 【日程】2月下旬日(日) 【内容】市ゆかりの高校生や大学生の若手演奏家が出演し発表する音楽会(教育委員会の主催で実施) 【開催場所】市民プラザ ホール	需用費 78千円 委託料 423千円 使用料 10千円	市民の学生が演奏を行う。	文化・スポーツ課
144	文化祭	多くの市民が参加し、文化芸術に触れ親しむ機会を提供するとともに、市民の文化芸術に関する関心を高める。	●市民文化祭 【内容】市民の手で市民が作る文化の祭典。教育委員会の主催で実施。 【日程】9月21日(月・祝)～12月13日(日) 【場所】アピスタ、湖北地区公民館、我孫子市民プラザ、我孫子南近隣センター、けやきプラザ、つくし野コミュニティホール、我孫子北近隣センターつくし野館 【開催部門】絵画、茶道、謡曲、民謡、舞踊、アルゼンチンタンゴ、日本舞踊、詩吟、三曲、洋舞、華道、書道、吹奏楽、合唱、さつき、囲碁、軽音楽、俳句、将棋、フラダンス、きもの着付け、写真、歌謡曲、短歌、手工芸、盆栽・山野草、東洋蘭、洋ラン、演芸及び地域芸能などの文化32部門 【出演者数】3,970人 【入場者数】17,654人	【出演者数】 3,970人 【入場者数】 17,654人	委託料 3,600千円 施設使用料 786千円	市民団体参加によって我孫子市民文化祭実行委員会を組織し、企画・運営を担ってもらった。	今年度も、多くの市民参加を募り開催することができた。 多くの参加者の方に、文化芸術に親しむ機会や活動発表の機会を提供できた。	A. 現状どおり推進 なし	●市民文化祭 【内容】市民の手で市民が作る文化の祭典。教育委員会の主催で実施。 【日程】10月1日(日)～12月11日(日) 【開催場所】アピスタ、湖北地区公民館、我孫子市民プラザ、我孫子南近隣センター、けやきプラザ、つくし野コミュニティホール、我孫子北近隣センターつくし野館 【開催部門】絵画、茶道、謡曲、民謡、舞踊、アルゼンチンタンゴ、日本舞踊、詩吟、三曲、洋舞、華道、書道、吹奏楽、合唱、さつき、囲碁、軽音楽、俳句、将棋、フラダンス、きもの着付け、写真、歌謡曲、短歌、手工芸、盆栽・山野草、東洋蘭、洋ラン、演芸及び地域芸能などの文化33部門	委託料 3,600千円 施設使用料 880千円	市民団体参加によって我孫子市民文化祭実行委員会を組織し、企画・運営を担ってもらった。	文化・スポーツ課
145	寄贈絵画展	市に寄贈された絵画を有効活用しながら絵画展を実施し、市民の芸術の心を育む。	●寄贈絵画展 【日程】平成28年2月20日(土)～23日(火) 【入場者】1073人 【場所】市民プラザ ギャラリー 【内容】市民の文化意識に応える絵画展。市に寄贈された絵画作品の展示(岡田正二、鈴木喜三男、天海敦)	【入場者数】 1,073人	需用費 288千円 委託料 150千円 施設使用料 174千円	なし	寄贈絵画展を文化財展やフレッシュコンサートとコラボ開催することにより、例年とは違った参加者層に寄贈絵画をアピールする機会を得られた。 なし	A. 現状どおり推進 なし	市民の文化意識に応える絵画展を教育委員会の主催で実施します。また、昨年度に引き続き、文化財展とコラボレーションすることを計画しています。 【日程】平成29年2月予定 【場所】市民プラザ ギャラリー	需用費 288千円 委託料 150千円 使用料 174千円	なし	文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
146	めるへん文庫	子どもたちが創作活動に親しみ、また、豊かな感性を育むことができるよう、めるへん文庫の作品募集や入賞作品集の刊行、めるへん文庫審査委員の原画展示を行う。	●めるへん文庫 【対象】市内外の小・中・高校生 【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。 【募集期間】5月1日～10月31日 【応募件数】145編(小学生31、中学生109、高校生5) 【その他】 前年入賞者の作品を第12集として製本(500部)し、入賞者・学校・図書館などに配布した。 【原画展】 めるへん文庫事業のPRを兼ねて、めるへん文庫に挿入されているさし絵の原画展示会を開催しました。 《表彰式》 【日程】平成28年3月19日(土) 小学生1席1名・2席1名・3席4名、中学生1席1名・2席1名・3席6名、高校生1席1名・2席1名・3席1名	【作品応募数】 145編	報償費 86千円 需用費 525千円 役務費 15千円 委託料 100千円 基金積立金 12,940千円	なし	A 成果・効果があった なし	今年も、多くの子ども達からの応募があり、創作活動を通じ豊かな感性を育む機会や作品を発表する機会を提供できた。 なし	A. 現状どおり推進 なし	●めるへん文庫 【対象】市内外の小・中・高校生 【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。 【募集期間】5月1日～10月31日	報償費 86千円 需用費 510千円 役務費 15千円 委託料 100千円	なし	文化・スポーツ課
147	郷土芸能への支援	No.50に同じ											文化・スポーツ課
148	手賀沼エコマラソン支援事業	No.125に同じ											文化・スポーツ課
基本目標 5 学びでつながるまちづくり			①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実					基本目標 5 学びでつながるまちづくり			①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実		
149	チャレンジDAY	市民活動を活発にするため、市民と市民団体等とが交流できるマッチングイベントや講演会を実施する。	●チャレンジDAY 【日程】9月26・27日 【場所】我孫子南近隣センター、介護実習センター(けやきプラザ7階) 【内容】テーマ別企画(福祉、子育て、環境等)、講演会、懇親会等 【参加者】人数:371名、参加団体:30団体	市民活動をはじめた人数 10人	講師謝礼金 150,000円 消耗品費 20,000円 施設使用料 30,000円 合計額 200,000円	市民活動メッセとの共同開催により、約50団体の市民団体とイベントの協働を行った。また、企画運営についても市民活動ネットワークと協働で実施した。	B あまり成果がなかった イベントが直接的に担い手の確保という成果につながっているのか見づらいが、市民活動の必要性や既存の活動団体の発表する場の提供も必要と考える。	A. 現状どおり推進 指定管理者との共催事業であり、市民活動のノウハウのある指定管理者を中心にイベントを開催していきたい。	【日程】9月24・25日 【場所】我孫子南近隣センター、介護実習センター(けやきプラザ7階) 【内容】テーマ別企画(食、自治会等)、講演会、懇親会等	講師報償費 300,000円 消耗品費 3,000円 保険料 30,000円 施設使用料 21,000円 合計額 354,000円	市民活動メッセとの共同開催により、約50団体の市民団体とイベントの協働を行う。また、企画運営についても市民活動ネットワークと協働で実施する。	市民活動支援課	
150	あびこ子どもまつり	No.61に同じ											子ども支援課
151	再掲 げんきフェスタ	No.62に同じ											子ども支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働		
152	学校支援事業の充実	学校教育の内容を充実させ、その教育力を向上させるため、市内全小中学校で立ち上げた学校支援地域本部において、地域住民を中心とした学校支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の質と教育力の向上を図るため、市内全小中学校の学校支援地域コーディネーターの一層の育成と学校担当者との連携の円滑化を図った。 ・学校が必要とする教育支援内容に応じ、教育活動支援、環境整備支援、児童生徒の安全確保支援、部活動指導支援等のボランティアを派遣するための人材登録作りを充実させた。 ・各校の学校支援地域本部コーディネーターが中心となって、学校が必要とする教育支援内容に応じ、教育活動支援、環境整備支援、児童生徒の安全確保支援、部活動指導支援等、学校と支援ボランティアの連絡・調整を図るようにした。 <p>【場所】市内小中学校 全19校 【実働人数】《小学校》延べ31,417人 《中学校》延べ15,083人</p>	【ボランティア活動実働人数】46,500人(小中学校延べ)	研修会講師謝金 15,000円 消耗品(19校+事務局) 647,779円	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援(社会福祉協議会、ふれあいサロンなど伝統的行事、伝統的な遊びの活動) ・安全確保(防犯連絡員、自治会、地域見守り隊、サークル関係など登下校の見守り、パトロールなど) ・地域行事への参加(祭礼などへ吹奏楽部の参加、地域花壇づくりなど) 	A 成果・効果があった	市内各校では、本年度までの着実な取り組みを継続し、活動を軌道に乗せている様子がある。ボランティア活動に参加する地域・保護者の方々と、児童、生徒や教職員との関係性も着実に深まっている様子がうかがえる。	A. 現状どおり推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境整備支援」や「安全確保支援」などをさらに充実させながら、「学習支援」の広がりと充実を図る。 ・各中学校区での連携や支援活動の実施をめざす。 ・学習支援地域コーディネーターの育成のための研修を実施する。 <p>【場所】市内小中学校 全19校</p>	研修会講師謝金 90,000円 お礼状郵送料 31,200円 文房具等消耗品(19校+事務局) 670,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援(社会福祉協議会、ふれあいサロンなど伝統的行事、伝統的な遊びの活動) ・安全確保(防犯連絡員、自治会、地域見守り隊、サークル関係など登下校の見守り、パトロールなど) ・地域行事への参加(祭礼などへ吹奏楽部の参加、地域花壇づくりなど) 	指導課	
153	生涯学習学習再掲相談体制の整備	No.22に同じ												生涯学習課
154	再掲 長寿大学	No.66に同じ												生涯学習課
155	再掲 家庭教育学級	No.69に同じ												生涯学習課
156	のびのびの再掲 親子学級	No.70に同じ												生涯学習課
157	市民カレッジ再掲 我孫子を知るコース	No.48に同じ												生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算
②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成												
158	在住外国人支援事業	在住外国人が安心して快適に日常生活を送れるよう、我孫子市国際交流協会(AIRA)に日本語教室や相談窓口等、外国人の支援に必要な業務を委託する。	<p>●外国人のための日本語教室 【日程】火曜日34回、土曜日34回を開催。(火曜日は託児を実施) 【場所】アビスタ、市民プラザ 【所要時間】1回あたり1時間30分 火曜日は託児を実施 【受講生】96人 【ボランティア講師】41人 【託児登録児童数】9人 【託児ボランティア】8人</p> <p>●外国人相談窓口業務 ・我孫子市国際交流協会内で市内に在住・在勤 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語の計5か国語対応 【業務内容】在学の外国人からの相談を受けた。 【相談件数】13件 【登録相談員】11人</p> <p>●外国語通訳派遣業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【通訳件数】11件 【通訳派遣数】のべ25人</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【翻訳枚数】英語38枚 中国語1枚 計39枚</p>	<p>【外国人のための日本語教室開催回数】68回</p>	<p>在住外国人支援事業委託1,391千円 (日本語教室託児ボランティア保険料、学校派遣ボランティア保険料98千円含む)</p>	<p>いずれもボランティアの方々が、日本語指導や、外国人相談、市内行事等での通訳・翻訳を行った。</p>	<p>●外国人のための日本語教室 受講生からの日常生活や日本の習慣などについての質問、相談ごとにもボランティア講師が適宜対応、アドバイスをを行った。また、日本語以外にも、「ごみの出し方」や「浴衣の着付け」など、日本の習慣等を学べる機会を作った。</p> <p>●外国人相談窓口業務 外国人からの相談受付をAIRA事務局が行い、複雑な内容の場合には、ボランティア通訳(登録相談員)を手配したり、関係機関に取り次ぐなどの対応を行うことにより、外国人も暮らしやすい環境を整えることができた。</p> <p>●外国語通訳派遣業務 野外美術展など行事や、国際会議の我孫子での見学(鳥博等)等の通訳を行い、交流を図ることができた。</p> <p>●簡易な文書の翻訳 外国人にとって日常生活で必要と思われる情報を英訳して提供することにより、外国人も暮らしやすい環境を整えることができた。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う</p>	<p>●外国人のための日本語教室 【日程】火曜日33回、土曜日33回を開催予定。(火曜日は託児を実施) 【場所】アビスタ、市民プラザ 【所要時間】1回あたり1時間30分を予定</p> <p>●外国人相談窓口業務 ・我孫子市国際交流協会内で市内に在住・在勤、在学の外国人からの相談を受ける。 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語の計5か国語対応</p> <p>●外国語通訳派遣業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応</p>	<p>在住外国人支援事業委託1,391千円 (日本語教室託児ボランティア保険料、学校派遣ボランティア保険料98千円含む)</p>	<p>いずれもボランティアの方々が、日本語指導や、外国人相談、市内行事等での通訳・翻訳を行う。</p>	企画課
						<p>A. 成果・効果があった</p>	<p>なし</p>	<p>本事業は、在住外国人が安心して日常生活を送れるよう支援するために必要な事業であり、市の委託事業とすることにより、安定した事業を展開できている。今後は、我孫子市国際交流協会が27年度からスタートした日本語教室イブニングクラス(毎週金曜日夕方)に実施)が、参加者が増え、利用者のニーズが高いことが分かったため、委託事業として実施していくことも含めて検討していく。</p>				

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算
159	公募補助金制度の運用	市民生活向上など、市民の利益につながる公益的で営利を目的としない活動を行う団体へ、補助金の交付による活動支援を行う。	<p>●公募補助金の運用</p> <p>公募補助金は、地域のまちづくりを推進し、市民が行う自由な市民公益活動や生涯学習活動を支援するための補助金です。交付期間は最長3年間。補助金の範囲は、補助対象経費の100分の10から100分の50までの範囲です。</p> <p>【応募資格】</p> <p>営利を目的とせず、公益の増進に寄与する任意団体または特定非営利活動法人で、次の要件のいずれにも該当するものが対象です。</p> <p>①5人以上で構成されていること。</p> <p>②活動拠点が市内にあり、かつ、市内で活動していること。</p> <p>③政治や宗教を主たる目的としないこと。</p> <p>④同一の事業・目的で市からほかの補助金を受けていないこと。また、市や市教育委員会と共催する事業・活動でないこと。</p> <p>⑤特定非営利活動法人は税金を滞納していないこと。</p> <p>⑥前年度(平成27年度)に活動実績があり、収支決算を提出できること。</p>	【新規応募申請団体】 6団体 【公募補助金交付件数】 13件	交付(13件) 2,343,420円	なし	<p>市民が行う公益活動や生涯学習活動への活動支援を行った。</p> <p>【申請】 審査申請:9件(新規申請6件、再申請3件) 審査結果:採択 6件、不採択 3件 【交付】13件、総額:2,343,420円</p> <p>制度の趣旨としては、交付団体に最終的に自立した運営をすること目的としているが、自立した団体は少ない。既得権益的な制度となっていることは今後の課題と考える。</p>	B. 改善・見直しを行う	平成27年度と同様	負担金補助及び交付金 公募補助金 2,925,000円	交付決定に伴う審査を、補助金等検討委員会が行い、提言書を市へ提出。	市民活動支援課
160	市民公益活動補償制度の運用	市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合の補償を行い市民の活動支援を行う。	市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合の補償を行い市民の活動支援を行った。	市民公益活動中の補償すべき傷害、賠償責任についてすべて補償する。	役員費 その他保険料 3,404,730円	なし	<p>市民活動を支援していく側面としては、活動中における補償も必要であると考えため。</p> <p>事故等も多様化しており、制度内容の見直しを行う必要がある。</p>	B. 改善・見直しを行う	平成27年度と同様	役員費 その他保険料 4,034,600円	なし	市民活動支援課
161	資源循環型社会に関する市民講座への派遣	資源循環型社会の構築に向けて、ごみ資源排出抑制等の情報提供や、環境教育を行う。	<p>《勉強会への講師派遣》</p> <p>【日程】平成27年7月6日(月)13:30~14:30 【場所】我孫子南近隣センター 8階 調理室 【内容】「我孫子市の廃棄物行政の現状と課題」 【参加者】25人</p> <p>《自治会懇談会への講師派遣》</p> <p>【日程】平成27年7月12日(日)13:30~16:15 【場所】近隣センターこもれび 多目的ホール 【内容】「我孫子市のごみ処理の現状」 【参加者】38人</p>	【申し込み団体数】 2団体	なし	なし	<p>ごみと資源の排出抑制やリサイクル、課題について考える機会を提供し廃棄物行政をより深く理解してもらえた。市の具体的な取り組みをより理解してもらえた。</p> <p>職員減による講師不足</p>	A. 現状どおり推進	要請があれば実施。	なし	なし	クリーンセンター

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算
162	我孫子市創業支援事業	市内の起業・創業件数の増加を図るため、平成26年6月に国から認定を受けた「我孫子市創業支援事業計画」に基づき、市内関連機関と連携しながら、起業・創業に関する相談業務や、シンポジウム、創業塾の開催等により、起業・創業者を総合的に支援する。	<p>●『実践創業塾』ブチ起業コース 起業のスタイルはさまざま。「ブチ起業コース」は、リスクの少ない形態でビジネスにチャレンジする起業希望者を対象として開催した。起業に不可欠なポイントが1日で習得できる内容。 【日時】5月16日(土)9:10～17:00 【場所】アビスタ ミニホール 【対象者・参加者】起業を目指す方ならどなたでも・市外在住者参加可 31名参加 【費用】3,000円</p> <p>●『実践創業塾』本格起業コース 本格的な創業を目指す、実践的な起業コースとして開催。このコースは、特定創業支援事業で、「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」の分野全ての講義を受講すると、市より特定創業支援事業を終了した証明書が発行され、会社設立時の登録免許税軽減や※無担保・第三者保証人なしの創業関連保証などのメリットが受けられます。※保証を受けるには審査有り。 【日時】5月30日(土)・6月14日(日)・28日(日)7月12日(日)・26日(日) 毎回9:10～17:00 【場所】アビスタ ミニホール 【対象者・参加者】起業を目指す方ならどなたでも(ただし5日間のうち4日間出席可能な方)・市外在住者参加可、14名参加 【費用】15,000円</p> <p>●第3回我孫子市 起業・創業シンポジウム 地元我孫子で起業し成功した起業家を講師に招き、身近なインターネットショッピングモールを使用してビジネスにチャレンジする内容で開催 【日時】11月28日(土) 【場所】中央学院大学 【対象者・参加者】起業を目指す方 106名参加 【費用】無料</p> <p>●我孫子市ビジネス交流会 ビジネスには交流の場が不可欠。これから起業を目指す方、既に起業し事業を行っている方を対象に開催。ビジネスパートナーとの出会いや、ビジネスのヒントを得る機会として開催した。 【日時】平成28年2月13日(土)13:00～15:00 【場所】アビスタ第二学習室(我孫子市若松26-4) 【対象者】起業・創業に興味のある方、事業を営んでいる方、ビジネスの人脈を広げたい方(市外在住者も可) 【参加者】50名(定員45名) 【費用】無料</p>	【シンポジウム参加者数】106人	費用弁償 6,606円 消耗品 33,574円 印刷製本費 75,600円 駐車場 1,000円 旅費 2,856円 講師報償費 100,000円 (30,000円)×3人+10,000円×1人)	我孫子市創業支援事業計画に於いて、特定創業支援事業者であるNPO法人ACOBと連携して開催している。また、講師3名は、市内で起業した実業家の方にご登壇していただいた。	<p>●ブチ起業コース 1日で起業の基本が学べるコースということで、大好評だった。定員20名を大幅に超える31名の参加があった。リスクが少なく、ハードルの低いかたちから始められる身近な「ブチ起業」を、現在、希望する方がとても多いことが判った。</p> <p>●本格起業コース 本格的な起業に必要な知識や、現在活躍する実業家らによる経験談やアドバイス、活発なグループワークなどを通して、「自身のビジネスプランが研ぎ澄まされスタートに近づくことが出来た」と、参加者の大多数から好評をいただいた。実際に、受講生の3名が市内で法人を立ち上げ事業を行っている。</p> <p>●起業・創業シンポジウム 参加者へのアンケート結果から、市民の起業意向度が、シンポジウムの回を重ねる毎に高まってきている。また、若い世代の参加が増えてきており、若者の起業への関心度も高くなってきていることから、起業の風おこし・土壌づくり効果を発揮していると考え、県内で、シンポジウムを行っている自治体は殆ど無い為、毎回、他市からの参加者も多い。</p> <p>●ビジネス交流会 定員を超える多くの参加があった。「こうい交流の場が以前から欲しかった」「今後も継続して欲しい」など、参加者からの声があった。実際に今回の交流会で、ビジネスパートナーを見つけ、海外からの発注に繋がったという事例もあった。</p>	A. 現状どおり推進	<p>●『実践創業塾』ブチ起業コース リスクが少なく無理のないかたちからビジネスにチャレンジしたい方を対象とし、起業に必要な基本の知識を1日で学ぶコース。 【日時】平成28年6月11日(土)09:15～17:00 【場所】アビスタミニホール 【対象者・参加者】起業を目指す方ならどなたでも。30人 【費用】3,000円</p> <p>●『実践創業塾』本格起業コース 本格的な創業を目指す、実践的な起業コース。このコースは我孫子市の特定創業支援事業で、受講後、市の終了証明書を受領すると下記のメリットが受けられる。※証明書は受講終了を証明するものでメリットを保証するものではない。 ・会社設立時の登録免許税軽減 ・無担保・第三者保証人なしの創業関連保証(金融機関の審査有り) ・日本政策金融公庫の新創業融資制度の要件緩和(金融機関の審査有り) 【日時】平成28年6月26日(日)、7月10日(日)・24日(日)・8月7日(日)・21日(日)09:15～17:00 【場所】アビスタミニホール※8月7日のみ我孫子南近隣センターホール(けやきプラザ9階) 【対象者・参加者】起業を目指す方ならどなたでも。30人 【費用】10,000円</p> <p>●第四回我孫子市 起業・創業シンポジウム 我孫子市で活躍している企業経営者を講演者として招き、企業経営における成功話や苦労話、継続の秘訣等を内容とする講演を通して、市民の起業への関心を高めるとともに、既に起業している方や起業を予定している方の意識啓発やビジネスのブラッシュアップに繋げることを目的として開催。 【日時】平成28年11月12日(土)13:30～16:30 【場所】アビスタホール 【対象者・参加者】起業に関心のある方ならどなたでも。市外在住者も可。140名。 【費用】無料</p> <p>●我孫子市ビジネス交流会 ビジネスには交流の場が不可欠。これから起業を目指す方、既に起業し事業を行っている方を対象に開催。ビジネスパートナーとの出会いや、ビジネスのヒントを得る機会として開催。 【日時】未定 【場所】アビスタ(予定) 【対象者】起業・創業に興味のある方、事業を営んでいる方、ビジネスの人脈を広げたい方、市外在住者も可。 【定員】50名(予定) 【費用】無料</p> <p>●我孫子市創業支援補助金 市内における新規事業の創出を促進し、産業の活性化及び振興を図るため、市内の空きテナント等を利用して事業をスタートする方に対し、資料の一部を補助する。 【補助額】事業所等賃借料 【補助対象期間】交付決定日の属する月の翌月から1年間 【補助率】1/2 【補助限度額】市域西側地区 月額4万円(年額48万円) 市域東側地区 月額5万円(年額60万円)</p> <p>●平成28年度創業塾運営に係る負担協定 特定創業支援事業者であるNPO法人ACOBが開催する実践創業塾の運営において、収支欠損が生じた際、欠損額を金222,000円を上限に負担する。</p>	<p>報償費 120,000円 (30,000円×4名) 普通旅費 18,000円 消耗品 18,000円 印刷製本費 119,000円 創業支援補助金 3,240,000円 (40,000円×12か月×3件 + 50,000円×12か月×3件) 創業支援事業負担金 222,000円</p>	我孫子市創業支援事業計画に於いて、特定創業支援事業者であるNPO法人ACOBと連携して開催する。また、講師3名は、市内で起業した実業家の方にご登壇していただく。	企業立地推進課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働		
163	市民の学習活動への支援	広報あびこ、ホームページ、生涯学習情報紙を通して、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供するとともに、市民からの学習に関する問い合わせに対応する。また、市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページ登録・提供し活用を図る。	広報あびこ、ホームページ、あびこ楽校ニュースなどを通じて、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供を行った。	なし	なし	なし	なし	A・成果・効果があった	広報あびこ、ホームページ、あびこ楽校ニュース、チラシ等により情報発信により、生涯学習に対する関心が高まり、電話、窓口での学習相談に対応した。	A. 現状どおり推進	広報あびこ、ホームページ、あびこ楽校ニュースなどを通じて、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供を行い、学習に関する問い合わせに対応する。	なし	なし	生涯学習課
164	視聴覚ライブラリーの管理・運営	No.25に同じ												生涯学習課
165	社会教育団体活動支援	市民と協働でまちづくりを進める中で、市民団体がやっている事業の後援を行い、社会教育活動の活性化を図る。	●市民団体の行う事業について、広報への掲載や名義の使用許可を出した。 後援数 27事業	【後援数】 27事業	なし	なし	なし	A・成果・効果があった	市民団体の行事の後援を行うことで、市民生活の向上や社会文化の振興、活動団体への支援ができた。	A. 現状どおり推進	市民団体の講演申請に基づき、後援承認を行う。	なし	なし	生涯学習課
166	文化芸術団体活動支援	文化芸術団体の活動を支援するため共催・後援事業の拡充を行い、我孫子市の文化芸術活動の活性化を図る。	地域の文化活動を支援するため教育委員会は共催、後援事業を行った。 【27年度共催事業】43件 【27年度後援事業】73件 【事業参加者数】20,677人	【共催事業数】 43件 【後援事業数】 73件	負担金 100千円 消耗品 29千円	共催事業に際しては企画運営に際し、市民団体の主導により実施した。	なし	A・成果・効果があった	共催、後援事業を通じて、文化団体の活動支援を十分に行うことができた。また、市が実施主体となる文化自主事業を補完する意味でも今後とも積極的に活動支援していきたい。	A. 現状どおり推進	地域の文化活動を支援するため教育委員会は共催、後援事業を行う。	負担金 100千円 消耗品費 30千円	共催事業に際しては企画運営に際し、市民団体の主導により実施する。	文化・スポーツ課
167	スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	No.95に同じ												文化・スポーツ課
168	施設・団体へ図書等の貸出サービス	市内団体の自主活動や学級文庫活動を支援して、子どもたちの読書活動と市全体の読書環境の向上を図る。	学級文庫への貸出…市内小中学校1クラスにつき40冊まで学期ごとに貸出をした。主に図書館で選定したものを提供した。各種団体への貸出…家庭文庫・地域文庫・読書会・子ども会などの各種団体に対し、200冊まで2か月の期間で貸出した。読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図書館の十冊文庫を提供した。10冊、約4週間。 【年間団体貸出冊数】 31,936冊 【団体の年間利用数】 1,690回	【年間団体貸出冊数】 31,936冊(77冊減(-0.2%)) ・前年度比、団体の年間利用数は92回減少(-5.2%)した。	嘱託職員報酬他 911千円 臨時図書整理員賃金他 16千円	学級文庫などで使用する図書を市民自ら選定する場合には、図書館職員が適切にアドバイスした。	なし	A・成果・効果があった	年間団体貸出冊数は、安定的に推移しており、年間通して多くの団体に対して貸出サービスを行い、子どもたちの読書活動と市全体の読書環境の向上につながった。	A. 現状どおり推進	学級文庫への貸出…市内小中学校1クラスにつき40冊まで学期ごとに貸出をする。主に図書館で選定したものを提供する。各種団体への貸出…家庭文庫・地域文庫・読書会・子ども会などの各種団体に対し、200冊まで2か月の期間で貸出する。読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図書館の十冊文庫を提供する。10冊、約4週間。	嘱託職員報酬他 1,265千円	学級文庫などで使用する図書を市民自ら選定する場合には、図書館職員がアドバイスを行う。	図書館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容				担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算		市民・事業者との協働
169	鳥に関する学習への支援	鳥に関する正しい情報を提供するため、常設展示室、企画展示室にて鳥に関する解説を学芸員や市民スタッフ展示交流員が行う。多目的ホールのパードボックスの使い方もレクチャーするとともに、鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付け、博物館資料を使った大学院生などの研究への協力も行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●団体来館者への展示解説 展示解説を希望する予約団体に対して、展示解説を行った(通年)。53団体を案内した。 ●ガイドツアー 土・日曜日を中心に、30分程度の館内ガイドツアーやスポットガイドを実施した(通年)。59回実施した。 ●展示交流スタッフの活動 土・日曜日を中心に、展示室において展示交流スタッフによる館内の展示交流や解説を行った(通年)。開館日にはほぼ毎日展示交流スタッフが常駐した。 ●鳥に関する質問対応 鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付けた(通年)。年間824件の質問に対応した。 ●調査研究への協力 博物館資料を使った調査研究への協力をを行った(通年)。8件の依頼がありこれに協力した。 ●夏休み自由研究相談(夏休み期間中) 夏休みの小中学生の自由研究の相談を受け付け対応した。その結果、32人(うち市内からは21人)の相談があった。 	【団体来館者・ガイドツアーの解説件数・人数】 105件、1,641人	市民スタッフ報酬費 227千円	公募の市民スタッフが展示交流スタッフとして展示の解説や館内の案内を行った。	A 成果・効果があつた	<p>団体来館者への展示解説、館内ガイドツアー、市民スタッフによる展示交流等は来館者に好評であった。市内の幼稚園では、園のイベント(夏休み旅行)の前に博物館学芸員による鳥の話を聞くことが恒例行事になっているところもあり、館内の展示解説にとどまらない活動の幅を広げている。また、我孫子市の小中学生の科学作品展には、夏休み期間中の自由研究の相談内容を反映した作品が出展された。さらに、博物館資料を使った調査研究活動への協力により、資料の情報が活用され、一部は学術雑誌への投稿という形でその成果が公表された。</p>	A. 現状どおり推進	今年度も引き続き展示解説、ガイドツアー、展示交流を行う。夏休みの自由研究に関しては、昨年度の鳥に関する研究の優秀作品の展示に加え、今年度も学芸員による相談受け付けも行っていく。また、博物館資料の活用では、他施設(博物館)への貸出、および調査研究への協力も行う。	市民スタッフ報酬費 230千円	公募の市民スタッフが展示交流スタッフとして展示の解説や館内の案内を行う。	鳥の博物館
170	鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	市民スタッフが、環境学習リーダーや来館者へのガイド役として活躍するように支援する。また、友の会の行う友の会展や鳥類に関するあらゆる生涯学習の活動について支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民スタッフ てがたんの開催・・・毎月第2土曜日実施(一週間前に見) あびこ自然観察隊の開催・・・年4回実施(7月、10月、2月、3月) 室内イベントのお手伝い・・・5月、7月、8月、12月 展示交流スタッフの活動・・・土・日曜日を中心に活動した(通年) 以上のイベント実施にあたって、計画の段階から参加してもらい、また、実施するにあたって、研修および下見、打合せを通じた活動支援を行い、進行役や案内役など、環境学習にリーダー的な役割の一端を担ってもらった。 ●友の会(H27年度入会者256人・家族会員含む) 友の会活動への支援と共催事業の実施 館内のスペースの一部を友の会の活動に利用できるようにして、友の会の規約に沿った自主的な活動の場として利用できるようにした。また、友の会展や鳥風教室などの事業を博物館との共催で行い、博物館活動への参加意識を高めることができるようにした。 	【友の会・市民スタッフ登録者数】 291人(平成27年度末)	なし	市民スタッフ(H27年度登録者36人)と協働で活動を実施した。	A 成果・効果があつた	<p>昨年とほぼ同様のスタッフ数を維持しつつ、展示交流を通じた既存の展示の価値の再発見を実現できたほか、観察会等各種イベントのリーダー的な役割を担ってもらうことができた。友の会も、鳥絵同好会・鳥風同好会・デジカメ同好会・見て歩こう会・万葉の会の各サークル活動を行った。また、日頃の活動の成果を「第74回企画展・友の会展」にて発表した。このような博物館と一体となった活動を通じて、市民との協働での博物館運営の要素を強めることが可能となっている。</p>	A. 現状どおり推進	市民スタッフ(H28登録者28名)で、昨年同様の活動を行う。友の会に対しては、例年通り各サークル活動の場の提供や情報提供による支援を行う。(今年度は空調工事で約3ヶ月休館するので、友の会展は中止)	なし	市民スタッフと協働で活動を実施する。	鳥の博物館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築													
171	我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携	国際交流の場を提供し地域の国際化を推進するため、我孫子市国際交流協会(AIRA)と共催であびこ国際交流まつりと国際交流スピーチ大会を開催する。	<p>●第17回国際交流スピーチ大会(市制45周年・戦後70年・我孫子市平和都市宣言30周年記念平和事業)</p> <p>【テーマ】戦後70年の節目の年にあたることから、平和に関する内容を含んだ国際交流</p> <p>【日程】9月27日(日)</p> <p>【場所】市民プラザ</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ大会と合わせて被爆2世写真家・宮角孝雄さんの写真展を実施 ・スピーチ大会当日の審査の時間帯に、宮角さんの講演会を実施。 <p>【参加者】</p> <p>≪スピーチ大会≫英語の部5人(日本人)、日本語の部6人(外国人)6人が参加</p> <p>≪来場者≫約120人</p> <p>●第24回あびこ国際交流まつり(市制45周年記念事業)</p> <p>【テーマ】小さな交流 大きな理解</p> <p>【日程】11月29日(日)</p> <p>【場所】市民プラザ</p> <p>【内容】お茶席、外国人の着付け体験、子どものダンス、コカリナ演奏、ベリーダンス、ルーマニア舞踊、日本語と英語による紙芝居、日本語講座と外国語講座による催し、AIRAショップ、各国ブースなど</p> <p>【参加者】496人</p>	<p>【催しへの来場者数】</p> <p>≪スピーチ大会≫約120人</p> <p>≪国際交流まつり≫496人</p>	<p>補助金額</p> <p>526,000円</p> <p>(全11事業の対象経費</p> <p>2,804,069円×1/2)</p> <p>526,000円)</p> <p>・国際交流協会活動補助金の対象事業(全11件)としている。</p>	<p>我孫子市国際交流協会(AIRA)との共催事業として実施。どちらの催しも、AIRAが中心となつて、実行委員会を開催し、企画から運営まで行った。</p>	<p>●国際交流スピーチ大会</p> <p>国際交流に関するテーマで、母国語以外の言語で発表してもらう機会を提供することにより、市民の国際化対応能力を高めるきっかけとすることができた。また、戦後70年・我孫子市平和都市宣言30周年平和事業の一環として、被爆2世写真家の宮角氏の写真展と講演を同時開催したことにより、例年のスピーチ大会よりも来場者が増えた。</p> <p>●あびこ国際交流まつり</p> <p>外国人と日本人が異文化に触れる機会を提供し、相互理解を深めるきっかけとすることができた。</p> <p>●国際交流スピーチ大会への出場者数</p> <p>開催日程が、中学校や高校の行事や大会等の日程と重なることが多く、中学生や高校生が出場者がなかなか増えないことが、課題として挙げられる。また、開催日程を後ろ倒しにするとしても、市民団体の文化祭等と重なってしまうため、現在の日程から変更することが難しい。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う</p> <p>本事業は、我孫子市交流協会が実施する事業のうち、市の施策の実現に貢献度の高い事業を補助対象として、施策的補助金を交付しているが、今後は、市が引き続き支援していくべきものと、民間が独自に実施した方が効果的なものを整理していく。</p>	<p>●第18回国際交流スピーチ大会</p> <p>【日程】9月25日(日)</p> <p>【場所】市民プラザ</p> <p>●第25回国際交流まつり</p> <p>【日程】11月27日(日)</p> <p>【場所】市民プラザ</p> <p>【内容】AIRA設立25周年記念式典を合わせて実施</p>	<p>補助金額</p> <p>526,000円</p> <p>・国際交流協会活動補助金の対象事業(全11事業)として、換算する。全11事業への補助金額は、27年度と同様に526,000円を予定している。</p>	<p>国際交流スピーチ大会、国際交流まつりのどちらも、我孫子市国際交流協会会員の市民を中心に、実行委員会が組織され、催しの企画・運営を行っている。</p>	企画課	
172	消費生活展の実施	我孫子市消費者の会、あびこ型「地産地消」推進協議会、NPOせっけんの街などといった消費団体が、消費生活展のメインテーマに沿った内容についてパネル展示や企画を行う。	<p>●消費生活展</p> <p>【日程】平成28年2月6日、7日</p> <p>【時間】10:30~16:30</p> <p>【開催場所】市民プラザ</p> <p>【参加団体】我孫子市消費者の会、くらしを良くする会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会</p> <p>【来場者数】685名</p> <p>【対象者】我孫子市内在住者436名、その他98名、男性183名、女性313名</p> <p>年代別、60歳以上52%、40.50歳代17%、20.30歳代13%、20歳未満14%</p>	<p>【参加団体】8団体</p> <p>(我孫子市消費者の会、くらしを良くする会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会)</p>	<p>870,000円</p> <p>【内訳】</p> <p>消耗品費 114,225円</p> <p>交通費 500円</p> <p>食料費 41,511円</p> <p>展示経費 311,040円</p> <p>印刷製本費 334,800円</p> <p>予備費 4,320円</p> <p>返納金 63,604円</p>	<p>●消費生活展</p> <p>【参加団体】我孫子市消費者の会、くらしを良くする会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会</p>	<p>A. 成果・効果があつた</p> <p>消費者が悪質詐欺などの消費者被害に遭わないための情報提供をパンフレットの配布や掲示物で発信していきつつ、この生活展では、各市民団体によるパネル展示や実演などにより、日々の暮らしを見つめ直し安全・安心で豊かな生活を送れるよう各市民団体が情報を発信する機会や団体同志の情報交換の場の提供ができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>第41回消費生活展</p> <p>【日程】平成29年2月4日、5日</p> <p>【場所】市民プラザ</p> <p>【参加団体】8つの市民団体の参加で開催予定</p>	<p>870,000円</p> <p>【内訳】</p> <p>会議費 1,000円</p> <p>消耗品 78,500円</p> <p>交通費 500円</p> <p>食料費 60,000円</p> <p>展示経費 340,000円</p> <p>印刷製本費 380,000円</p> <p>予備費 10,000円</p>	<p>●消費生活展</p> <p>【参加団体】我孫子市消費者の会、くらしを良くする会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会</p>	商業観光課	
173	エンジョイ手賀沼	市民団体・事業者・行政で実行委員会を組織し、手賀沼の浄化・再生を広く市民に呼びかけるイベントを開催する。	<p>Enjoy手賀沼!2015~行ってみよう 手賀沼ウォッチ~</p> <p>【日程】5月10日(日)9:00~15:30</p> <p>【場所】手賀沼親水広場</p> <p>【参加者】15,000人</p> <p>【内容】稚魚放流やカヌー・ヨットの体験乗船会等を通し、楽しみながら一人ひとりが手賀沼とのかかわりを考える。</p>	<p>【来場者】15,000人</p>	<p>負担金</p> <p>250,000円</p>	<p>あびこガイドクラブや手賀沼水生生物研究会、ふれあい手賀沼の会など多くの市民団体が集まり実行委員会を構成し、協働で事業を行なった。※実行委員会は13団体で構成。</p>	<p>A. 成果・効果があつた</p> <p>市民団体や事業者と連携をはかり、楽しみながら手賀沼に触れ合える機会を提供し、手賀沼の浄化啓発がはかれた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>Enjoy手賀沼!2016~安心して下さい、遊べますよ~</p> <p>【日時】5月8日</p> <p>【場所】手賀沼親水広場</p> <p>【対象者】どなたでも</p>	<p>負担金</p> <p>250,000円</p>	<p>あびこガイドクラブや手賀沼水生生物研究会、ふれあい手賀沼の会など多くの市民団体が集まり実行委員会を構成し、協働で事業を行なった。※実行委員会は13団体で構成。</p>	手賀沼課	
174	再掲 健康フェア	No.30に同じ											健康づくり支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働		
175	再掲 ジャパン パード フェス ティバル の開催	No.45に同じ												手賀沼課・商業観光課・鳥の博
176	青少年相談 員事業	青少年相談員連 絡協議会と共催 で、小中学生を対 象に、夏季のキャン プやナイト ウォークなどの事 業を行い、冬季に は、小学生の高 学年を対象に綱 引き大会を行うな ど、子どもの自主 性、協調性を育む 場を提供する。	●青少年キャンプ 【日程】7月18日(土)から19日(日) 【開催場所】ふれあいキャンプ場 【対象】市内小学校4年生から6年生 【当日参加数】46人 ●青少年綱引き大会 【日程】11月28日(土) 【開催場所】我孫子市民体育館 【当日参加数】877人	【年3回パトロール 実施割合】 100%	青少年相談員退会記念費 17千円 共催負担金 100千円 消耗品 260千円 補助金 1,106千円 旅費 1千円 パトロール委託費 260千円	千葉県知事と我孫子 市が委嘱している青 少年相談員連絡協 議会とイベントに際 し、何度も実行委員 会を経て、安全に楽 しくイベントを行える よう携わった。 ≪我孫子市青少年 相談員連絡協議会 ≫	●青少年綱引き大会 普段、運動の苦手な子にも 活躍する事が出来る場を与え られた。子ども同士がそれぞ れの目標に向かって協力し合 い、努力する大切さを学ぶ機 会となった。青少年相談員が 朝、学校に向かい綱引きの 練習に参加するなど、学校と の連携を図り実施できた。	A. 現状どおり推進	●青少年キャンプ 【日程】7月30日(土)から31日(日) 【場所】ふれあいキャンプ場 【対象】市内小学校4年生から6年生 ●青少年綱引き大会 【日程】11月26日(土) 【場所】我孫子市民体育館	共催負担金 160千円 消耗品 770千円 補助金 1,106千円 旅費 11千円 使用料 36千円 パトロール委託費 260千円	千葉県知事と我孫子 市が委嘱している青 少年相談員連絡協 議会とイベントに際 し、何度も実行委員 会を経て、安全に楽 しくイベントを行える よう企画する。 ≪我孫子市青少年 相談員連絡協議会 ≫	子ども支援課		
177	再掲 子どもの 居場所 づくり事 業(あ びっ子ク ラブ)	No.41に同じ												子ども支援課
178	子育てフェス タ	我孫子で子育て を楽しむ場所や 子育て支援活動 を紹介するなど、 「子育て」をキー ワードに家族で子 どもの成長を感じ られるとともに、祖 父母を含めた多 世代をつなげるイ ベントを開催す る。	●ママへのごほうびフェスタ 【場所】アビクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月5日(土) 【内容】ホールイベントや体験ブース、ステージショーなど。 【来場者数】延べ7,731人(大人4,221人 子ども3,510人) ●あびこで子育てフェスタ 【場所】あびこショッピングプラザ全館(イトーヨーカドー我孫子店) 【日程】3月26日(土) 【内容】体験ブース、ステージショーなど。 【来場者数】延べ7,005人(大人3,761人 子ども3,244人)	【イベントの参加 者】 ●ママへのごほう びフェスタ 7,731人 ●子育てフェスタ 7,005人	●ママへのごほうびフェ スタ 出演者報償費 66,560円 ●子育てフェスタ 出演者報償費 62,000円	●ママへのごほうび フェスタ 【共催】株式会社イ トーヨーカドー、我孫 子市役所保育課 【協力】石橋生絲株 式会社 ●あびこで子育て フェスタ 【共催】株式会社イ トーヨーカドー、あび こショッピングプラ ザ、我孫子市役所保 育課	どちらのイベントも前年度より 来場者が増え(ママへのごほ うびフェスタ26年度3,895人 が27年度7,731人、子育て フェスタ26年度5,292人が2 7年度7,005人)、浸透して きていることがわかる。 参加者から「楽しかった」とい う声が多く聞かれることから、本 イベントに参加することでリフ レッシュの時間となっている。 会場使用などイトーヨーカドー と連携をはかり実施することが できた。	A. 現状どおり推進	●ママへのごほうびフェスタ 【場所】アビクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月3日(土) 【参加者人数】延べ7,925人 【内容】ホールイベントや体験ブース、ス テージショーなど。 ●あびこで子育てフェスタ 【場所】あびこショッピングプラザ全館(イ トーヨーカドー我孫子店) 【日程】未定 【内容】体験ブース、ステージショーな ど。	報償費 200,000円	●ママへのごほうび フェスタ 【共催】株式会社イ トーヨーカドー、我孫 子市役所保育課 【協力】石橋生絲株 式会社 ●あびこで子育て フェスタ 【共催】株式会社イ トーヨーカドー、あび こショッピングプラ ザ、我孫子市役所保 育課	保育課		
179	学校評議員 設置事業	小中学校に学校 評議員を置き、保 護者や地域住民 等と連携しなが ら、地域に開かれ た学校づくりを推 進する。	【開催場所】 市内全小中学校 19校 【日程】 第1学期(4~7月)に2回、第2学期(9~12月)に1回、第3学 期(1~3月)に1回、年間4回実施 【内容】学校に関する意見やアドバイス 【対象】 評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加	【学校評議員設置 学校数】 市内全小中学校 19校	報償費 484,000円 (1,000円×4回×121人)	評議員は、保護者、 地域住民、有識者、 公募の市民、校長が 必要と認める者 市教育委員会委嘱 の各小中学校評議 員数による(5~8 人) 他に校長・教頭・教 務主任等が参加	各学校において、保護者や地 域住民、有識者、公募の市民 等からの意見を学校経営にい かすことができた。	A. 現状どおり推進	【開催場所】 市内全小中学校 19校 【日程】 第1学期(4~7月)に2回、第2学期(9 ~12月)に1回、第3学期(1~3月)に1 回、年間4回実施 【対象】 評議員は、保護者、地域住民、有識者、 公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議 員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加予 定	報償費 472,000円 (1,000円×4回×118人)	評議員は、保護者、 地域住民、有識者、 公募の市民、校長が 必要と認める者 市教育委員会委嘱 の各小中学校評議 員数による(5~8 人) 他に校長・教頭・教 務主任等が参加	学校教育課		

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容					担当課	
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	予算	市民・事業者との協働		
180	大学との協定による学校支援学生ボランティア事業	大学と協定を締結することで、小中学校における学習補助として、教員等を目指す学生ボランティアを活用する。	【日程】通年 【場所】市内各小中学校 【内容】学習支援、部活動指導補助 【対象】小中学校の児童生徒 【派遣状況】9校374人 【大学別実働人数】 《川村学園女子大学》129人 《中央学院大学》0人	なし	なし	なし	A・成果・効果があつた	学生ボランティアが学習支援をすることは一定の成果があつた。 学校のニーズの変化に対応するために大学との打合せ時期や回数に課題があつた。	B. 改善・見直しを行う	【日程】通年 【場所】市内各小中学校 【内容】学習支援、部活動指導補助 【対象】小中学校の児童生徒	なし	なし	指導課	
181	キャリア教育の推進(小中学生の職場体験学習事業)	子ども達が地元との協力事業所において、大人達と共に働く経験をすることによって、働くことの大切さや意義を感じとり、希望を持って将来を考えたり、我孫子の良さを感じたりできるよう、地域社会・家庭・学校が連携し合つて職場体験学習を実施する。	●キャリア教育 ・全小中学校においてキャリア教育を実践した。 ・小中一貫教育の共通カリキュラムとして、9カ年のモデルカリキュラムの検証授業を実施した。 ●職場体験学習 市内の小中学校6年生を対象に半日、中学校1または2年生を対象に1～3日間、協力事業所等を中心に職場体験学習を実施した。 【日程】6月17日～1月14日 【参加者】実施人数 1,116人(小学校6年生72人・中学校1年生304人・2年生740人) ●キャリア教育担当者会議 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年2回実施した。	小中一貫教育におけるキャリア教育のカリキュラムに即して、自校のキャリア教育全体計画の中に職場体験学習等の体験学習を位置づけた学校数。 19校 【協力職場数】 381箇所	保険料 168320円 通信費 24880円保険料	職場体験学習において、市内外の事業所(商店、工場、消防署、保育園、学校、病院、美容院等)	A・成果・効果があつた	職場体験学習等を通し、児童・生徒がより適切な職業観や勤労観をもつことができた。実践発表や事業所との意見交換を通して、よりよいキャリア教育や職場体験学習について考えを深めることができた。 体験学習等での経験を、勤労観や職業観につなげる指導のあり方にさらに工夫が必要である。 事業所の開拓や連絡業務に、教職員の負担が大きい。	A. 現状どおり推進	●キャリア教育 全小中学校においてキャリア教育を実践する。 ●職場体験学習 市内の小中学校6年生を対象に半日、中学校1または2年生を対象に1～3日間、協力事業所等を中心に職場体験学習を実施する。 【日程】6月16日～1月18日 【参加者】実施予定人数 1,211人(小学校6年生76人・中学校1年生322人・2年生813人) ●キャリア教育担当者会議 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年2回実施する。	保険料 177000円	職場体験学習において、市内外の事業所(商店、工場、消防署、保育園、学校、病院、美容院等)と協力する。	指導課	
182	生涯学習審議会の運営	生涯学習を総合的に推進するための組織として審議会を運営し、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴いていく。	なし	なし	なし	なし	C・わからない・未実施	なし	なし	あびこ楽校協議会と社会教育委員を統合し、生涯学習審議会を立ち上げ、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴き、生涯学習を総合的に推進する。 ●生涯学習審議会会議 【日程】 第1回 7月1日 第2回 11月9日 第3回 3月	●生涯学習審議会会議 委員報酬 245,000円 (3,500円×3回×14人)	なし	生涯学習課	
183	市外図書館・大学・関係機関との連携協力	No.126に同じ												図書館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容					平成28年度実施内容			担当課		
			具体的内容	指標と実績	経費	市民・事業者との協働	評価	成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容		予算	市民・事業者との協働
184	図書館実習生受入・施設見学	中学生のキャリア教育を受け入れることにより、今後の進路や職業選択の際の目安や目標になるように支援する。図書館現場で実務の研修を行うことにより、司書課程受講者を支援する。施設見学を受け入れ、生涯学習施設である図書館をPRする。	【実習生受入人数及び施設見学者数】 914人 (内訳) 《小中学校キャリア教育受入れ》23人 《JOYボラ受入れ》7人 《インターンシップ参加者受入れ》5人 《社会奉仕体験活動》8月 1人 《司書課程実習》1人 《施設見学・町探検等受入れ》877人	【アピスタ探検隊参加者・図書館見学参加者・実習生受入人数の合計】 914人 (401人減(-30.5%))	嘱託職員報酬他 182千円	なし	A 成果・効果があった	キャリア教育は、将来の職業選択において若者が仕事とはどのようなものであるかを体験できる貴重な機会であり、公共施設として積極的に支援した。 施設見学は学校等の都合で申し込みが少ないことがある。キャリア教育は、子どもの将来の進路や職業選択の目安となるため支援する必要がある。	A. 現状どおり推進 なし	《小中学校キャリア教育受入れ》随時 《JOYボラ受入れ》随時 《インターンシップ参加者受入れ》随時 《社会奉仕体験活動》7月、8月 《司書課程実習》随時 《施設見学・町探検等受入れ》随時	嘱託職員報酬他 281千円	なし	図書館
185	山階鳥類研究所との連携・交流	テーマトークという形式で、山階鳥類研究所研究員による最新の研究成果や知られざる鳥の生態などについて、研究者の視点でやさしく紹介する。また、ジャパンバードフェスティバル期間中に「鳥学講座」を山階鳥類研究所と共同で開催し、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらう。	鳥学講座をはじめ、山階鳥類研究所研究員による最新の研究成果をやさしく紹介するテーマトークを実施した。 ●テーマトーク(9月と11月を除いた毎月第2土曜日の13:30~14:15) 【日程・内容・参加者】 《第1回》4月11日(土)「飛べないウイナ類の保全」22人 《第2回》5月9日(土)「バンディングってなあに？」25人 《第3回》6月13日(土)「バードウォッチング入門～入門済みの人はちょっと復習～」54人 《第4回》7月11日(土)「アホウドリの復活から学ぶこと」49人 《第5回》8月8日(土)「小笠原へのアホウドリ再導入作戦のこれまでの成果」43人 《第6回》10月10日(土)「ウグイスの亜種の謎についてDNAで調べたら？」26人 《第7回》12月12日(土)「鳥類学とバイオメテックス～鳥をまねたものづくり～」34人 《第8回》1月9日(土)「なかなか行けない海鳥繁殖地ってどんどころ？」30人 《第9回》2月13日(土)「鳥に乗ってちゃっかり移動？ーマダニの大旅行ー」22人 《第10回》3月12日(土)「ジオロケータで判明したブッポウソウの越冬地」36人 ●鳥学講座スペシャル「研究最前線～今どうなっている？鳥と恐竜～」 【講師】真鍋真さん 【聞き手】林良博さん 【日程】10月31日(土)13:30~15:30 【参加者】166人	【共催した講座等の数】 11回	講師報酬費(鳥学講座) 30千円	【テーマトーク】 山階鳥類研究所研究員による研究成果の紹介を行った。	A 成果・効果があった	市民が聞く機会の少ない鳥類研究者の最新の鳥類研究のお話を聞く機会を提供することができた。	A. 現状どおり推進 なし	●テーマトーク(9月と11月を除いた毎月第2土曜日の13:30~14:15) (今年度は11~1月が休館のため、1月のテーマトークも無し) 【日程・内容】 《第1回》4月9日(土)「オス？メス？見た目ではわかる？雄化する鳥の謎」 《第2回》5月14日(土)「シギ・チドリ」の渡りを追って」 《第3回》6月11日(土)「オオミズナギドリの待ち時間-ノネコが増えた海洋島の今-」 《第4回》7月9日(土)鳥にまつわる法律のハナシ 《第5回》8月13日(土) ミソサザイってどんな鳥？こんな鳥 《第6回》10月8日(土) 明治期の標本が語るもの-絶滅鳥カカロライナインコー 《第7回》2月11日(土) // 《第8回》3月11日(土) // ●鳥学講座inJBF 【日程・内容】 11月5日(土)「コアジサシ保全活動の現場から」 【講師】 北村亘さん	講師報酬費(鳥学講座) 30千円	【テーマトーク】 山階鳥類研究所研究員による研究成果の紹介を行う。	鳥の博物館